

平成22年度

青少年会議報告書



平成23年3月

柏江市青少年問題協議会

柏 江 市

目 次

青少年会議とは	1 P
サポーター研修について	2 P
第1回青少年会議について	3 P
第2回青少年会議について	10 P
第3回青少年会議について	18 P
第4回青少年会議について	30 P
第5回青少年会議について	36 P
第6回青少年会議について	46 P
青少年会議報告会	54 P
青少年会議に参加してのアンケート	84 P
会議開催日及び主な内容	89 P
青少年会議のメンバー	90 P
報告会アンケート集計結果	91 P

青少年会議とは

狛江市青少年会議は、平成 20 年度より隔年で開催し、青少年自身の意志や意欲を尊重した、自主的・主体的な活動を促進するため、狛江市と狛江市青少年問題協議会の共催で会議を行っています。

狛江市次世代育成支援行動計画では、青少年の意見の表明の場として概ね 12～18 歳の青少年で構成する青少年会議の運営を通じ、青少年施策の反映を図ること、また青少年自身の意志や意欲を尊重した自主的・主体的な活動を促進することが謳われています。

今回の青少年会議は、市内の中学生 13 名と前回の青少年会議参加ＯＢとサポーター 14 名の計 27 名で構成され、そのメンバーで平成 22 年 8 月より会議を行いました。

平成 23 年 3 月には青少年会議の報告会を行い、4 つのグループに分かれて、狛市の街づくりに向けて「私たちは狛江市の大統領」をテーマに、各グループで考えたマニフェスト（個人等が自らの方針や意図を、多数者に向かってお知らせする文書等のこと）を発表しました。マニフェスト発表後、質疑応答を経て、最後に、来場者から、一番共感を受けたマニフェストを発表したグループ名を投票用紙に記入、投票していただき、その後表彰を行いました。

今後、提案のフォローアップとして、各グループが提案した事業や政策が、市の今後の施策として実施可能かどうか、関係部課に依頼し検討を進めていきます。

それでは、今回の青少年会議の活動の詳細について次ページより報告いたします。

サポーター研修について

第1回青少年会議開催前の平成22年6月20日（日）午後1時～3時、サポーター研修を実施しました。

研修目的は、青少年会議を支援する学生サポーターが子どもと主体的に関わり、子どもが意見や力を最大限に発揮できるように、活動を援助するための接し方を学ぶためです。

講師には八王子市子どもミーティング（子どもの視点による街づくり提案）で実績のある職員を迎え、「子どもに寄り添うおとなのあり方」をテーマに、子どもを支援するサポーターの役割について研修を受けました。

参加者同士の関係づくりのため、「アイスブレイク」（初対面の参加者同士の抵抗感をなくすために行う、コミュニケーション促進のための2人以上で行うグループワークの総称）を実施し、いくつかのアクティビティ（活動、遊び）を通じてワークショップ（学びや創造、問題解決やトレーニングの手法）の場づくりをしていきました。

グループワークとしては、実際に子どもたちと活動するときに、どんなふうに自分の考えをまとめたり、意見交換をしたりするかを話し合いました。

最後に、まとめとして「サポーターって何だろう？」をテーマに、子どもの活動に関わる大人として心がけることについての講義を受けました。



第1回青少年会議について

- 日時：平成22年8月28日（土）午後1時～3時20分
- 場所：市役所特別会議室
- 青少年会議の目的
 - ◇青少年の社会参加意識を向上し、主体的な活動を促進する。
 - ◇異年齢の人と交流し、青少年の見地を広げ、豊かな心を育成する。
 - ◇青少年会議を実施することにより、行政のしくみを理解し、狛江市に愛着をもっていただく。
- 主な会議内容
 - ◇会議開催挨拶
児童青少年課長
 - ◇ファシリテーター（谷田部・大場）自己紹介
 - ◇会議の概要を説明
 - ・中学生が主役の中学生のための会議である。
 - ・街づくりなどについて提案をする。
 - ・報告会を平成23年3月にエコルマホールで行う。
 - ◇チームづくり（誕生日順、早起き順）
以下に決まる。

チーム	中学生	サポーター
A	川崎拓巳(一中2年)・西山史将(二中2年)・石原あゆみ(三中1年)・高田由貴(四中2年)	佐々木駿・高田礼子・内田絵梨
B	井上亮太郎(一中1年)・清水樺穂(二中2年)・石賀万葵(三中1年)	根本龍彦・小笠原華子
C	阿部匠(一中2年)・川地克朗(二中2年)・中村一創(四中2年)	小林淳史・藤田尚子
D	加内絢介(二中2年)・福水諒(三中2年)	湯浅直紀・内海貴美

◇キャンプネーム

（米国の野外教育の現場で考え出されたもの。人種が多様な米国では名前によって出身地や人種がわかることがあり、野外活動の場で子どもたちに人種差別が起こらないようにと、つけられた。日本では、同じキャンプ等に参加した者は仲間である、という意識を持つために、お互いを認識するためのニックネームとして使用している。）

個人で考え、全体で発表する。

◇グループの名前（以下に決まる）

チーム	名前
A	シャイニングスター
B	ブルービーンズ
C	強行犯係
D	桃太郎



◇自己紹介

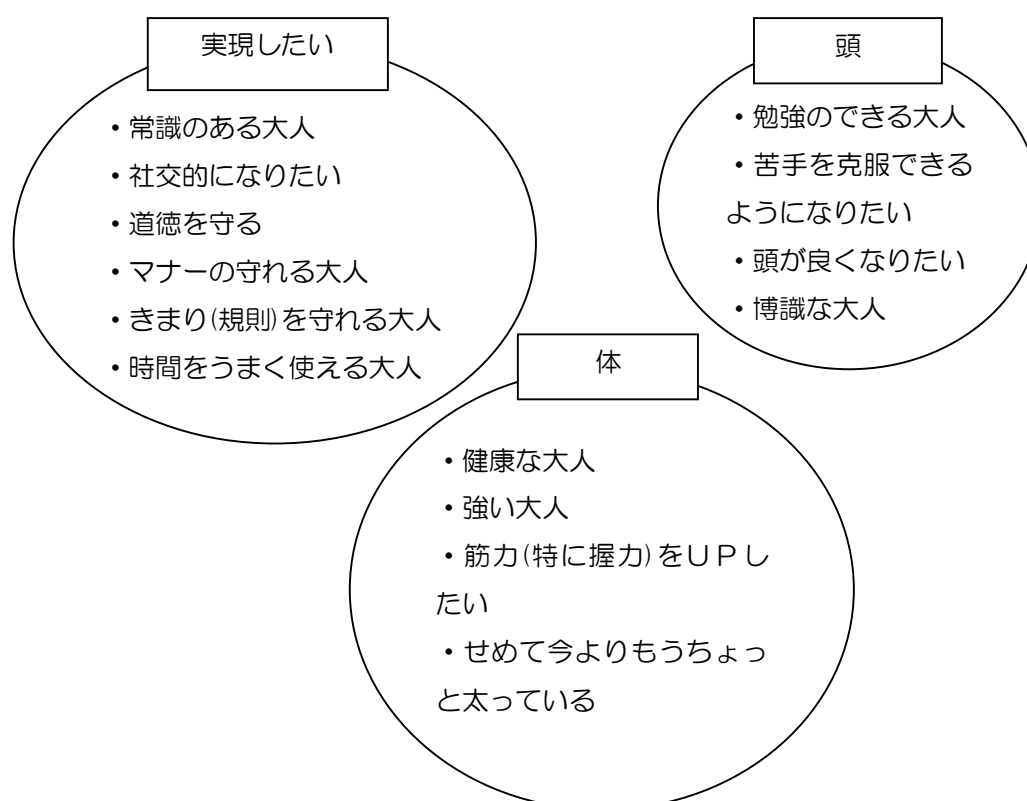
興味のある（夢中な）ことなどを紹介する。

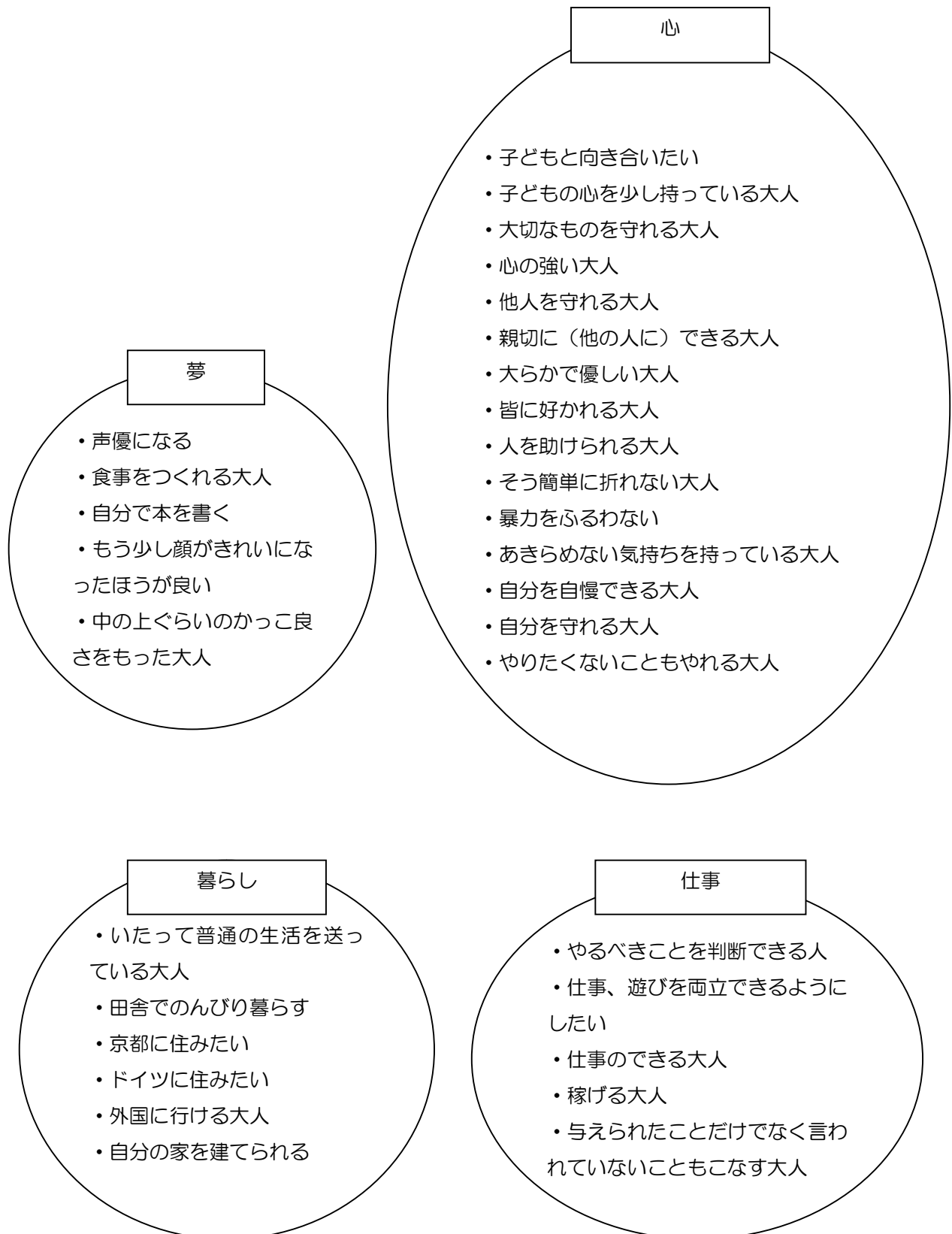
◇ワークショップ

- ・KJ法（データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて、図解し論文等にまとめる手法）やブレインストーミング（集団でアイデアを出し合うことで、相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法）の説明。
- ・テーマは「どんな大人になりたいか」で行う。
- ・各グループで作業を行い、ギャラリーウォークのやり方で他の班の結果を見る。

各グループの作業結果は次のとおり（原文のとおり）。

【シャイニングスター】 中学生…川崎・西山・石原・高田 / サポーター…佐々木・高田・内田

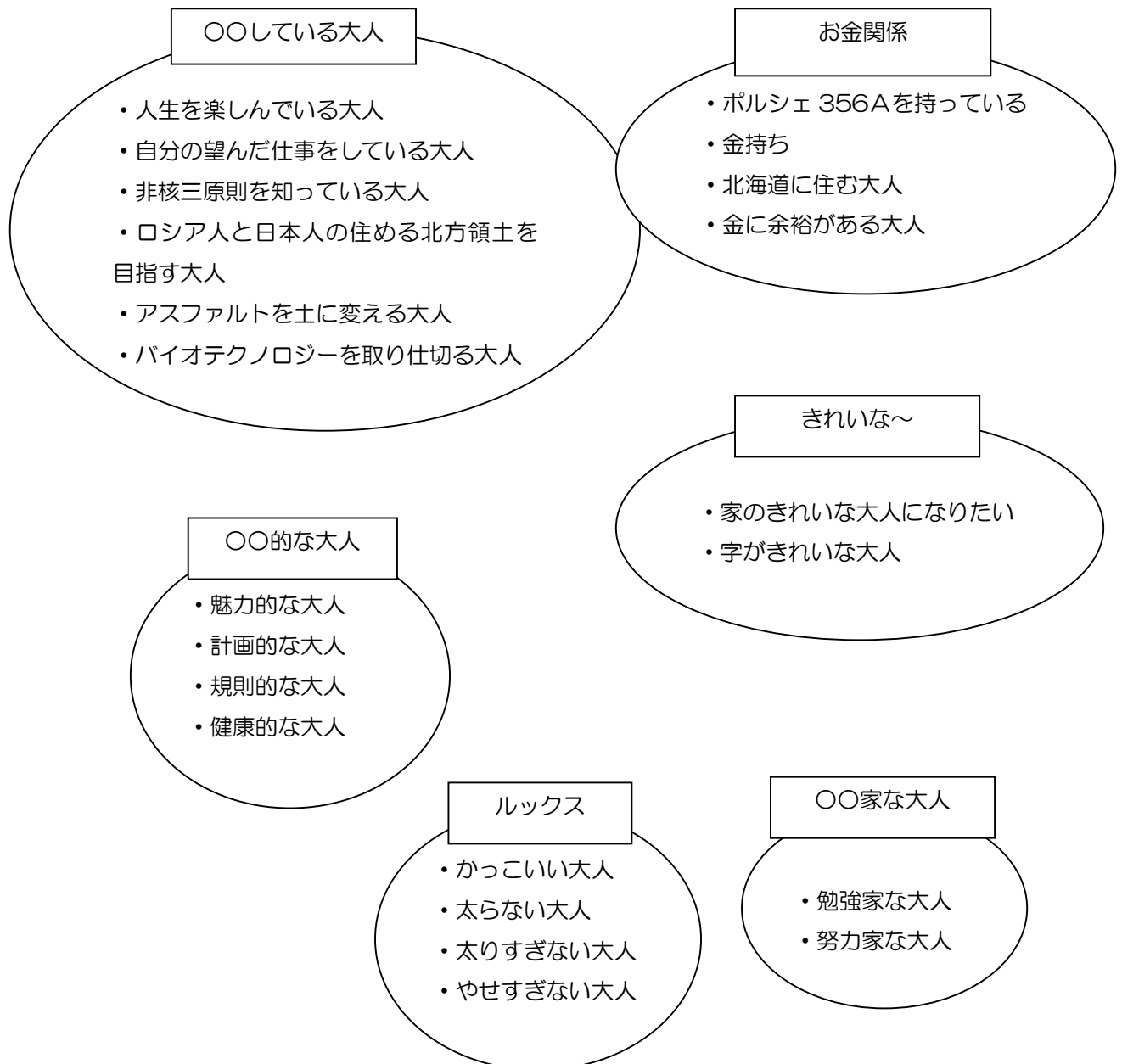


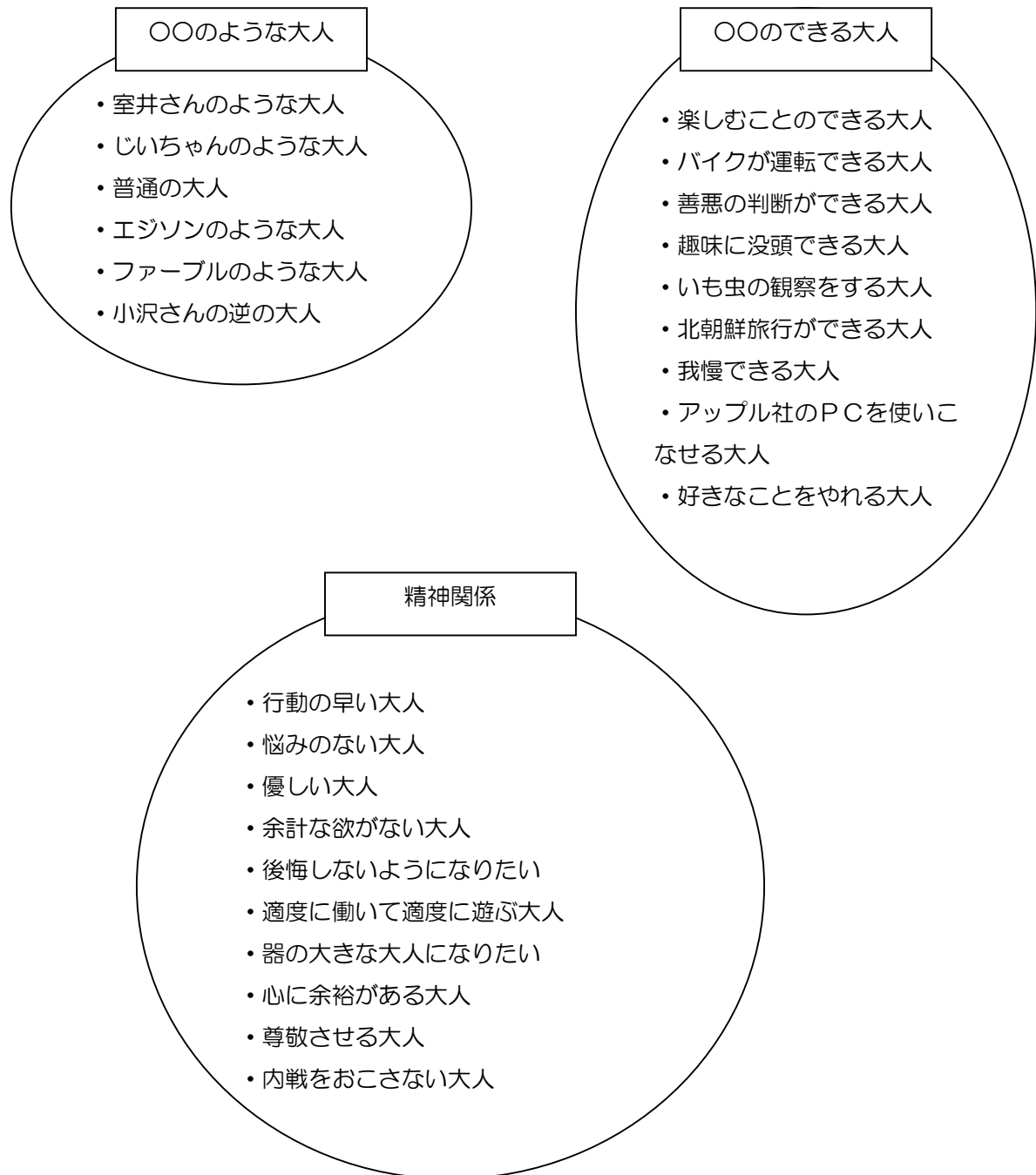


【ブルービーンズ】 中学生…井上・清水・石賀 / サポーター…根本・小笠原



【強行班係】 中学生…阿部・川地・中村 / サポーター…小林・藤田





【桃太郎】 中学生…加内・福水 / サポーター…湯浅・内海



○次回「どんな街に住みたいか」のテーマで行う。宿題は、友だちや家族などいろいろな人から聞き取りを行ってこること。

第2回青少年会議について

○ 日時：平成22年10月2日（土）午後2時～4時10分

○ 場所：市役所特別会議室

○ 主な会議内容

◇第2回目の会議より初めて参加した中学生の挨拶（加藤、西山）及びキャンプネームの決定。

◇チーム（誕生日順、早起き順）の割り振りは以下となる。第2回目の会議より参加した中学生を加えて決定。

チーム	中学生	サポーター
A	川崎・西山・石原・高田	佐々木・高田・内田
B	井上・清水・石賀	根本・小笠原
C	阿部・川地・中村	小林・藤田
D	加藤桃子（一中1年）・加内・福水	湯浅・内海

◇アイスブレイクとして、トランプゲームを行う。

◇ワークショップ

・前回のテーマは「どんな大人になりたいか」であり、様々な意見を出し合った。今回のテーマは「どんな街に住んでみたいか」である。前回と同様に、KJ法やブレインストーミングで、付箋に個人のアイデアを書き出す。

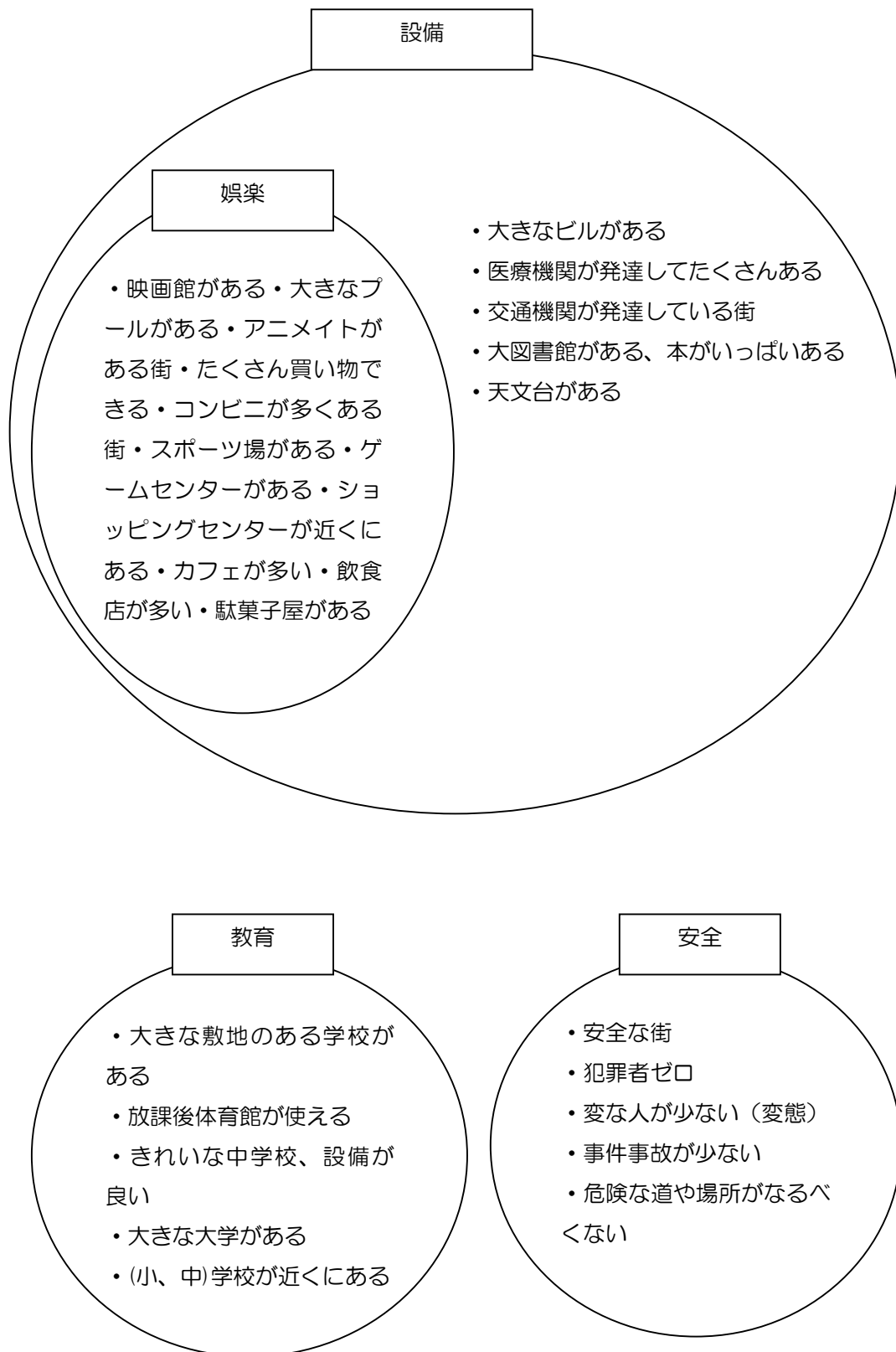
・個人のアイデアが出たところで、次は前回の会議より宿題として出ていた今回のテーマについて、友だちや家族などいろんな年齢層から聞き取りを行った結果を付箋に書き出す。

・各グループで作業した結果を、順番に発表をする。

各グループの作業結果は次のとおり（原文のとおり）。



【シャイニングスター】 中学生…川崎・西山・石原・高田 / サポーター…佐々木・高田・内田



地域社会と人

・ 平和が一番・のんびりスペース・お店と民家が同じ数くらい
の街・人がそこまで多くない街・住んでいる人の思いやり
がある（江戸仕草の精神）例 傘かしげ、七三の道、うかつ
あやまり・のんびり、ゆったりできる・せかせかしていない
街・我が我がと行動しない気持ちを一人一人が持てる・地元
のお祭りがある・巫女さんがいる（神社がある）・にぎやか
な街・周辺施設が充実している・人气がそれなりにある・子
どもが多い街・駅の周りがにぎやか

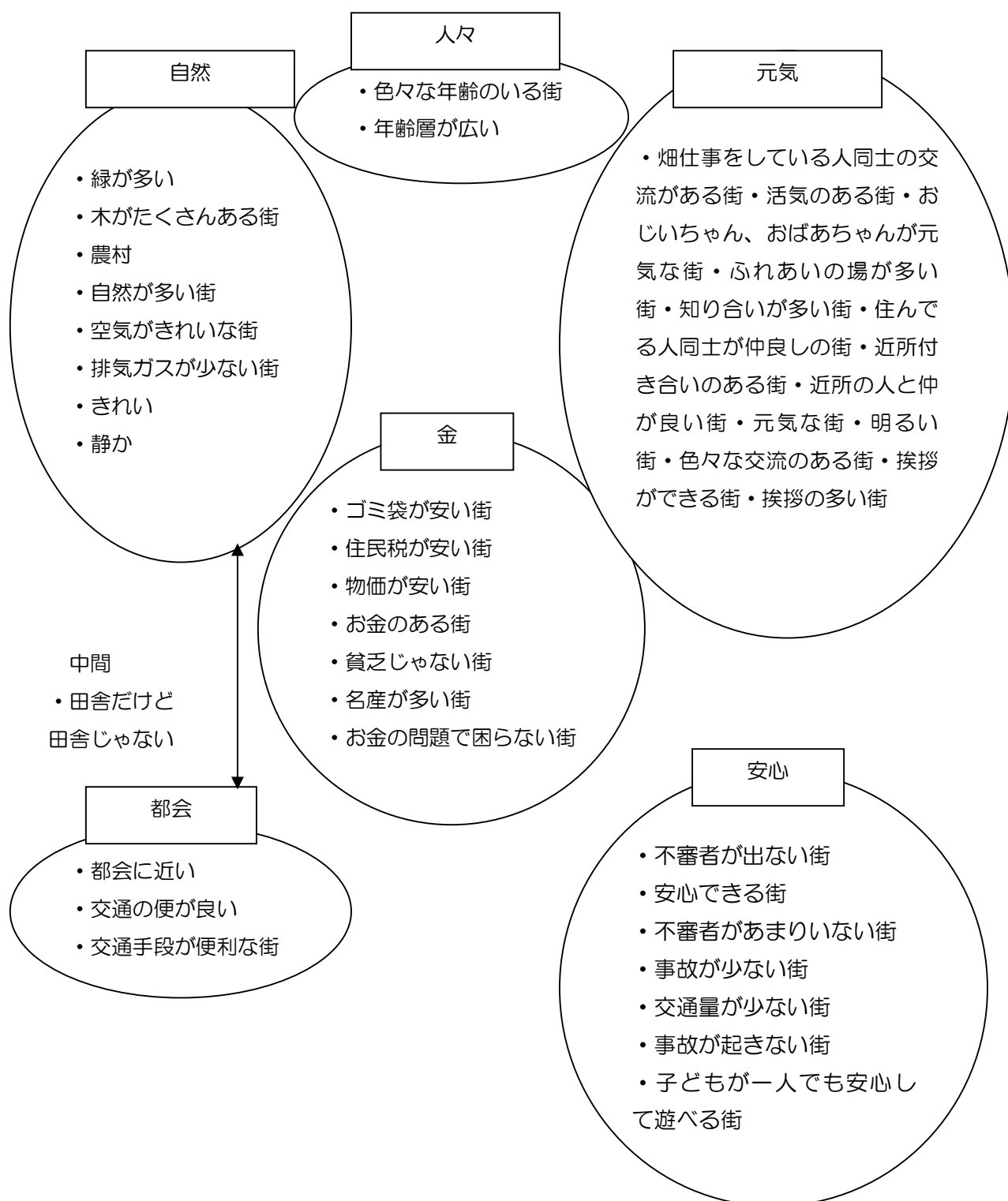
環境整備

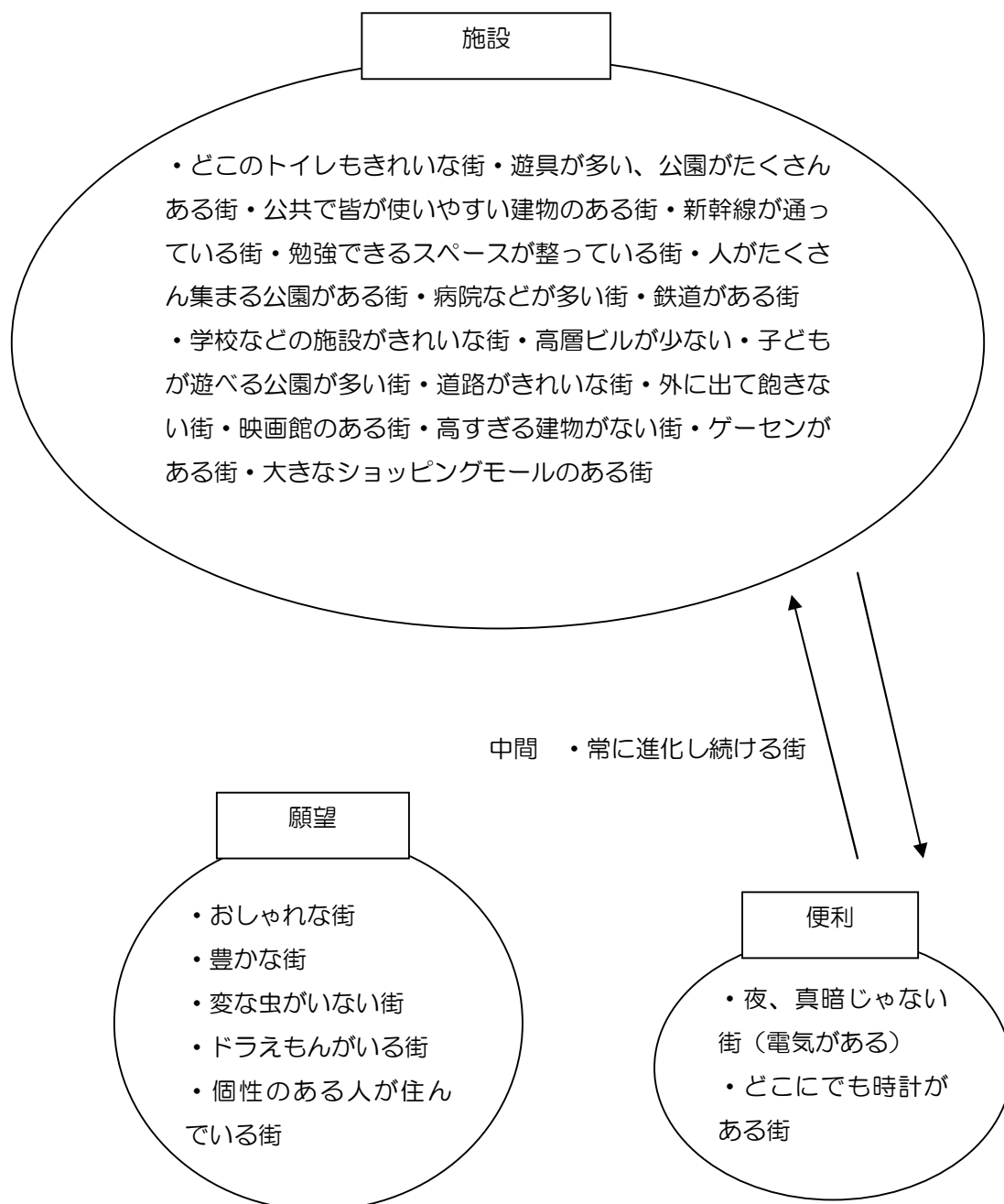
自然

- ・ 大きな公園・めっちゃ公園がある
- ・ 公園のある街・歩行者の通路が広い
- ・ 昔を残した近代的な街
- ・ 電柱がない街・坂道がない街
- ・ 災害が少ない・住みよい環境
- ・ きれいな街・色のある街
- ・ 生活しやすい街・物価が安い街
- ・ 道路が幅が大きい
- ・ 車の通りが整備された街

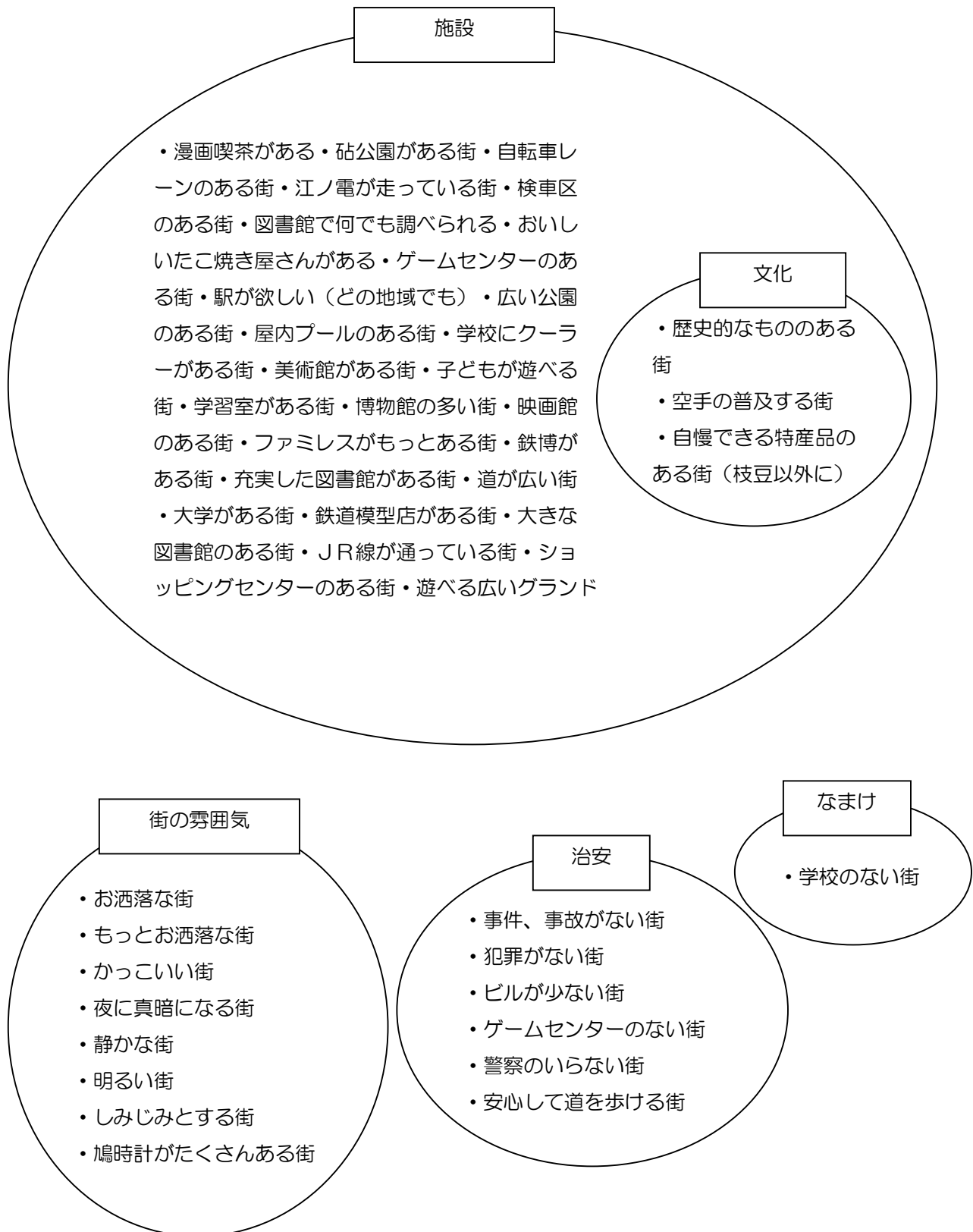
- ・ 田舎町・田舎、農業ができる
ような場所に住みたい
- ・ あらゆる作物を育てられる
- ・ 緑が多い街・空気がきれい
- ・ 星が見える街
- ・ 森（山）がある
- ・ 水がおいしい街
- ・ 自然がいっぱいある
- ・ 自然を感じる街

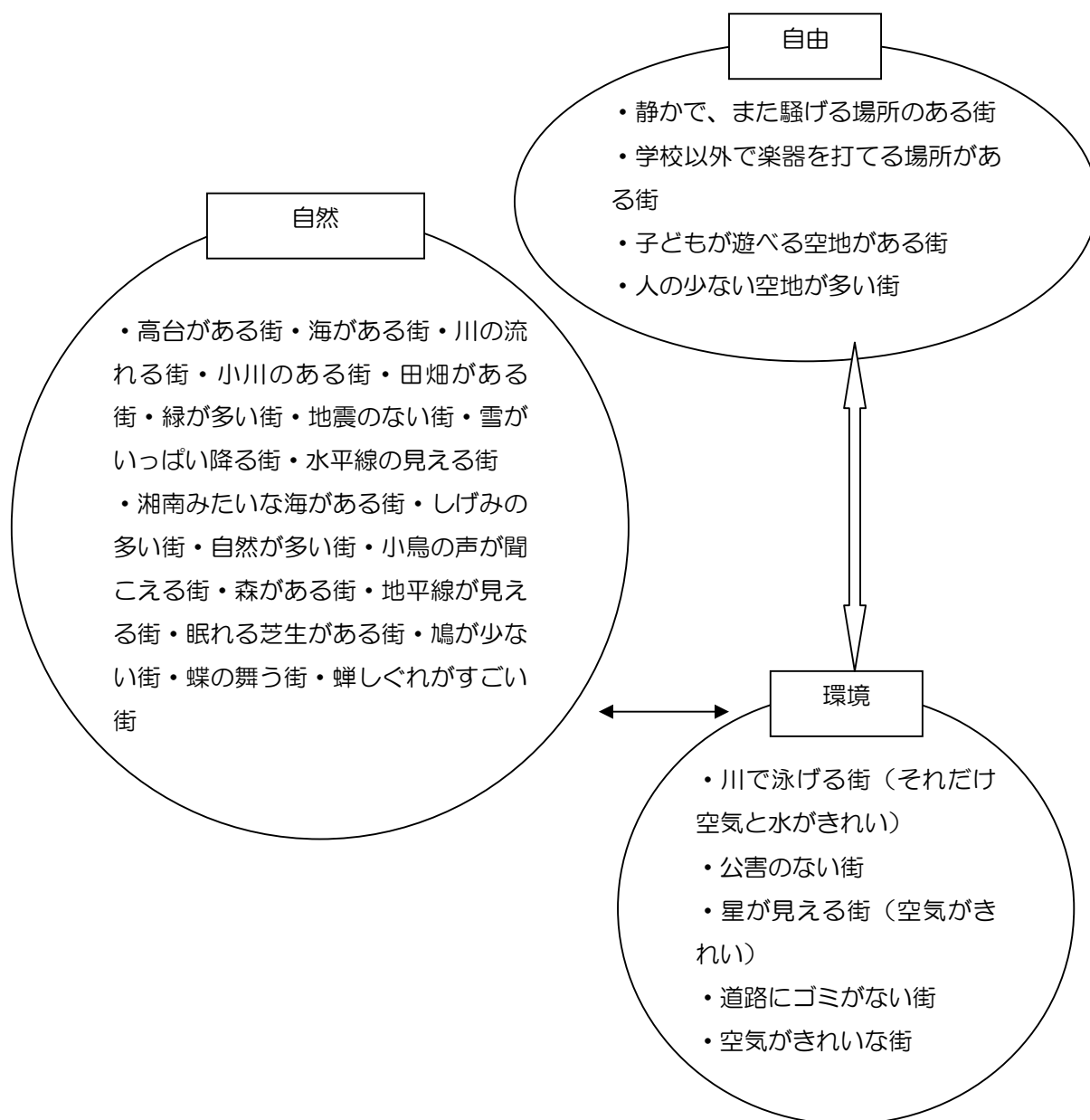
【ブルービーンズ】 中学生…井上・清水・石賀 / サポーター…根本・小笠原



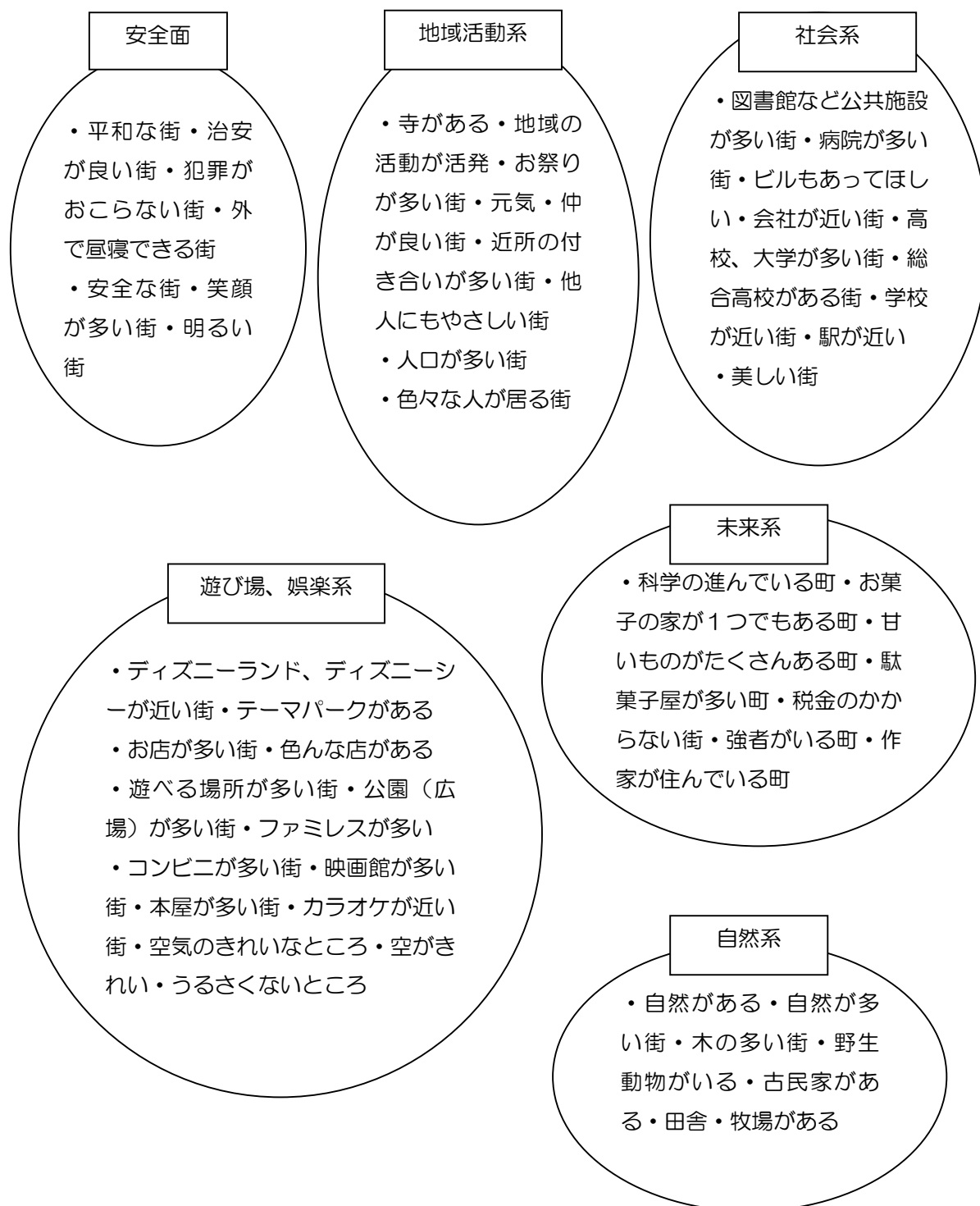


【強行犯係】 中学生…阿部・川地・中村 / サポーター…小林・藤田





【桃太郎】 中学生…加藤・加内・福水 / サポーター…湯浅・内海



○次回、街のイメージ図が浮かんだところで、それが粕江のなかで実現できるか？粕江の街を振り返って考えてみる。宿題は、「粕江の良いところ」「改善したいところ」を友だちや家族などいろんな人から聞き取りを行ってこること。

第3回青少年会議について

○ 日時：平成22年11月21日（日）午後2時～4時30分

○ 場所：市役所特別会議室

○ 主な会議内容

◇アイスブレイクとして、「筋の通った競争（グループごとに1列になり、先頭の人から紙テープを肩方の腕の袖から通し、反対の腕の袖に出す。次の人も同じように通して行き、最後の人まで通す）」を行う。

◇ワークショップ

・前回のテーマは「どんな街に住んでみたいか」であり、様々な意見を出し合った。今回のテーマは「狛江の良いところ、悪いところ」である。前回まとめた「どんな街に住んでみたいか」の意見をまとめた模造紙や、狛江案内マップを配布し、マップを参考に街のイメージ図を再確認をする。

また、前回と同様に、KJ法やブレインストーミングで、付箋に個人のアイデアを書き出す。

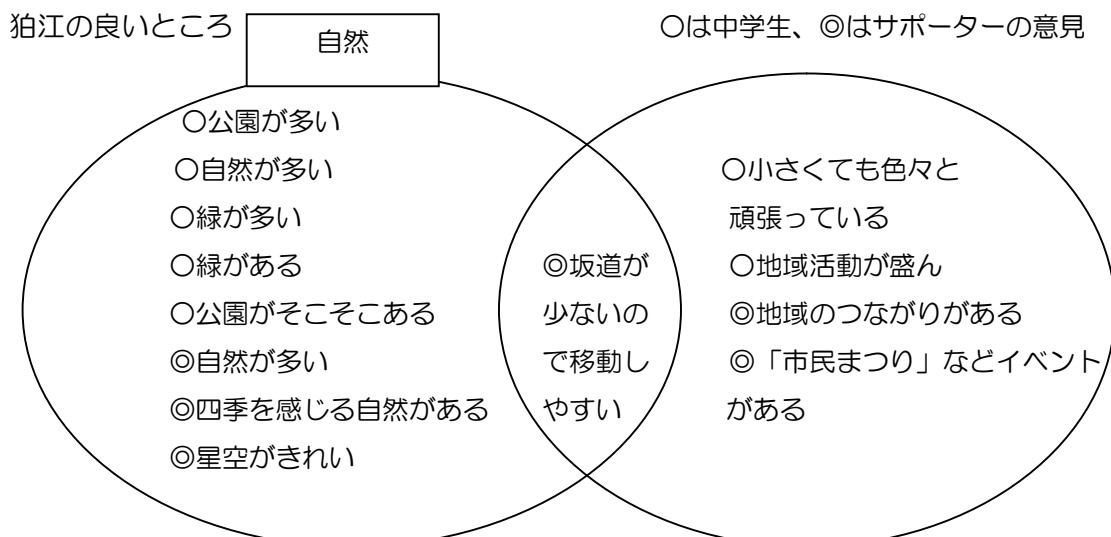
・中学生の意見とサポーターの意見を区別するため、書き出す付箋の色を区別する。

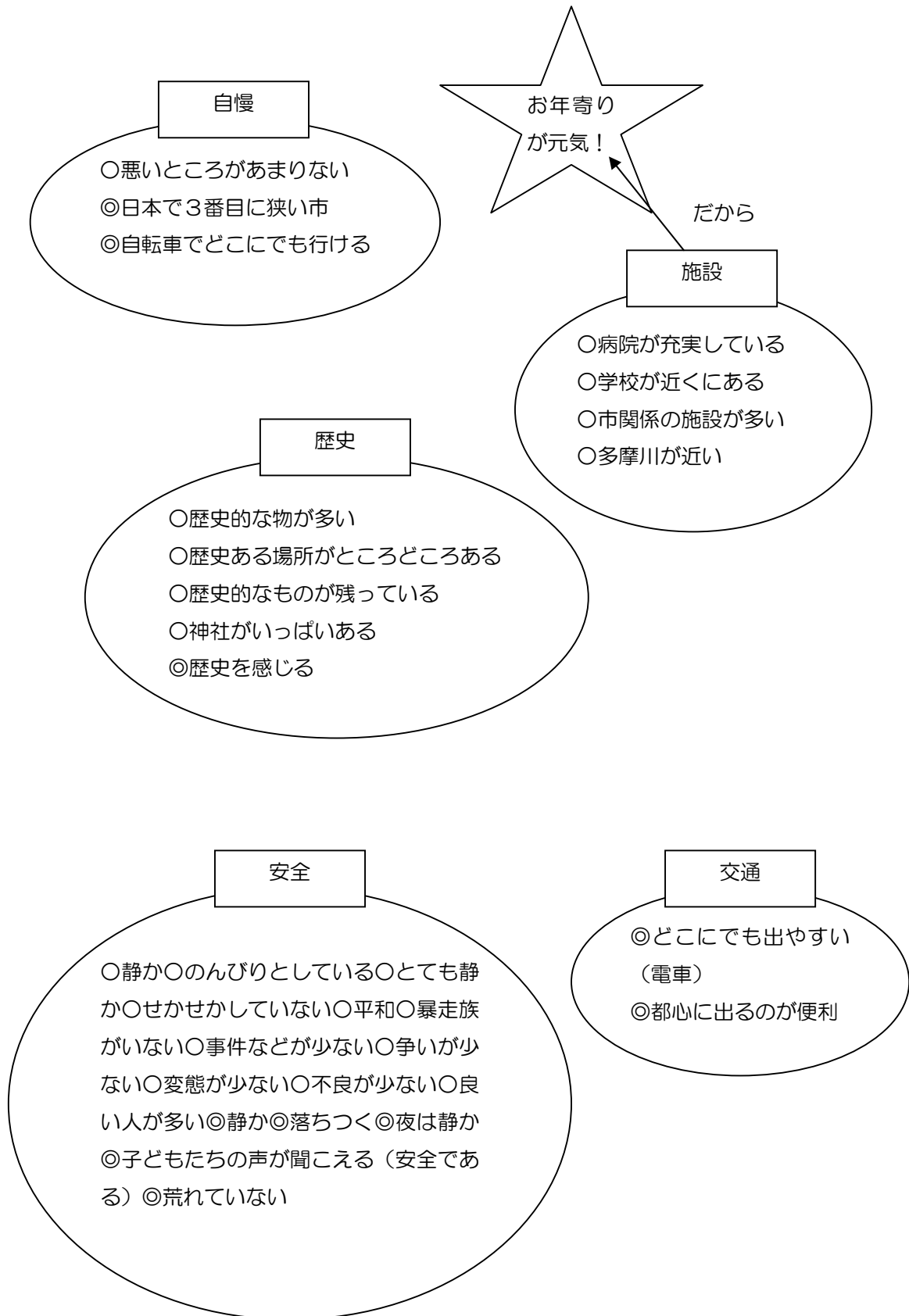
・個人のアイデアが出たところで、次は前回の会議より宿題として出ていた今回のテーマについて、友だちや家族などいろんな年齢層から聞き取りを行った結果を付箋に書き出す。

・各グループで作業した結果を、順番に発表をする。また、発表後に質問の時間を設けるものとする。

各グループの作業結果は次のとおり（原文のとおり）。

【シャイニングスター】 中学生…川崎・西山・石原・高田 / サポーター…佐々木・高田・内田





○は中学生、◎はサポーターの意見

狛江の悪いところ

生活に必要な施設の不便さ

○警察署がない○ドラッグストアばかりある○周辺施設があまり充実していない○目立つようなものがほぼない○医療機関が少ない◎買い物ができるビルがない◎買い物のメインが調布や世田谷になってしまう（大型店がない）◎食事をする場所が少ない

娯楽に対する不満

○楽しめる場所が少ない
○アニメイトがない
◎高校生以上が遊ぶ場所がない

狛江ってどこ？

○知名度が低い
◎「何県？」と言われる

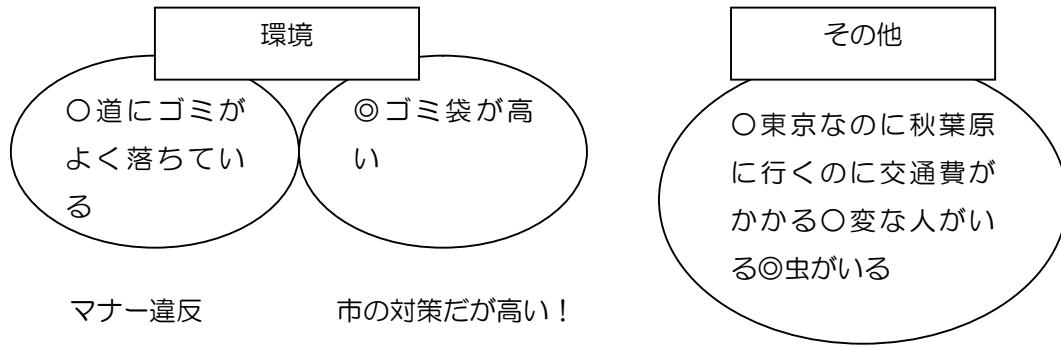
地域社会のものたりなさ

◎一番にぎわうはずの駅前が発展していない気がする
◎にぎやかでない
◎こまバスのルートがちょっと不便
◎これというものが何もない

道路の不備

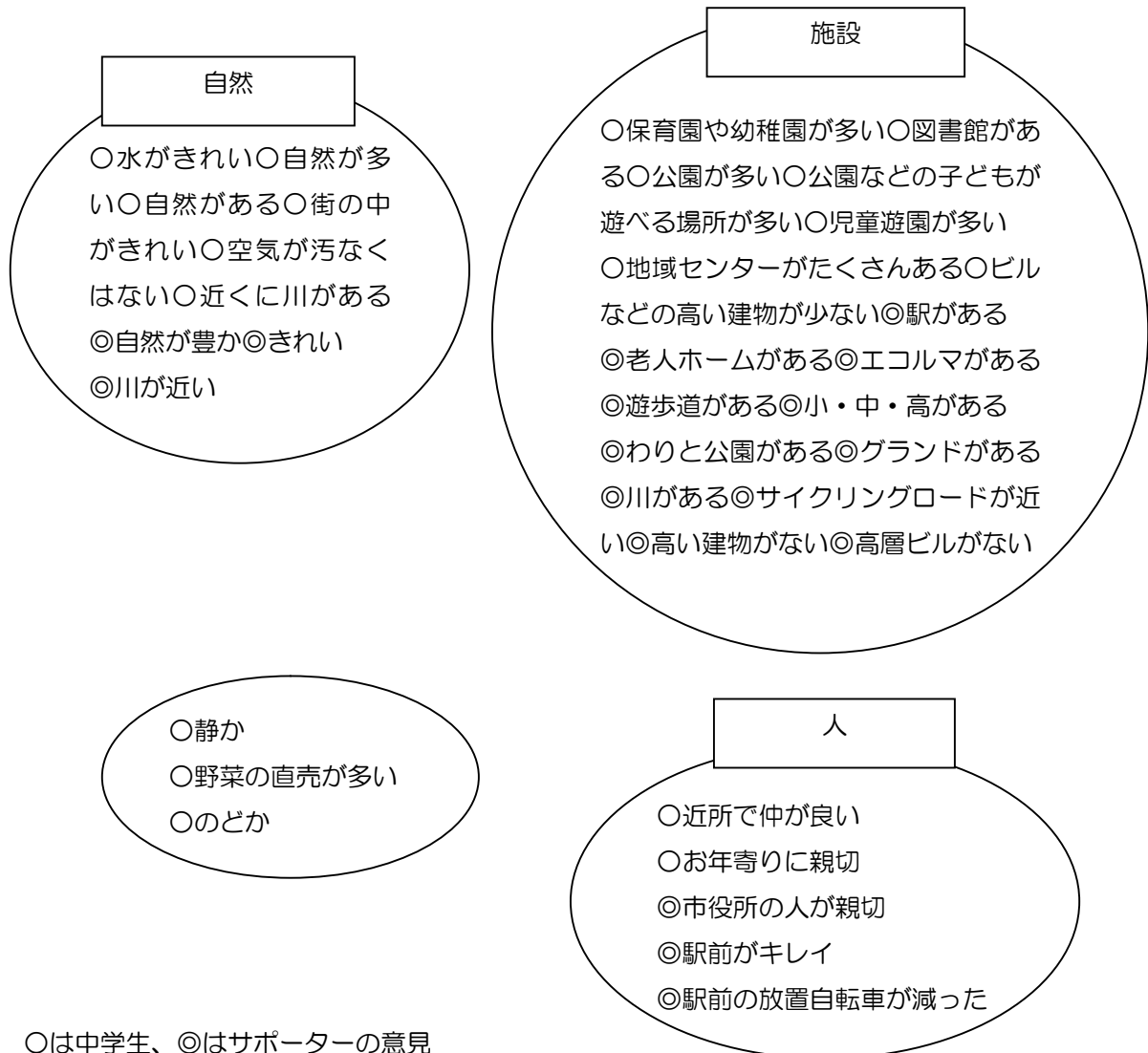
○道が狭い場所がある
◎住宅地をバスが走るのに歩道整備がされていない

○は中学生、◎はサポーターの意見



【ブルービーンズ】 中学生…井上・清水・石賀 / サポーター…根本・小笠原

狛江の良いところ



- 市で行うイベントが多い
- 市民まつりなどの祭りがある
- 交流が多い
- 新宿まで1本で行ける
- バス停がたくさんある→バスに乗りやすい

- ◎都会へのアクセスがしやすい
- ◎都会に近い
- ◎交通の便が良い
- ◎バスが走ってる

- 歴史的な建物が残っている
- 古墳がある
- 「電力柱がなく、美しい景観を得られる道」がある

- ◎市外局番が03
- ◎東京に属してる
- ◎区ではないところ

- 街（市）が小さい
- It's a small
- ◎日本で3番目に小さい市
- ◎規模が小さい
- ◎狭い
- ◎街が小さい

○市が小さいから知っている人がたくさんいる

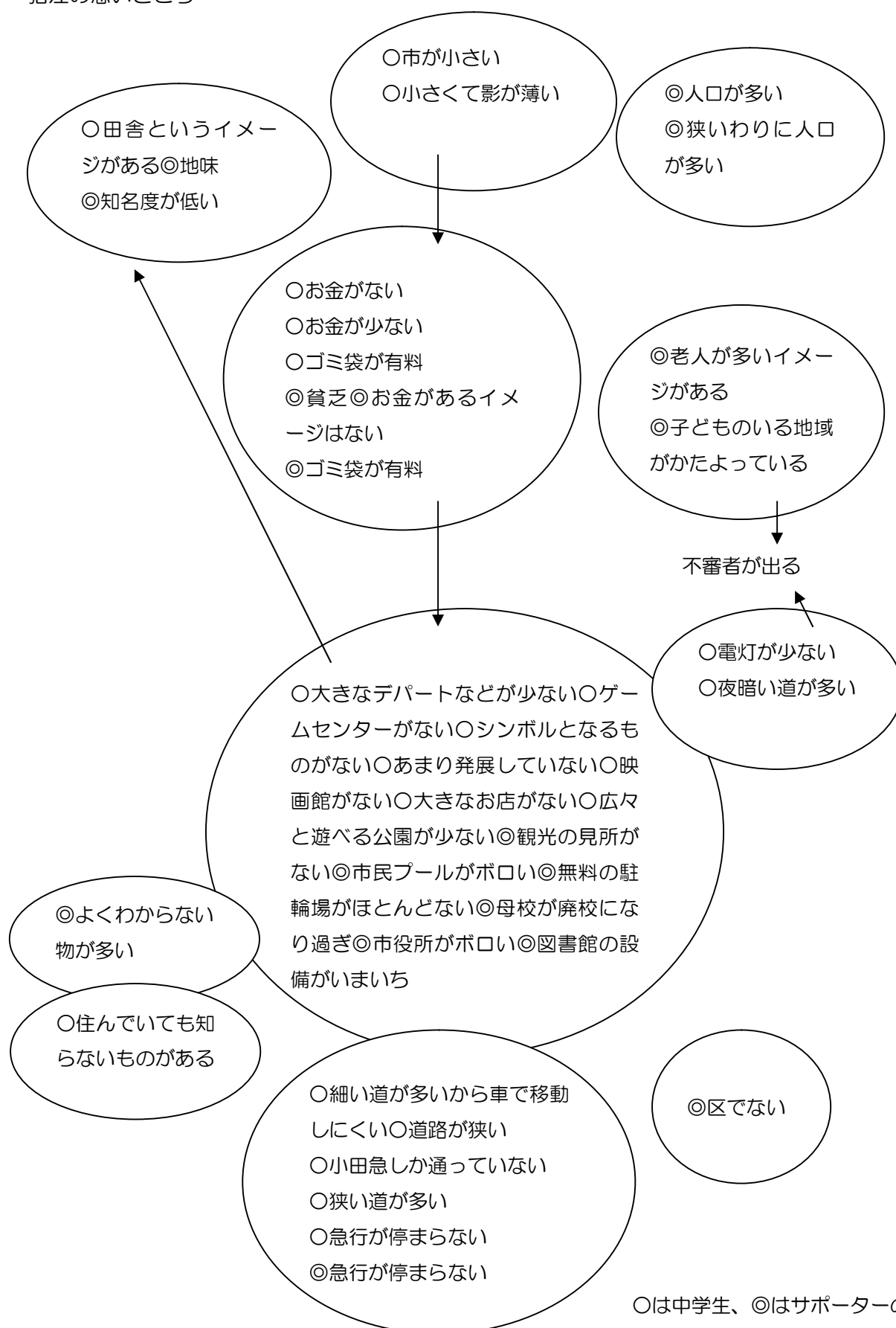
- 安全
- ◎そんなに危なくない
- ◎交通量が多くない

- ◎ミスチルが育った
- ◎コマレンジャーがいる
- ◎意外と撮影が多い

- その他
- 節約できる（お金を）
 - 川の向こうが違う県

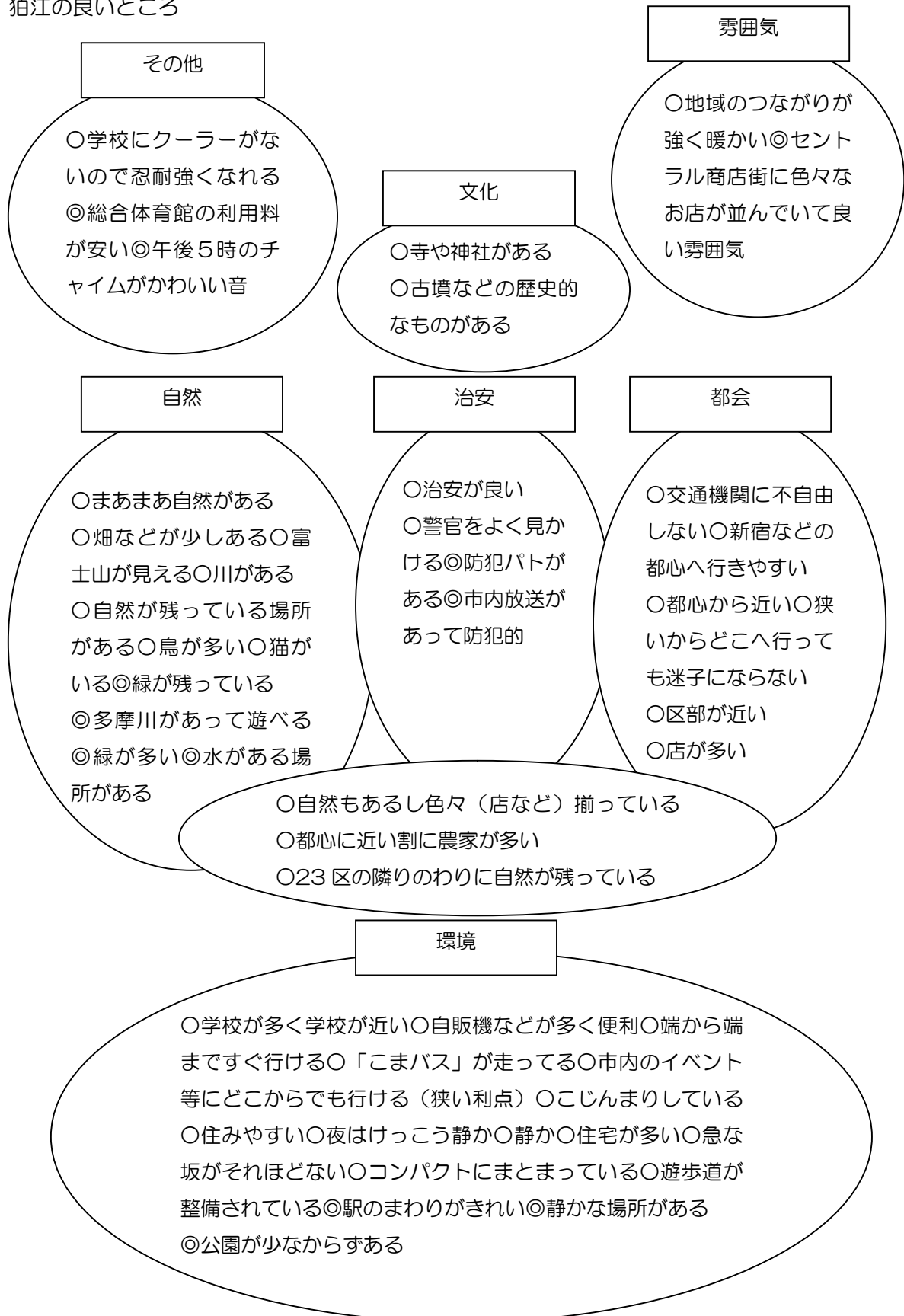
○は中学生、◎はサポーターの意見

粕江の悪いところ



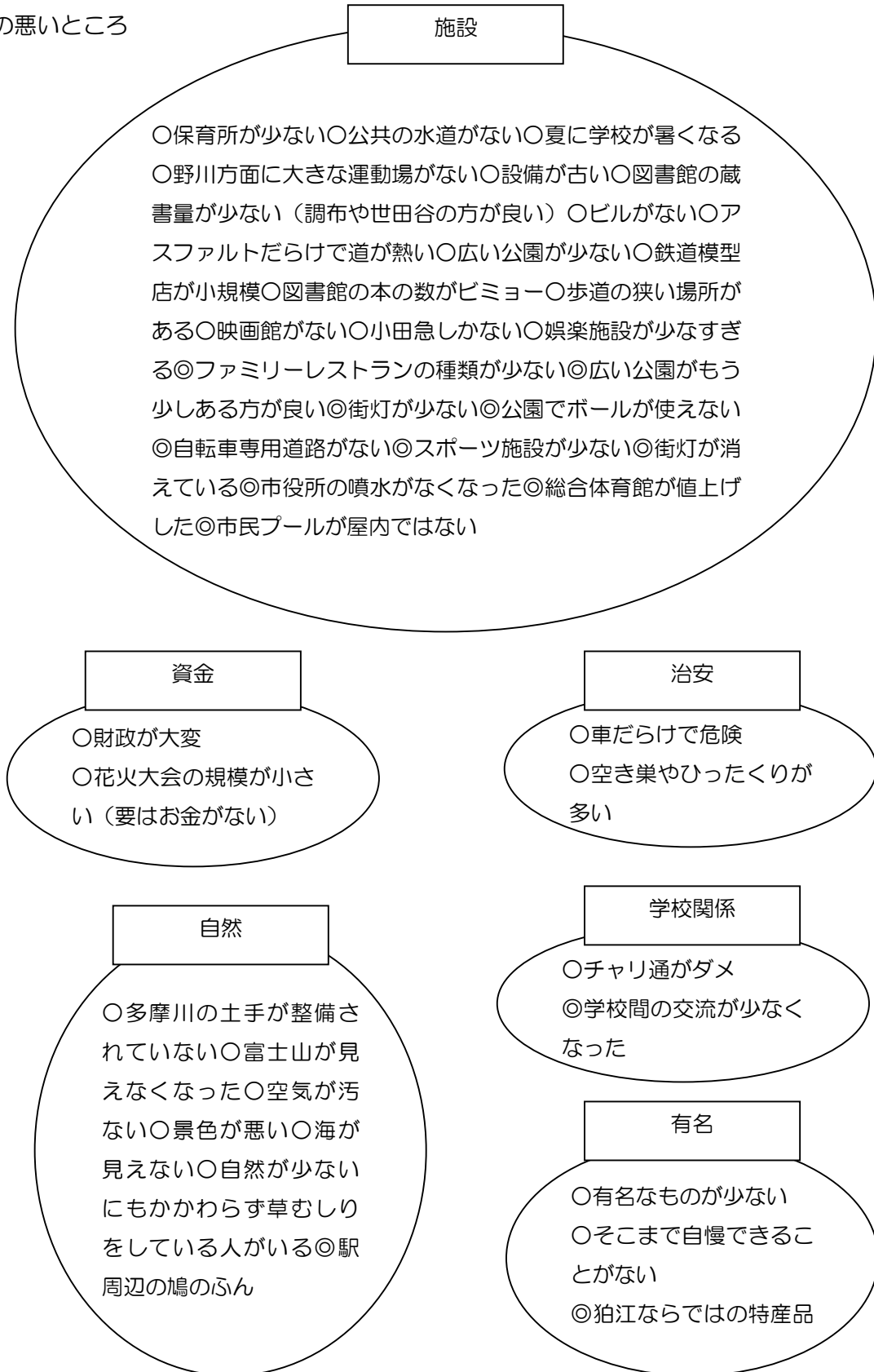
【強行犯係】 中学生…阿部・川地・中村 / サポーター…小林・藤田

狛江の良いところ



○は中学生、◎はサポーターの意見

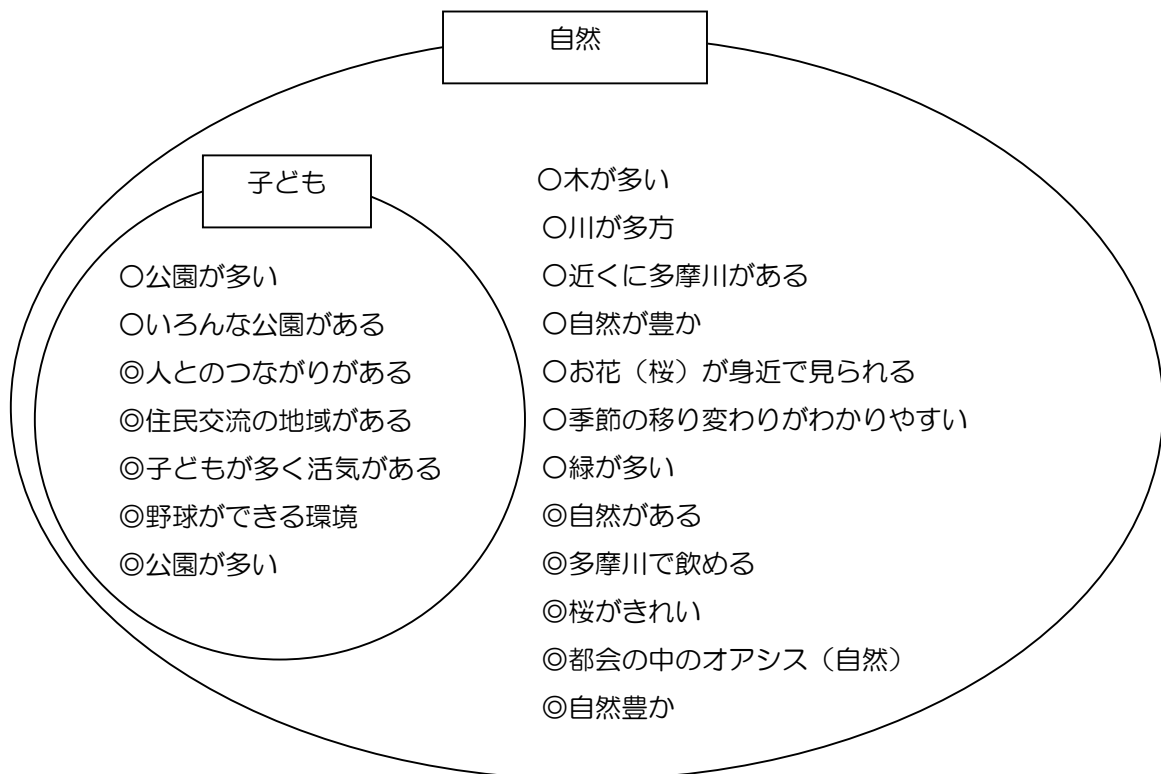
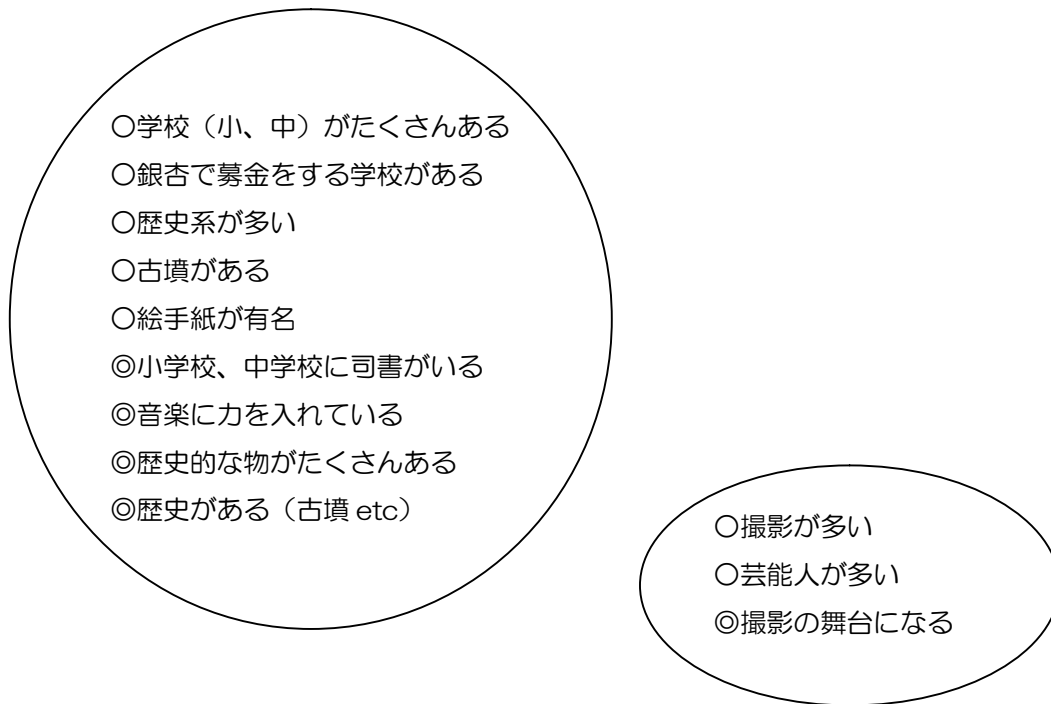
狛江の悪いところ



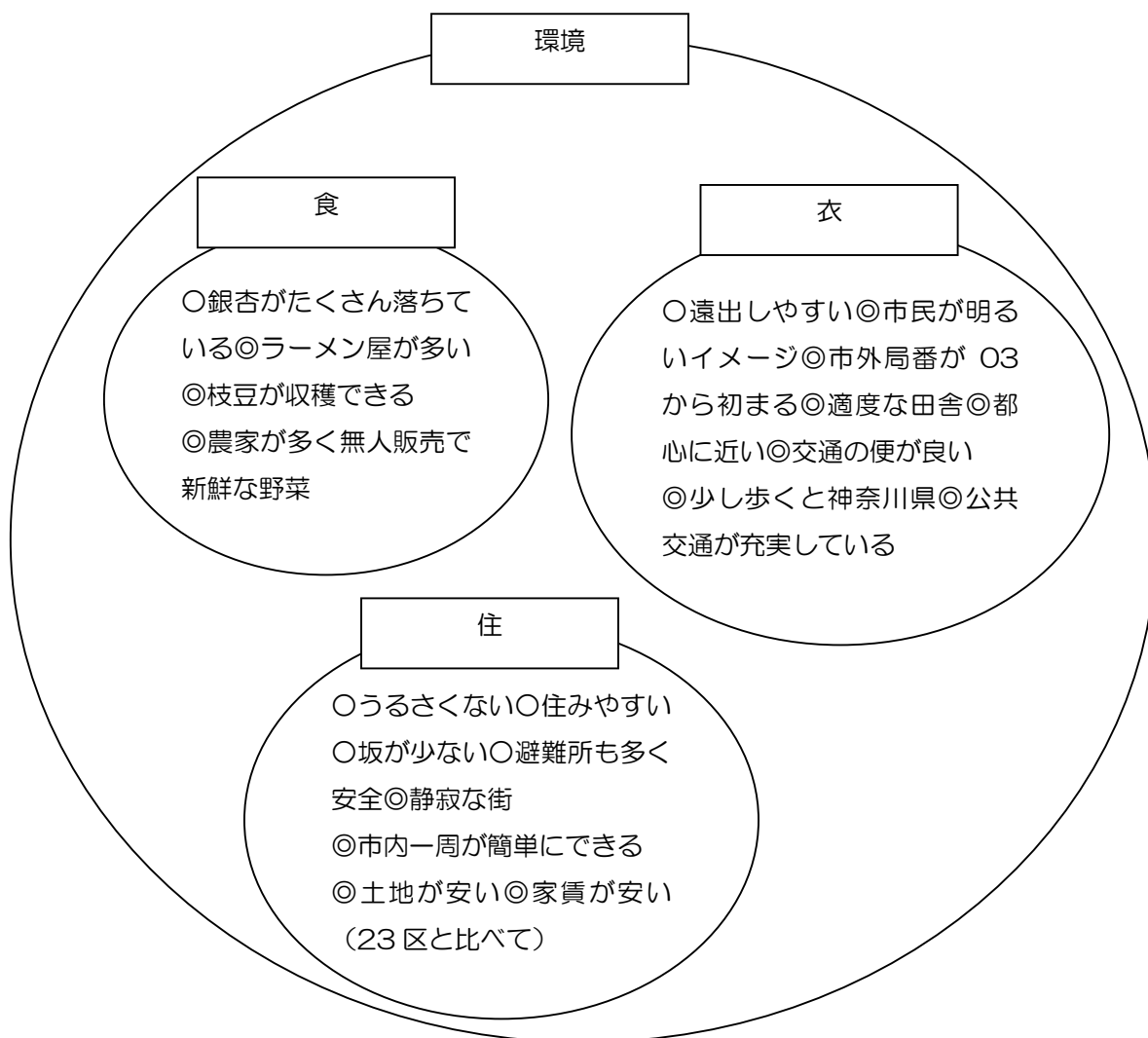
○は中学生、◎はサポーターの意見

【桃太郎】 中学生…加藤・加内・福水 / サポーター…湯浅・内海

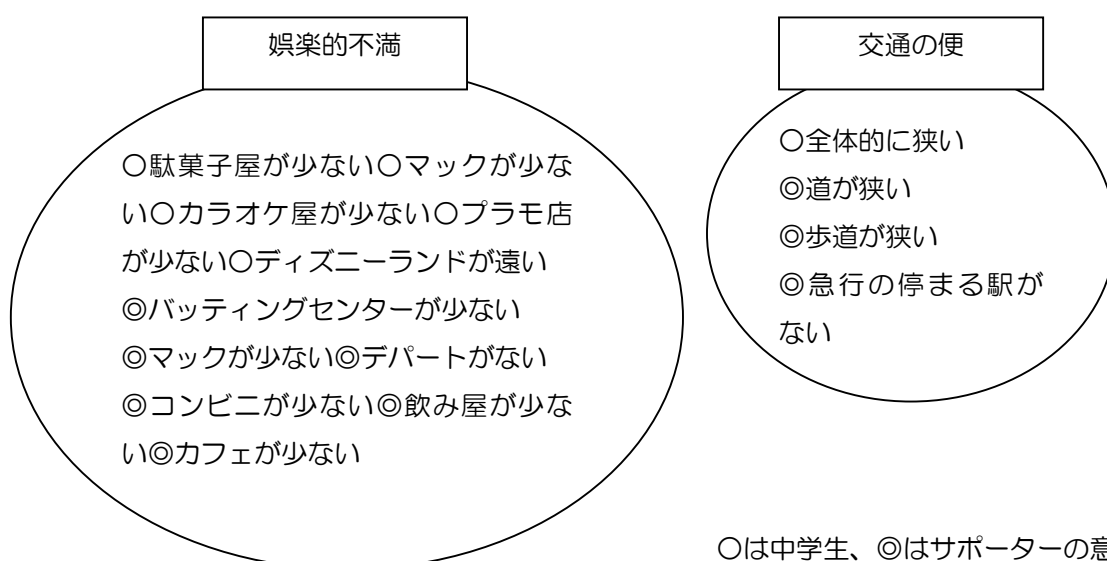
狛江の良いところ



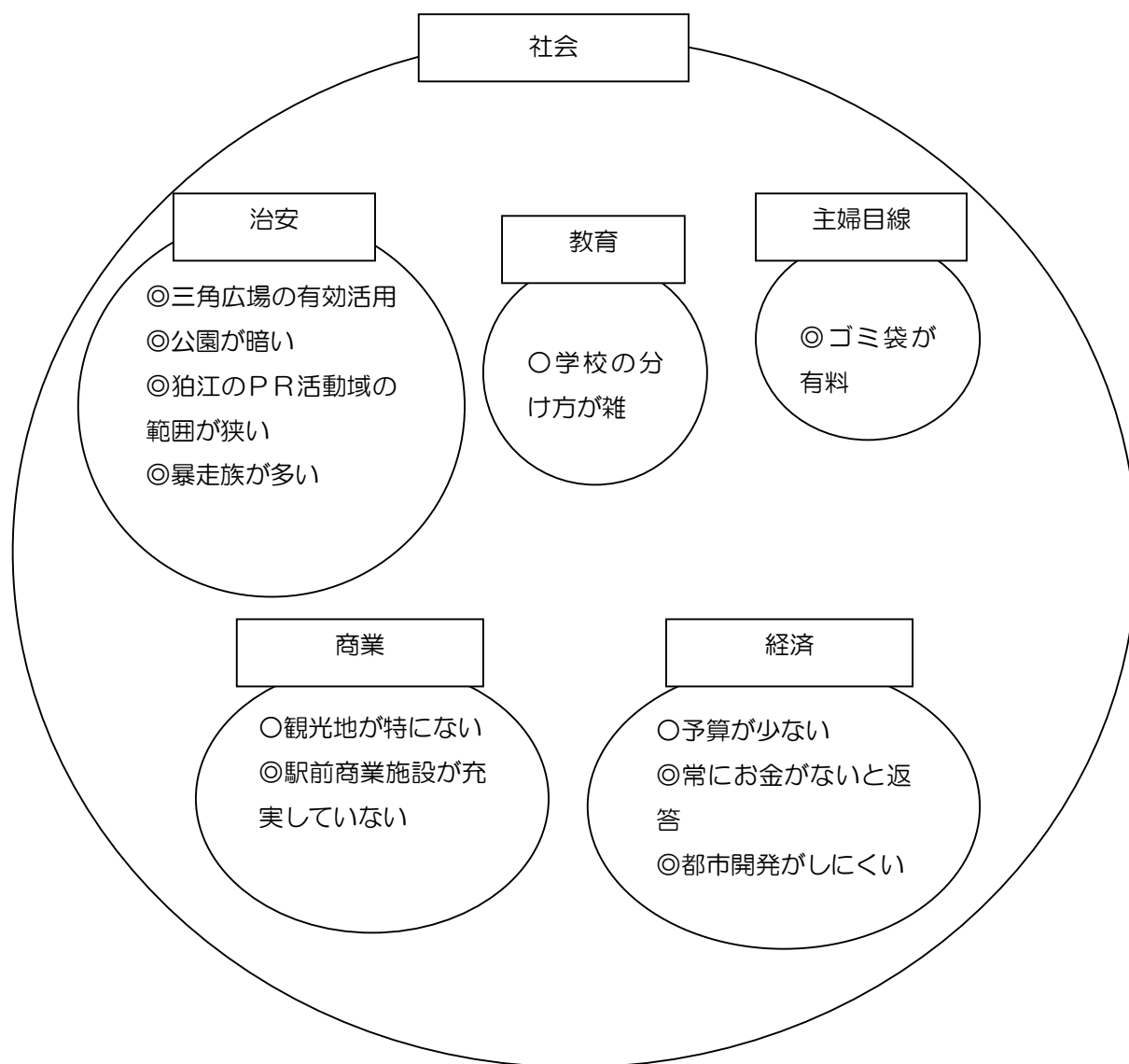
○は中学生、◎はサポーターの意見



粕江の悪いところ



○は中学生、◎はサポーターの意見



○は中学生、◎はサポーターの意見

○質問で出た主な意見

- どうやったら、「狛江の悪いところ」を「良いところ」に変えられるか？
→例えば、娯楽施設であれば、空き店舗を使用していく等。
- まとめたグループの「環境」のところに、「住みやすい」という意見があるが、それはなぜか？
→自然環境だけではなく、住宅環境のことも考えた。住むための環境が整っているという意味もある。
- 「安全」のところに、「静か」という意見があるが、それはなぜか？
→騒がしかったら、安全ではないという意味である。
- 小さい市は自慢になるのか？
→狭いことを知って、できることがあるので良いのではないか。

○次回、狛江の良さを今後も活かすには、どうしたら良いか、改善策を考えてみる。
「改善したいところ」を友だちや家族などいろんな人から聞き取りを行ってこること。



第4回青少年会議について

○ 日時：平成 22 年 12 月 12 日（日）午後 2 時 30 分～5 時 10 分

○ 場所：市役所特別会議室

○ 主な会議内容

◇アイスブレイクとして、「集団ジャンケン」を行う。

◇ワークショップ

・前回のテーマは「粕江の良いところ、悪いところ」であり、様々な意見を出し合った。今回のテーマは「粕江の良さを今後も活かすには、どうしたら良いか？改善するためにはどうすれば良いか？」であることを発表。

・前回までにまとめた内容や意見、宿題で考えてきた友だちや家族などの意見を参考に、以下の事項について意見を出し合う。内容は「自分たちでできることは何だろう？」である。前回と同様に、KJ法やブレインストーミングで、付箋に個人のアイデアを書き出す。

・アイデアが出たところで、テスト（アンケート形式）を配布。個人で作成した内容について、グループ内で発表。その後、個人の意見を集約してグループの意見として模造紙に意見をまとめる。テストの内容は以下のQ1～Q4となる。

Q1、粕江市であなたが大切にしたいもの、未来へ残しておきたいもの、自慢できるもの、誇れるものは何ですか？

Q2、あなたはいま粕江市長です!! 何でもできるとしたら、どんなことに力を入れたいと思いますか？

Q3、あなたは粕江市長です!! 粕江市のどの部分をどのように改善したいですか？具体的に書いてみてください。

Q4、前回の青少年会議（平成 20 年度に実施）での先輩たちは、中学生の居場所づくりについて、「しゃべり場」「四中戦」「地域センターや体育館の年間パスポート」の提案がありました。そこで質問です！先輩たちの主張を実現するには、どうしたら良いですか？具体的に書いてみてください！

・各グループで作業し、まとめた結果を順番に発表をする。発表時間は、各グループ4分間である。

各グループの作業結果は次のとおり（原文のとおり）。

【シャイニングスター】 中学生…川崎・西山・石原・高田 / サポーター…佐々木・高田・内田

Q1

- ・安心安全静かな街
 - ・豊かな自然
 - ・絵手紙⇒もっとアピールして未来に残していきたい
- } ⇒ 住みごごちが良い

Q2

- ・図書館やプール等の施設を増やす
- ・知名度を上げる

Q3

- ・借金について・・・とにかく頑張る！
- ・ゴミについて・・・処理場をつくる、缶 20 個拾ったら抽選ができたり粕江エコポイントがもらえたりする
- ・道について・・・整備したり、街灯を増やしたり、広くしたりして、ドライバーにも歩行者にも安全な道にする
- ・知名度について・・・ゆるキャラをつくる

Q4

- ・しゃべり場→施設の開放
- ・四中戦→四中学の生徒会の連携
- ・年間パス→料金設定を 500 円にする

【ブルービーンズ】 中学生…井上・清水・石賀 / サポーター…根本・小笠原

Q1

- ・多摩川 ・自然 ・自然（多摩川等） ・古墳 ・近所づきあい
- ・市民まつり ・のどか、自然がたくさん ・仲が良い ・小、中、高揃っている
- ・粕江を大切にしている気持ち

Q2

- ・粕江市の全てを愛す ・自然を増やす、守る ・美化活動
- ・市民の意見に耳をかたむけ実行させる ・市民からの要望を実現する
- ・粕江で働ける場所をつくる ・設備を良くする ・他の市との交流

- ・畑→家にならないように直売を市民に使ってもらう
- ・まず粕江市民のことを第一に考えて！

Q3

- ・子どもが安心して遊べる公園が少ないので公園を見通し良くする
- ・夜になると道が暗くなるので電灯をつける
- ・粕江に企業を誘致する←働く場が少ない
- ・自然が少なくなっている→ボランティアに参加し、現状を知る
- ・どこからでも緑が見える様、木を植える活動を行う
- ・少子化ぎみ→だから、子どもを持つ親が使いやすい施設などをつくる→街が盛んに
- ・塾の帰りなど暗くて見通しの悪い道が多い→だから、電灯をつけ、道の整備をする
- ・観光地にするために、ロケ地 map をつくり、観光客を呼ぶ！！ ☆粕江市が有名に!?

Q4

○年間パスポート

- ・その施設をたくさん利用して年間パスをつくってもらいたいと主張する
- ・年に1度のお金をしっかり決める
- ・どうしてお金を払うのか、いつ誰が使用しているのかを知り、年に1度支払う額を決め、約束は守る上で粕江市民の小、中学生に年間パスを設ける

○しゃべり場

- ・テスト1週間前などに小学校などの施設を貸してもらい、勉強できる場をつくる

○四中戦

- ・四つの中学をもっとよく知る、見学する
- ・四つの中学で話し合える場所をつくり、市民グラウンド等を借りて競技をする
- ・部活では粕江杯で戦ったりしているし、強いチームとかがあって面白くない→だから、サッカー部VSサッカー部でも試合は野球など、あまり練習していないもので！

【強行犯係】 中学生…阿部・川地・中村 / サポーター…小林・藤田

Q1

残しておきたいもの

- ・ 静かな環境 ・ 自然が多い ・ 地域の結び付き ・ 「狛江」という名前
- ・ エコルマの使用率が高い ・ 歴史的な場所

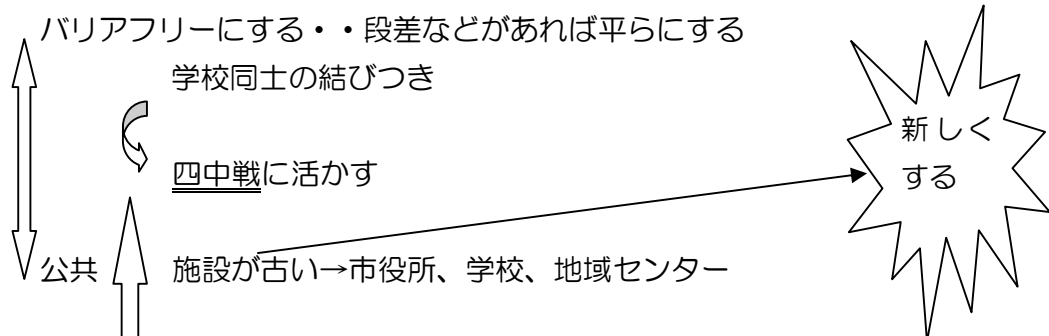
Q2

- ・ 企業の誘致⇒経済の活性化 ・ 保育所を増やす⇒少子化対策
- ・ 歴史的な場所を教育に取り入れる
狛江をわからせる教育（狛江探検）
 学校の先生は狛江を知っている先生に



歴史と狛江を結び付ける
 狛江をよく知る

Q3



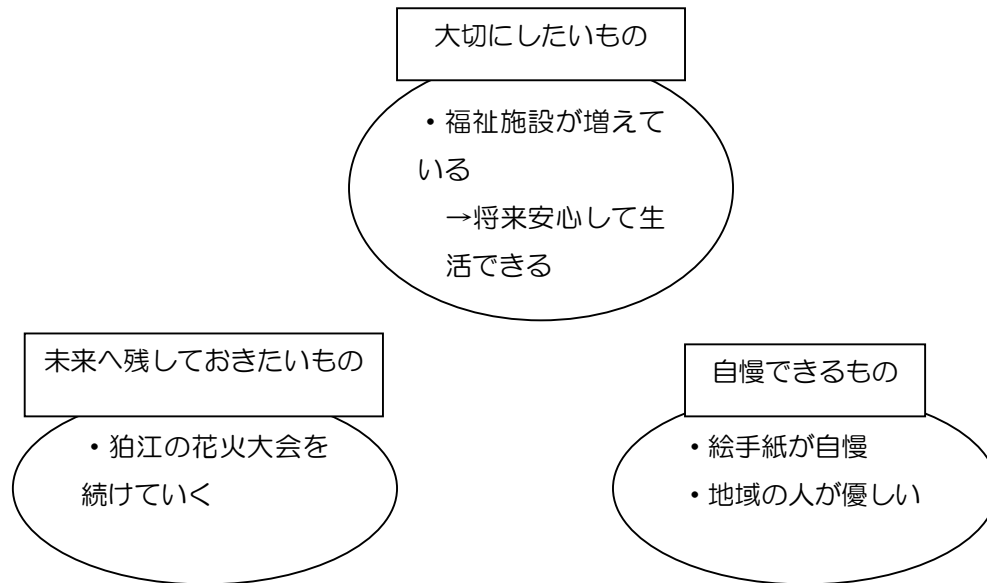
Q4

- しゃべり場
 - ・ 地域センターなどに場を設け曜日を決め、ボランティアなどの協力のもと行う
- 四中戦
 - ・ 事前に4校の代表をたて、月1回で「四中戦デー」をつくる
- 地域センターや体育館の年間パスポート
 - ・ 施設の利用状況を把握し、年間パスポートを必要とする人が多ければ設ける

施設の結びつきの強化

【桃太郎】 中学生…加藤・加内・福水 / サポーター…湯浅・内海

Q1



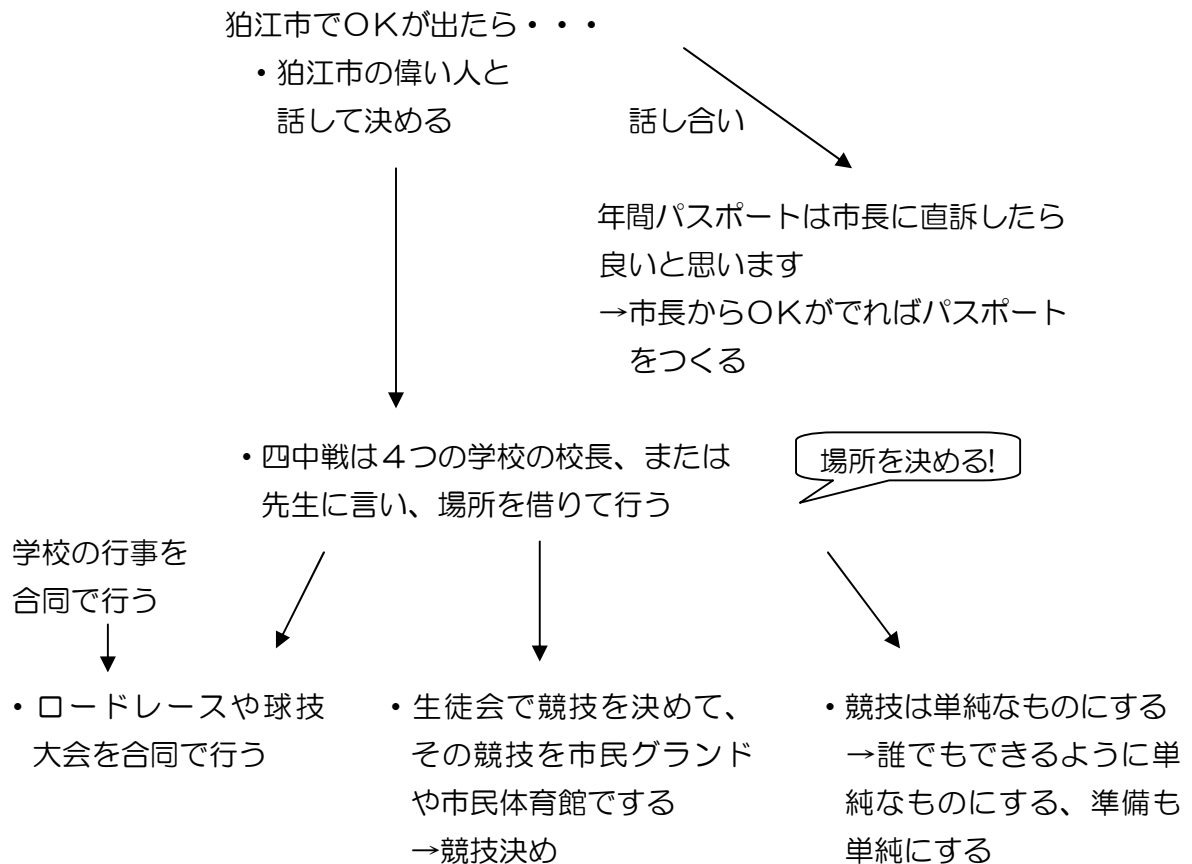
Q2

- ・狛江の良いところを伸ばす→地域の仲が良い
- ・子供たちが遊べる場所をつくること→最近、公園とか外で遊べる場所が減っているから
- ・コミュニケーションの場を増やす→イベントとか

Q3

- ・ゴミを少なくする→きれいな街づくりをするため
- ・ゴミが歩道にあるのできれいにして、きれいな街にする
- ・落ち葉拾いやゴミ拾いを増やしていく
- ・公園に花や木を植えて育てる→明るい街づくりをするため
- ・夜道が暗いから街灯を増やして明るくする→事故を減らすため
- ・自転車が歩道にあると目が見えない人に邪魔なので撤去する→障がい者のため

Q4



○次回のテーマは、「今回出した意見を実現するために、自分たちに何ができるか？」を具体的に検討し、平成 23 年 3 月 19 日（土）の青少年会議報告会に向けて意見をまとめる作業に入ることとする。

第5回青少年会議について

○ 日時：平成 23 年 1 月 23 日（日）午後 2 時～4 時 30 分

○ 場所：市役所特別会議室

○ 主な会議内容

◇ワークショップ

・前回のテーマは「粕江の良さを今後も活かすには、どうしたら良いか？改善するためにはどうすれば良いか？」であり、各個人にテスト（アンケート形式のもの）を配布し、集約した意見を模造紙にまとめ発表した。今回の会議より、前回までにまとめたテスト等の意見を参考にしながら、「自分たちの粕江に対しての要望」と「中学生の自分たちができること」について、自分たちの主張を決定する。そこで、主張決定をするにあたり、『私たちが粕江市の大統領になったら』と仮定し、政党（＝グループ）としての基本方針、いわゆる『マニフェスト』を作成することとする。

・最初にマニフェストとは何かについて説明。その後、個人作業として私たちが実行したいこと、その理由、私たちと行政がすることの役割分担等を検討し、個人作業終了後、その意見を集約してマニフェストとしてまとめる。

・各政党のマニフェストを全員に配布後、その内容について発表を行う。

各グループの作業結果は別紙参照。

○宿題は、各政党のマニフェストを参考にして、一人一グループごとに一問、質問を考えてくる。次回は、質問の回答を各政党で話し合い、その結果をマニフェストに補足し、平成 23 年 3 月 19 日（土）の報告会に向けて発表準備を行う。

狛江市財政難を救う為に人を呼ぶ!!

その↓ためには

知名度 up!!

その↓ため(ry

イベントなどやる!

- ・ギネス大会
- ・B級グルメ
- ・花火(お祭り)
- ・ハート

大きくいうと

町全体を

使う。(できれば外の人まで)

・アート系
信号をえた豆
像をたて

・絵画
おうちでかき
出す。

・その他
はばかして
知名度 up

from シャイニングスター

【シャイニングスター】のマニフェスト(提案)

中学生…川崎・西山・石原・高田 / サポーター…佐々木・高田・内田

- 主張 自然を増やしたい(守りたい)
- 理由 歩いた時に生き苦しい,さびしい
- お願い 外路地に木や花を植えてほしい
 ・サイクリングロードに桜の木や花などを植えてほしい
 ・多摩川の清掃
 ・ボランティア団体に補助金を出してほしい
- 自分達ができること
 ・多摩川清掃のボランティア
 ↓
 狛江市の現状を知ってもらう

主張2. 公園を新しく作してほしい

- 理由 今ある公園が広々としていない
 ・遊ぶところが少ない
- お願い トイレがない
 ・老朽化してる
 ・元ある公園がきたない
 ・広々と使えるスペースがほしい
 ・管理体制をちゃんとしてほしい
 ・ベンチがほしい
 ・補助金を出してほしい(ボランティア)
 ・チラシの印刷
- できること
 ・トイレの管理を手伝う
 ・掃除の手伝い
 ・使わなくなったボールを寄付してもらう
 ・ボランティアの手伝い
 ・チラシ作り

ブルービーンズ

【ブルービーンズ】のマニフェスト(提案)

中学生…井上・清水・石賀 / サポーター…根本・小笠原

強行犯係



提案するマニフェストを作成しよう



前回までに出た意見を参考に、グループの意見をマニフェストとしてまとめます。

→ あなたは、今日から粕江市の大統領です！！

★そこで、考えてみてください。わたし達の「政党」(グループ)のもっともやりたいことって何ですか？

- ② ○まずは、わたし達の主張を何にするか決めます。(党としての基本方針になります。1つ〜2つ程提案してください。あとでグループの方針として、みんなの意見をまとめます。)

*党として最も伝えたいこと、やりたいこと、やってほしいことを書きましょう。(例)「わたし達○○党は、粕江を良くするために○○をします！」

私達 強行犯係は、

- ★歴史 ... 知名度UP・観光保護のために 訪問やそういを行い都た (はたらきかけする)
- ★自然 ... 夏のあつさを軽減し、より住みやすくなるために クーラーの使用をひかえ、緑を増やし、せうげう活動を行いまふ
- ★粕江の夏をすましくします！ 行政に常緑樹や芝生に17もらい、人里物をこれ以上増やしてん

歴史の興味を
云々する

分野としては→福祉、教育、ゴミ、公営、環境、道路、商店街、高齢者、障がい者、自然、農業等々があります。

☆そのためには、党としてはどんなことを実行しますか？方法(施策)を具体的に考えてみましょう。

W

【強行犯係】のマニフェスト(提案) 1/3

中学生…阿部・川地・中村 / サポーター…小林・藤田

(例)「〇〇施策のために、〇〇をしています。」

→ 歴史

→ 自然

☆その理由は何ですか？その原因や課題も考えてみましょう。

理由 歴史：古墳などから残っている
歴史と学習を結びつける。

自然：住みやすい所にする。
環境を守る。

☆主張に対して、自分達でできることは何だろう？まず、自分達として何から始めよう、何を提案しますか？

- * 身近(家・学校・地域)なところから始められること
- * みんな(私・家庭・地域)で取り組めること
- * アピール性がある(「よし、やろう」と思える、「大切だ」ということが伝わる)こと

〔歴史〕	〔自然〕
・ 実際に訪問する (友達と一緒) ・ そういをする。 ↳ <u>人を集める</u> 知名度を上げる チャンス ・ 歴史コースを知らしめる	・ ロビーがける { クーラー 緑のカーテン ・ せいで活動 ↳ 人とのつながり ・ つる植物の体験談を の配布・広報にのせる (数種類を増やす)

ス
ラ
ン
グ
①

ために~~単独~~の施設、行政と一緒につくる。
☆役割分担をしよう！私達がやることと、行政(市長や市の人等)に対して聞いてみたい、やってもらいたいことについて。

* どんな思いや願いがあって主張を提案するのか再度考えてみてください。愛着のある泊江をこれからも大切にしていくために大事なことを、みんなに必ず伝えなければならぬことを忘れずに書きましょう。

歴史 → (自分)	自然 → (自分)
↓ ・ 泊江市の特徴 ・ 学習のつらさ ・ 欠けるものが 色々ある	↓ ・ クーラーの使用を おしえろ ・ 緑を増やす ・ せいで活動 ・ 緑のカーテン ・ 健康的な (行政)に に に に ・ 常緑樹に ある ・ 先生に ある ・ 人工物を増やさない

看板



提案するマニフェストを作成しよう



前回までに出た意見を参考に、グループの意見をマニフェストとしてまとめます。

→ あなたは、今日から拍江市の大統領です！！

★そこで、考えてみてください。わたし達の「政党」(グループ)のもっともやりたいことって何ですか？

○まずは、わたし達の主張を何にするか決めます。(党としての基本方針になります。1つ～2つ程提案してください。あとでグループの方針として、みんなの意見をまとめます。)

*党として最も伝えたいこと、やりたいこと、やってほしいことを書きましょう。(例)「わたし達○○党は、拍江を良くするために○○をします！」

最も伝えたいこと → 今ある、「拍江らしさ」。(地域の仲が良いなじ)

やりたいこと → 四中単
(四つの学校の交流を作る、
また市内の交流)

市長(えりいん)と相談して決める。
↓
・学校の行事を合同で行う。(ロードレースや球技
・地域の人も見られるようにしたい。(大会
(できれば…))

分野としては→福祉、教育、ゴミ、公営、環境、道路、商店街、高齢者、障がい者、自然、農業等々があります。

☆そのためには、党としてはどんなことを実行しますか？方法(施策)を具体的に考えてみましょう。

桃太郎 班

桃太郎 班

【桃太郎】のマニフェスト(提案) 1/4

中学生…加藤・加内・福水 / サポーター…湯浅・内海

(例)「〇〇施策のために、〇〇をしていきます。」

- ・サッカー部 VS サッカー部で野球をしたいする。
- ・部活ごとの競技を作って しょう宮物リレー。
- ・地域内ゴミ拾い競走。————→順位をつけない。
- ・学校行事を合同で行う。 かせなら、ゴミを多く拾った方が、

四中筆ののために、↑ 勝ちにする。ゴミをすてる人が出てくるかもしれない。かといっていけない方が勝ちになると、ゴミを拾わない人が出てくるから。

☆その理由は何ですか？その原因や課題も考えてみましょう。

自分達で、きかくをする。
 OKをもらって、部活ごとに声をかけたり、生徒会新聞、生徒朝礼などで呼びかける。色々な人を誘い込む。

☆主張に対して、自分達でできることは何だろう？まず、自分達として何から始めよう、何を提案しますか？

(例)「〇〇施策のために、〇〇をしています。」

- ・市内の学校で呼びかけをし、ボランティアでごみ拾い活動はきをする。
- ・四中学でごみ拾い競争をする。

↓

順位付けを(ない)。

- ・花火大会の次の日にごみ拾いをする。

☆その理由は何ですか？その原因や課題も考えてみましょう。

ごみ拾いをしていく中で 猪江市がきれいな町だと思われたいから、

原因：ポイ捨てをする人がいからごみがでいる。

課題：ポイ捨てをする人がいから拾ってもごみがでるので、
おりにかんは人かなにかで注意ね。

☆主張に対して、自分達でできることは何だろう？まず、自分達として何から始めよう、何を提案しますか？

* 身近(家・学校・地域)なところから始められること

* みんな(私・家庭・地域)で取り組めること

* アピール性がある(「よし、やろう」と思える、「大切だ」ということが伝わる)こと

友達、身内を誘い積極的に参加する。(できること)
校長や学年の先生に頼み放送や朝会でごみ拾いのポ
ンデーションのことも知らせる(始めること)

☆役割分担をしよう！私達がやることと、行政(市長や市の人等)に対して聞
いてみたい、やってもらいたいことについて。

* どんな思いや願いがあって主張を提案するのか再度考えてみてください。愛着のある柏江を
これからも大切にしていきたいために大事なことを、みんなに必ず伝えなければならないことを忘れ
ずに書きましょう。

自分達

- ごみ拾いをする。
- 公園に花や木を植えて育てる。
- ごみを少なくする。
-

行政

- 福祉施設を増やしていく。
- 花火大会を続けていく。
- 歩道の自転車車を撤去
していく。
- 路灯を増やして明るくする。

第6回青少年会議について

○ 日時：平成 23 年 2 月 19 日（土）午後 1 時～5 時

○ 場所：市役所特別会議室

○ 主な会議内容

◇アイスブレイクとして、「フルーツバスケット（椅子取りゲーム）」を行う。

◇ワークショップ

・ 前回は、「自分たちの粕江に対しての要望」と「中学生の自分たちができること」について、『私たちが粕江市の大統領になったら』をテーマに、政党（ニグループ）としての基本方針（マニフェスト）を作成し発表した。今回は、前回作成した他グループのマニフェストに対して、質問を考えてくることを宿題としたので、まず第一に質問の内容確認を行う。

・ 第二に、質問の回答も踏まえグループの意見としてまとめ、マニフェストを完成し、発表できるように文章化する作業に入る。

＊文章化作業については、グループにより進捗状況が異なります。

・ 確認事項として、マニフェスト作成の際には 5W1H を意識し、現状、原因、課題、解決方法を整理して作成することを周知した。

・ グループの名称等にちなんだロゴマークやサインを検討し、マニフェストの清書を行う。

各グループの作業結果は別紙参照。

○宿題なし。ただし、報告会時に流す BGM について希望する曲があれば、音源を次回リハーサル時に持参すること。

B級グルメ通り

《場所》

交通規制①→大江通りを使う
 X→中学前はグランド!

《いつ》年1回(秋)

《理由》1回成功するとドーニングになります。
 →企業を呼び寄せやすくなる。

利益の〇%を市に寄付するため。

成功したら借金返済もできる。

《人》対象: 市外の人達
 やり: 市民、市 → 企業

《どのように》→ 団体(杯入は) → PTA、部活、保護者

▲ 市民から公募で創作料理を集める。

▲ 出展代を取り、35~40の店を出す。

▲ 投票

▲ 賞をつくる(市長カップ等)

▲ 優勝チームへの優遇(料理を市がサポートして売れるように。)

【シャイニングスター】のマニフェスト(最終段階)

中学生…川崎・西山・石原・高田 / サポーター…佐々木・高田・内田

主張 自然を守りたい(増やしたい)

理由 自然が"多い"ことは狛江の良いところ
だから。

お願い

- ・外路地に木や花を植えてほしい
- ・多摩川のサイクリング"ロード"に桜の木
などを植えてほしい
- ・狛江通りなどにも自然を
- ・多摩川の清掃

できること・多摩川清掃のボランティア



- ・ゴミを捨てないという自覚を
持ってもらう。
- ・狛江市の現状を知ってもらう。

主張 公園を活性化させたい

理由 ・きたない
 ・遊べる場所を確保したい
 ・お年寄りにも来てもらいたい

↓
 交流

→ 事故防止 (例 狛江市役所の...)

お願い ・公園に種類をつける (例 野球ができる公園 など)
 ・管理体制を整える
 ・トイレをきれいにする → 照明をつける
 ・公園に名前をつける

できること ・チラシの印刷
 ・掃除... 多摩川清掃と一緒に
 ・チラシ作り

↓
 ・公園のマップ
 ・名前がない公園があることを知ってもらう

↓
 名前をつけてもらう

主張	柏江の歴史で知名度 UP
理由	知名度が低い、イメージが悪い
要望	土器をっくる、展示する、 歴史（スタンラリー＆ツアー）
自分達で 出来ること	和泉式土器の PR コース決め 例）古墳 遺跡 記念碑 土器などを試しに 作ってみる。

現状	住みにくい	
原因	夏暑い	タバコ
課題	緑を増やす クーラーをひかえる	分火煙歩きタバコ
解決 自分で)	水まき クーラーを ひかえる 緑のカーテンの普及を手伝う (クチコミ等)	マナーを守る
解決 たのむこと)	芝生化(公共施設が) つる植物を用意に 余計な人工物を作らず 今ある物を緑化する	歩きタバコの 取締り 公共の灰皿の設置



【桃太郎】のキャラクター

粕江の良さを残す

現状⇒ 粕江の良さを知る人が少ない。

原因⇒ 地域全体のPR活動が少ない

課題⇒ 地域全体の協力を得られるか

解決⇒ 自然→ ゴミ拾い競争などの活動で自然を残す。
地域の人が優しい→ 粕江のイベントなどで交流し、仲良くしていく。

枝豆→ 授業で作る . 1・2年であさがあ
3～6年で枝豆
・給食で食べる
・家庭科で枝豆アイスを作り
食べる。

【桃太郎】のマニフェスト（最終段階） 1/3

中学生…加藤・加内・福水 / サポーター…湯浅・内海

四中戦

現状⇒提案されてはいるが、実行されていない。

原因⇒市ができていない。(手が回らない)

課題⇒実行する人がいない。

解決⇒各中学が企画実行。
最初は行政に協力して始める

内容⇒スポーツ大会

【桃太郎】のマニフェスト（最終段階） 2/3

地域でのイベント

現状⇒活動はしているが、活動自体を知らない人がいる。

原因⇒市全体が参加していない。

課題⇒市全体で実行する。

解決⇒お祭り→枝豆祭り→枝豆を使った料理などを出す。

ゴミ拾い→ポイント化
↓
商品券に変える。

学校行事を合同→展覧会も合同にし、スタンプラリーについて、文化めぐり。

花火大会→花火のデザイン案を応募してもらう。
オリジナル花火を作ってもらう
(採用されるかどうかは、別)

【桃太郎】のマニフェスト（最終段階） 3/3

青少年会議報告会 ―平成23年3月19日(土)―

○井上課長 報告会に先立ちまして、狛江市青少年会問題協議会の会長でもあります狛江市市長より挨拶をいただきたいと思います。

市長、よろしくお願いいたします。

○市長 皆さんこんにちは。青少年会議によろこそおいでをいただきました。ご承知のように、今、東北地方で大震災が起こっており、被災地への配慮とか、あるいは節電への協力ということで、狛江市でも色々なイベントについては自粛等をお願いしたりしております。

しかし、この青少年会議は、やはりこの時期でもやっていこうと、それだけの価値がある、そのように判断して本日開催をさせていただいております。それだけに、この集いが皆、力を合わせて、大きく成功していくことを心から願っております。

青少年会議は、狛江市青少年問題協議会と狛江市が共催をして、平成20年に第1回を開催し、大変好評をいただきました。そして、このときに、年に1回は厳しいけれども1年おきには開いていこうと、このようになって、今日の2回目の開催となりました。



中学生の皆さんが自分たちでまとめた声を広く市民に発信していく大変貴重な機会になっていると思います。今回は、去年の8月から青少年会議が始まって色々な議論を積み重ねてこられました。行政への要望だけでなく、自分たちでできることは何かも考えていこうということで、今回はマニフェストの形で発表していただくというふうに伺いました。

ここに至るまでにいろんな議論があったと思いますけれども、それらを通じて、狛江の街をよく知っていただけるようになったと思いますし、それが今日の発表にどう反映されているのか、私自身も大変楽しみにいたしております。

中学生という年ごろは、好奇心や正義感が旺盛になり、社会への関心もどんどん育っていく年代です。こうした中で、中学生同士が議論を交わしたり、あるいはサポーターをしていただいている大人の方、先輩の方たちと意見交換をしていく中で、中学生の皆さんもきっと何か新しい発見があったと思いますし、手を携えて、一つのものをつくり上げていく、そんな喜びも感じていただけたのではないかと思います。

私どもからしますと、これらを通じて、狛江の街への関心、愛着というものが中学生の皆さんにどんどん広がっていくことを心から期待をいたしております。

本日ご来場いただいた皆様にも、お忙しい中、本当にありがとうございます。これから中学生が発表する内容を聞き取っていただきながら、狛江の未来を担っていく中学生の持つ秘めた豊かな可能性というものをこの場で感じ取っていただけたらと思います。

本日の青少年会議開催に当たりまして、保護者の皆様、学校の関係者の方々、そしてサポートして下さった皆さん方に心から感謝を申し上げまして、一言挨拶とさせていただきます。

きます。

本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。（拍手）

○井上課長 ありがとうございました。

それでは、私から青少年会議の概要について、簡単にご説明いたします。

狛江市青少年会議は、狛江市次世代育成支援行動計画に基づきまして、狛江市と狛江市青少年問題協議会の共催で行い、狛江市の様々な課題に対して青少年の視点から幅広い意見を発表する場を設け、子ども自身が能力を発揮し、青少年の主体的な活動を促進する目的で、平成20年より隔年で開催をしております。

会議は、市内の中学生1、2年生13名と大学生を含むサポーター11名、合計24名で構成され、去年の8月より今年の2月まで会議を開催しております。中学生が、中学生自身の言葉で、会議で話し合ったことの報告、そして未来の中学生に向けた街づくりの提案をするため、ワークショップやブレインストーミング等を取り入れながら、活発に議論を重ねてきました。

青少年会議の目標は、①青少年の社会参加意識を向上し、主体的な活動を促進する。②異年齢の人と交流し、青少年の見地を広げ、豊かな心を育成する。③会議の報告を作成し、中学生が市長へ報告する。以上の3つになります。この目標を主眼に置きまして、中学生とサポーターで構成されるグループごとに「私たちは狛江市の大統領」をテーマに、マニフェストを発表いたします。

なお、皆様には後ほど、一番共感できると感じたグループに投票をお願いしたいと思います。お手元のほうに投票用紙が配られていると思います。

また、本日は、狛江市に対する要望のみならず、中学生ができることを含めまして発表いたします。子ども自身が持つ生きる力、育つ力を最大限に引き出しまして、地域社会一員として認め、子どもたちの社会参加を促進するためにも、ぜひお聞きくださるようお願いいたします。

それでは、ただいまより司会進行をこの会議のファシリテーターである谷田部さん（リーダー）、大場さん（サブリーダー）の2人に引き継ぎしたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

○サブリーダー 皆さん、こんにちは。

今回、青少年会議でファシリテーターという形でやらせていただくことになりました大場です。よろしくお願いいたします。（拍手）

○リーダー 同じくファシリテーターとしてこちらの会議をさせていただきました谷田部と申します。よろしくお願いいたします。（拍手）

○サブリーダー 我々は、前回、一昨年やった青少年会議第1回目のところではサポーターという形で参加させていただきました。ただ、今回、ファシリテーターをやるに当たっては、ちょっと1人でやるには負担が重いのだろうということで、2人で進めていくという形を今回はとらせていただきました。

先ほど、市長、または井上課長のほうからご説明がありましたけれども、この青少年会

議は、8月から、リハーサル等、本番も含めて計8回の会議を開催しております。その中で最初はどんな大人になりたいかというところから簡単にワークショップを始めまして、最終的には、今日中学生が4つのグループに分かれて発表してくれるんですけども、そのマニフェストという形で皆さんにお知らせをするというものになります。

○リーダー こちらに、今回ファシリテーターとして大場と谷田部、2人とも、成人式実行委員から様々な形で、粕江の社会的なイベント、そういったものに参加させていただいております。



今回、大学生のサポーターになってくれた人も、数年前は成人式実行委員として頑張ってくれた人たちです。こういった年齢のつながりという面でも、今回の会議は非常に役立っています。実は一昨年の中学生だったメンバーも、何人が今日も来ておりますし、サポーターとして、大学生ではないんですが、高校生の身で手伝ってくれております。

そういった面でも、今回のこの中学生の発表、先ほど課長もおっしゃいましたが、青少年の主体的な活動を促進することや、異年齢との交流という面、非常にこれは役立っていると思いますので、中学生の意見だと、そういった考えでは聞かずに真剣に聞いていただいて、様々な面でこういった意見を活かしていただきたいと思います。と思っています。

それでは、最初の班ですね。もう準備は大丈夫ですか。緊張していないですか、しているかな、表情がかたいのでリラックスして、いつもどおりに発表してください。

では、お願いします。

○サブリーダー 最初のチームは、ブルービーンズになります。ブルービーンズの皆さん、よろしくお願いします。（拍手）

○ブルービーンズ 自己紹介からさせていただきます。サポーターの小笠原と申します。よろしくお願いします。（拍手）

○ブルービーンズ 三中1年の石賀です。よろしくお願いします。（拍手）

○ブルービーンズ 二中2年の清水です。よろしくお願いします。（拍手）

○ブルービーンズ 一中1年の井上です。よろしくお願いします。（拍手）

○ブルービーンズ サポーター兼OBの杉本です。よろしくお願いします。（拍手）

○ブルービーンズ サポーターの根本です。よろしくお願いします。（拍手）

気をつけ、礼。

では、まず中学生がお話をする前に、サポーターから、ブルービーンズというチーム名の由来と、中学生がどの点に重点を置いて、この会議を進めてきたかお話しします。

まず、ブルービーンズという名前の由来ですが、まさしく青い豆という意味で、この青少年会議の「青」をいただきまして、そして「豆」は粕江の名産である枝豆からいただきました。僕たちはまだまだ「青い豆」という意味で、これから成長可能性のある粕江と中学生がともに成長していきたいという強いメッセージ性がこのチームには込められてい

ます。

そして、ブルービーンズは狛江市の良さに着目し、これから狛江市がもっと住みやすくなるように、そして皆がもっと住みたいと思ってもらえる街にどうすればしていけるのかというのを話し合ってきました。

それでは、中学生の生の声をお聞きください。
○ブルービーンズ これからブルービーンズの発表を始めます。



私たちは、自分たちの狛江の良いところを伸ばせるような案を考えました。その結果、今の「狛江をより住みやすい狛江に」、また「住みたいと思う街」にするために2つの案を出しました。

まず、1つ目の主張、「自然を守りたい（増やしたい）」です。最初は自然を増やしたいということがメインでしたが、まずは今の狛江にある自然を守ることができなければ、自然を増やしても、また少なくなってしまうと考えました。なので、今の自然を守るということをメインに、そしてできる範囲で自然を増やすことに主張を決定しました。

この主張の設定理由は、やはり全国の中で小さい狛江の良いところと言えば、東京23区、都心に近くて自然が多いと思ったからです。

○ブルービーンズ まず、「自然を守りたい（増やしたい）」というテーマで、市にやってもらいたいことを発表します。

外路地に木や花を植えてほしい、多摩川のサイクリングロードに桜の木などを植えてほしい、狛江通りもサイクリングロードと同じように植物を植えてほしい、多摩川の清掃についての4点です。

1つ目の外路地に木や花を植えてほしいという要望です。

これには狛江市の自然が増えるという利点があります。そのように狛江市の自然が増えることで、きれいなところを歩く人が増えます。そして、人が多くなるので、不審者が減ると思います。そうしたことで、狛江市は安全になり一石二鳥と言えるでしょう。

2つ目の多摩川のサイクリングロードに桜の木などを植えてほしいという要望です。

サイクリングは、今、流行っていると思います。そして、多摩川のサイクリングロードをランニングしている人も多いです。桜の木というのは一例ですが、案としてロードに、春ゾーン、夏ゾーン、秋ゾーン、冬ゾーンを設け、これを順番に繰り返し植えていきます。春ゾーンには桜などの春に咲く植物、夏にはひまわり、秋にはもみじなどのそれぞれの季節に咲く植物を植えると四季も感じられて楽しいと思います。

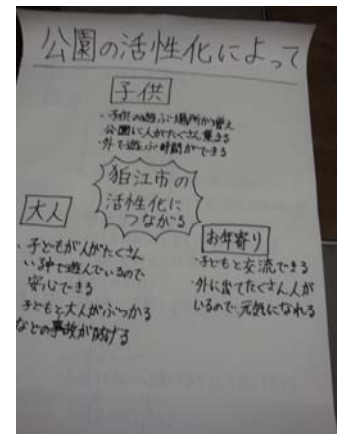
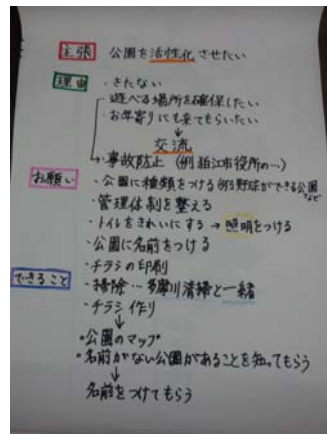
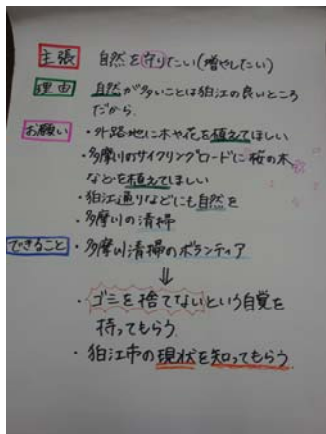


狛江通りも、サイクリングロードと同じように、植物を植えてほしいという要望ですが、狛江通りは、サイクリングロードとは違い、ほかの地域の人にもたくさん通ります。口コミで「狛江はきれいだよ」と広まり、狛江の知名度もアップすると思います。

最後の多摩川の清掃についてです。多摩川の清掃を行うことできれいな街になります。きれいだと、住人も増えて街の活性化にもつながるかもしれません。

次に、私たちにできることです。

私たちにできることは、多摩川清掃のボランティアです。多摩川清掃のボランティアをすることで、狛江市の現状を知ってもらう良い機会になります。自分の住んでいる街を知ることが大事だし、意外と多摩川にゴミが多いことを知れば、それを意識することで、バーベキューをした後に、ゴミを捨てていく人が少なくなるかもしれません。



[ブルービーンズのマニフェスト]

○ブルービーンズ 次に、2つ目の主張は今の公園を活性化させたいです。

設定理由は主に3つあります。まず、1つ目の理由は、今、狛江にある公園は、汚い、また整備などがなっていない、公園があってもあまり人が来ないからです。

次に、2つ目の理由は、自分たちの遊べる場所を確保したいということです。これだけを聞くと、大人の人たちは、自分たちには何の得もないじゃないかと思いますよね。でも、公園を活性化させれば、道路で遊んでいる、例えば子どもときの事故も少なくなります。身近な例で言うと、狛江市役所前の広場や周りで遊んでいる人もいます。その人たちも、公園を活性化させることによって、その公園に行き、市役所の大人の人たちにも迷惑がからなくなるかもしれません。

自分もよく市役所で遊んでいました。また、自分もよく家の外でサッカーをしていたら、

ボールを道路のほうに蹴ってしまって、取りに行くとき車にひかれそうになったことがありました。このようなことは、公園を活性化させれば未然に防げるかもしれません。

最後に、3つ目の理由は、活性化した公園が子どもとお年寄りなどの幅広い年代の人との交流の場になることです。これによって地域が明るくなります。

○ブルービーンズ 次に、お願いします。

まず初めに、公園に種類をつける。これは、例えば野球ができる公園や、犬などのペットが安心して遊べる公園などの種類をつけるということです。また、何曜日にこれ専用の日など決めてもいいという案が出ました。

管理体制を整える、暗いと汚いイメージがあるトイレをきれいにするために、照明をつける。これは、暗いと皆が汚くしてしまうので、照明をつけてきれいに見せて汚くする人が減ると考えました。

次に、公園に名前をつける。これは、名前がなく、何と呼べば良いのかわからない公園がたくさんあります。だから、名前をつけて愛着がわき、利用する人が増えると考えました。あと、チラシの印刷もお願いします。

次に、自分たちができることです。まず、公園の掃除、さっき話した多摩川清掃と一緒にして人を集め、各公園に分かれて掃除をする。チラシづくり、この冊子の中にある見本のように狛江市の公園マップをつくる。狛江市の地図の中で名前がない公園に印をつけ、名前がない公園があることを知ってもらう、名前の募集をしていることを書く、何日まで募集しているか、また応募方法も書く。

応募方法、名前がない各公園の入り口に箱と紙を置き、その場で気軽に書けるようにするという案が出ました。

これで、ブルービーンズの発表を終わります。気をつけ、礼。(拍手)

○リーダー それでは、発表を受けまして、色々と皆さん、聞きたいことが、たくさんこののど元まで出かかっていると思うので、質問の時間をとりたいと思います。まだマイクが1つしかないの、最初に質問をとりたいと思うんですが、質問のある方は挙手をしてください。

○サブリーダー はい、どうぞ。

○リーダー ちょっと聞きたいことがあります。だれか教えてください。

できることで多摩川清掃のボランティア、ゴミを捨てないという自覚を持ってもらうということがあるんですが、多摩川清掃のボランティアというのは、中学生がやってくれる



んでしょうか、僕が中学生だったころは多分サボると思うんですが、協力してもらえませんか、どなたか教えてください。

○ブルービーンズ 私たち中学生は、サポーターの谷田部さんの時代と違い、皆協力してくれると思いました。

○リーダー 非常に手痛い返しを受けてしまいましたが、このような質問で結構なので、何か疑問点や、あとはどうしてこういう意見になったのかということでも結構です。何か聞きたいことがありましたら、ぜひ挙手して質問をお願いします。

はい、お願いします。

○来場者 多摩川清掃とか公園を自分たちでやる、すごく良いことだと思うんですけども、そう言っている、アドバルーンを上げるだけでは、結局だれもやらないから、そういうことをやり出す仕組みづくりというのは、どういうふうにやろうと考えたんですか。質問の意味がわからないかな。



だれかが組織して、学校でそういう議論してグループをつくるとか、市のほうにお願いして、そういう運営委員会をつくってもらうとか、自分たちでやるというところに、そういうのを挙がっていたから、「やるやる」と言ったって、なかなか仲間を連れて、1人、2人でやったって難しいし、長続きしないと思うんですけども、そういうところの継続への取り組みというのは考えましたか。

○ブルービーンズ 今は、多摩川の清掃は、学校の中で、こういうことをやっていますということで、ボランティアを集めたりしているんですけど、それで結構集まっているので、そういう方向で集めていきたいと思います。

○リーダー ありがとうございます。

ほかにございますか。お願いします。

○来場者 今の質問にちょっと関係するんですけども、今のお話を聞きまして、その継続性ということなんですけれども、まず例えば桜の木を植える、じゃあこの手入れはだれがするのかとか、あと粕江通りも自然をとこの草木の手入れですか、それは今後どういう形でやっていくのか、ただの多摩川清掃だけでしたら、多分、年に、一、二回とか集まって、ゴミ拾いとかはできると思うんですけども、長期的な展望とか考え方はどうなっているのかというのを聞きたい。

あと、さっきもう一つ、公園のほうもありますよね。トイレの清掃等ありますけれども、トイレというのは使えば汚れるものですから、これを1年に、一、二回しているようでは全然追いつかないと思うんです。その辺も、例えば中学生のほうでボランティア部みたいなものをつくって、例えば何日に一回、当番とか、そういった形でやっていくとか、そういったところまで考えているのか、ちょっとその辺を聞きたいと思います。

○サプリーダー 考えている範囲で良いので答えてみましょうか。

○ブルービーンズ 多摩川のサイクリングロードに桜の木などを植えてほしいという要望は、これは、私たちではなかなかやっていくのは難しいと思うので、これは市にやってもらいたいことをお願いとしてここにも書かせていただいて、さっきも発表したんですけど、だからサイクリングロードに桜の木などを植えてほしいという要望は、狛江市にできればやっていただきたいと思います。

○来場者 大人が悪いことを皆さん見ているからあまり言えないんですが、マニフェストということは守るということですよ。多摩川清掃と、先ほど自分たちでやろうと言ったことは、だれがフォローするんですか。言いつ放しだと一般の悪い大人と一緒にじゃないですか。

だから、1年経ったら非常にきれいになっていたとか、2年経ったらもっときれいになっていたとかいうことならマニフェストを守ったことになるんだけど、「やります、やります」とさっきから出ていますけど、具体的に、じゃ毎月第3日曜日はやろうとか、決めていてそれをフォローしていくというのならわかるんだけど、それをどうお考えか、ちょっと聞きたいんです。

○ブルービーンズ その意見に対してなんですけど、今は案として出していて、まだ話す時間も少なく、そこまでのしっかりとした話は出ていないので、今は、やりますというか、案を出しているところです。

○サプリーダー 少し補足させていただきますと、今回このマニフェストという形をあくまでもとっているんですけども、本当にマニフェストという形の意味ではないということ、少しご了承いただきたいかなと思います。そこはちょっと言葉が足りず申し訳ないんですけども、あくまでも今回の場合には、中学生がこうしたら良いんじゃないかというところで、まずできること、それから自分たちではどうしても無理なので、市にお願いしたりですとか、ほかの人の方の力をかりてやっていただきたいこと、そういう形で分けて発表させていただいております。

なので、完全にマニフェストかと言われるれば、そうではないというお答えになってしまうんですね。なので、中学生としてこういう考えを持っていて、狛江をこういうふうによくしていきたいというところを汲み取っていただければ良いのかなと思うんですが、よろしいですか。

○来場者 悪い大人を見習われたら困るんだけど、だれもチェックしていないというところに問題があるわけですよ。「やります、やります」というのはだれでも言えるんですよ。じゃ、1年のうちに、例えば今日写真を撮っておいて、来年の今日また写真を撮ったらものすごくきれいになっていたとか何とか、そういうことをフォローしていかないと、言いつ放しになってしまうということを心配しているわけです。それだったら悪い大人と一緒にだなということなんです。

以上です。

○サプリーダー 同じようなことなんですけど、できることとして今回挙げておりまして、今後、市との協議の中で、今回こうやって意見を出したものの戻しというのも今年はある

ようですので、その中で最終的にはこういうことをやっていくというのを具体的に出せればと思っております。

現段階で、中学生の中では、こういうことをやりたい、ただ参加しているメンバーも、このチームだけでも3人だけですので、もっと粕江全体をいけば、数百人になる中学生をまとめてできるかどうかとなると、もう少し議論が必要になってしまいますので、そこは重ねて申し訳ないんですが、マニフェストという名前をとっておりますが、若干現実のマニフェストというものには足りないものになっておりますが、あくまで意見として、意見の強いマニフェストとして感じていただければと思います。

○リーダー では、すみません。そろそろこのチームの割り振りの時間もなくなっていましたので、ブルービーンズの発表については、これで終わらせていただきたいと思います。ありがとうございます。

○サブリーダー ありがとうございます。（拍手）

○リーダー 準備をいたしますので少々お待ちください。

では、次のチームの発表は、桃太郎チームからの発表になります。今後は同じような形式で、発表した後、また質疑応答という形をとらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

では、桃太郎チームの皆さん、お願いします。

○桃太郎 では、これから桃太郎班の発表を始めます。気をつけ、礼。（拍手）

自己紹介をさせていただきます。サポーターの湯浅です。よろしくお願いいたします。（拍手）

○桃太郎 粕江第三中学校2年、福水です。よろしくお願いいたします。（拍手）

○桃太郎 粕江第二中学校2年、加内です。よろしくお願いいたします。（拍手）

○桃太郎 粕江第一中学校の加藤です。よろしくお願いいたします。（拍手）

○桃太郎 サポーター兼前回のOGです。石賀です。よろしくお願いいたします。（拍手）

○桃太郎 サポーターの内海です。よろしくお願いいたします。（拍手）

○桃太郎 サポーターのほうから少しご説明させていただきます。

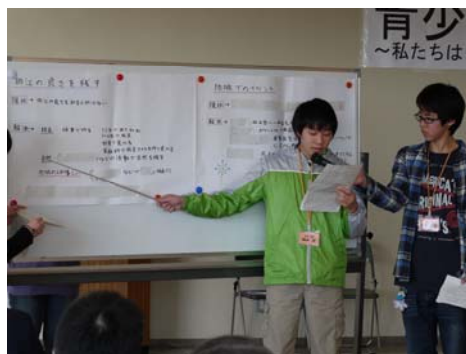
私たちは、粕江市を日本一にするという思いで行動してまいりました。この桃太郎という名前の由来は、この日本一というところからとりました。そして、こちらにありますキャラクターをご覧になっていただきたいと思いますけれども、葉っぱの部分をご注目ください。何と粕江市の名産である枝豆を使っております。このキャラクター名を「モモエタロウ」と名付けました。ぜひ携帯の待ち受けなどにいただければと思います。

それでは、粕江市を日本一にするという熱い思いを3名の中学生に発表していただきたいと思います。



それでは、よろしくお願いします。

○桃太郎 私たちの考える現状は、粕江の良さを
知る人が少ないと考えています。そこで、粕江市
の良さを粕江市民が知る必要があると思いますが、
ここでは粕江市の良さは何であるかを考えてみた
いと思います。



私たちが考えたことは3つあります。1つ目は、
粕江の名産である枝豆を使うことができないかと
いうことです。私たちが考えた例としては、枝豆を授業でつくり、1、2年生が朝顔の栽
培を体験するのと同じ感じで、3年生から6年生で枝豆を栽培します。成長してできた枝
豆を給食の特別メニューとして提供してもらいたいと思います。さらに、給食で食べるだ
けでなく、家庭科の授業で枝豆アイスをつくる体験もできたら、より粕江市の良さを知る
ことができるのではないかと思います。

現在、枝豆アイスというものは売っておりますが、そこを敢えて自分たちでつくること
によって、新たな食感や味などをつくり出すこともできるのではないかと思います。

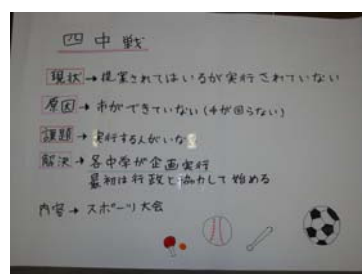
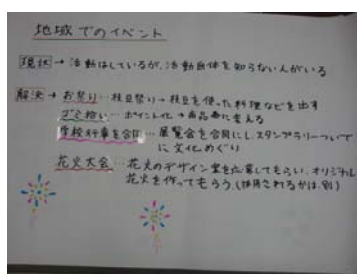
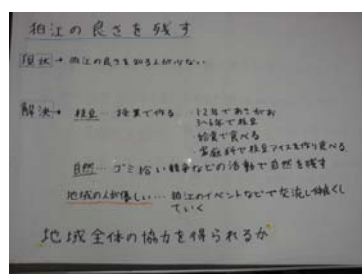
2つ目は、粕江の自然です。粕江の自然をこれからも残したいという思いから、ゴミ拾
い競争などの活動をすることによって、少しでも粕江の自然を残すことに貢献できるの
ではないかということです。

3つ目は、地域の人が優しいことです。先ほど述べましたゴミ拾い競争のイベントなど
で交流することで、今まで知り合うことがなかった粕江市の人々と仲良くなることができ
るのではないかということです。

しかし、課題が1つあります。それは地域全体の協力を得られるかということです。そ
こで、地域全体の協力を得るために、どんなことができるのかを考えてみました。

○桃太郎 次に、地域のイベントについて発表します。

私たちは、地域のイベントを行うことで、粕江を知ることができるのではないかと思い、
地域のイベントの具体案について考えてみました。現状としては、様々な活動は粕江の中
で行われているけれども、その活動自体を知らない人がいるということです。例えば、地
域センターまつり、地域の広報活動がどれだけ知られているのかはどうでしょうか、知ら
ない人も多いのではないのでしょうか。



〔桃太郎のマニフェスト〕

そこで、私たちは狛江の中で行われている活動を知ってもらうための案を考えてみました。それが、お祭り、ゴミ拾い、学校行事、花火大会の4つです。

1つ目の枝豆は、枝豆を使って、枝豆祭りを開催できないかと考えています。そこでは様々な枝豆を使った料理を出すことができれば良いと考えています。具体的には、枝豆クッキーや枝豆ハンバーグなどの料理を考えています。

2つ目は、先ほどのゴミ拾いについてですが、ただのゴミ拾いだとやらない人も出てくるので、そこで私たちが考えたのは商品券がゲットできるゴミ拾い大会です。例えば拾ってきたゴミの量により1ポイントをつけていきます。そして、どんどんゴミを拾っていくことでポイントが増えていき、それがある程度のポイントまでたまったら時点で商品券などに替えられるようにしたいと考えています。

3つ目は学校行事についてです。学校行事を合同でできないかと考えています。学校によっては、学習発表会、作品展などと呼び名が違いますが、これを展覧会と称してやりたいと考えています。さらに、展覧会だけを開催するのではなく、狛江市にある古墳や万葉歌碑などの史跡めぐりなども兼ねたスタンプラリーも行いたいと思います。

そうすれば、狛江市の小中学校をすべて巡ろうという気持ちになって、すべての展覧会に参加していただきながらも、狛江市の文化巡りもできるという、つまり展覧会を見に行くことで、狛江市を知ることができると考えています。

4つ目は花火大会です。花火のデザイン案を募集して、オリジナルの花火をつくってもらえたならと考えています。



○桃太郎 最後は、生徒が中心となって活動する四中戦です。この四中戦は、案としては出されていますが、まだ実行されていません。サポーターの湯浅さんが中学生のころから提案されていました。しかし、いまだ実行に至らず、平成20年度の会議でも提案されました。原因は市の手が回っていないからだと考え、今後の課題は実行する人を出すことです。

解決方法は、各中学で企画実行し、最初は行政と協力して始めていきます。中心となって活動していくのは、私たち青少年会議のメンバーと各中学校の中央委員会の皆さんで連帯してやっていきたいと思っています。

四中戦をすることによって、4つの中学の交流を深めていくことを目的としています。また、地域の人が見られるものにすれば、地域内の交流も増えていくと考えます。



内容はスポーツ大会です。具体案としては、部活対抗障害物リレーやサッカー部VSサッカー部で野球、借り物リレーなどの単純でだれでもできる競技で、いつもやっていない

ことにしようと考えました。

これで、桃太郎班の発表を終わります。気をつけ、礼。（拍手）

○リーダー ありがとうございました。

四中戦は個人的にはやりたいですね。自分が中学生のときは、連合水泳大会などがまだあったので、四中学が合同でやるスポーツ大会は現にありました。代表に選ばれると女の子にもてるので、小林淳史君、どこにいるっけ、もてるよね、代表になると。そういうのがあったので、冗談は抜きにしても中学校の交流の面では、こういった面もぜひやってもらいたいと思います。

では、また何か質問を受けたいと思いますが、どうでしょうか、何か質問はございますか、簡単なことでも難しいことでも、答えられる範囲でしたらお答えいたしますが、お願いいたします。

○来場者 またちょっと厳しいことを言うようになるかもしれないんですけども、狛江の良さを残すほうの解決の、枝豆を授業でつくるところなんですけれども、これは1年から6年ということで、小学生を対象ということですよ。これに対しては、小学校に対してのアプローチとかシミュレーションとかはある程度できているんでしょうか。やっぱり授業数も少ないような中でというのもあるので、その辺のことも考えて、このアイデアを出しているのかということ。

あと、自然のところでゴミ拾い競争というのがあるんですけども、正直に申しまして、ゴミ拾い競争というよりも、まずゴミを捨てないということを先に、逆に中学校のほうで徹底していただきたいなと個人的には思います。

申し訳ないんですけども、私の家の周りあたり、部活の帰りの中学生が平気でゴミを捨てていくのが現状なんです。気がついたときには注意しているんですけども、やっぱりなかなか注意できなかったり、離れていると声もかけられなかったりというのがあるんですけども、まず自分たちができるところというのをどの程度まで把握されているのかなというのでも聞きたいと思います。

それと、やはりゴミ拾いに対してポイント化というのは、逆に言うと、私としては全く考えられない。ポイントを与えなければ、ゴミを拾わないんじゃないなくて、ゴミを拾うのは、やっぱり当たり前のことだと思いますし、その前にゴミを捨てないのが当たり前のことだと思います。その辺のことをちょっとお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。



○桃太郎 とても良いご質問ありがとうございます。全くもって言うことはありません。ありがとうございました。

○リーダー 何か補足はありますか。

○桃太郎 ありがとうございます。補足といいますか、例えば最初にありました枝豆を授業でということなんですけれども、実際、授業でやっている学校はございます。ただ、そ

れがまだ全校というわけではないので、そういういろんな活動をするのには中学校よりも小学生が良いのではないかと中学生の中で考えまして、小学生に、やっぱり小さいうちから粕江のことをやってほしいなということで、今回は小学生に限定をいたしました。その枝豆を栽培ということでは、やっている学校がありますので、そちらのほうを伺いながらとか、あとは地域性もありますので、畑が学校から近いとか、色々なのがありますが、それは今後の課題にしておきます。

あと、ご指摘のように、ゴミなんですけれども、捨てないことがもちろんなんですが、実際私たちが班の活動をしていますときに、わざと家のゴミを持ってきて、ゴミを増やしているのではないとか色々出たんですね、ポイントを稼ぐために、ゴミをわけもなく持ってきたりとか、増やしたりとかしちゃうんじゃないかと思ったんですけども、そういう市民がいないことも期待したいということと、逆にゴミを捨てないことをしようというキャッチフレーズを立てたかったんですけども、それよりは、やっぱり今捨ててあるものを拾っていくことで、捨てなくなるんだらうという、そちらの面から見方を変えていきました。拾うことで捨てない、そういったことで皆に意識してほしいなということを話し合いました、中学生なりに色々意見も出まして、そこを私たちサポーターがフォローして、じゃあ最初はどうしようかということで、ポイントでということも、サポーターというよりは子どもたちの意見でもありましたので、今回はそちらを提案させていただきました。

○桃太郎 私が中学生のときに多摩川清掃をやりまして、本当に多摩川ってたくさんのゴミが、自転車とかも結構捨てられていて、初めて多摩川のゴミを知ったといえますか、どういうものが捨てられているのかということを知ったので、拾う身になってみて、初めてそのゴミを捨てちゃいけないんだなということを経験するということも大事なのかなということを思いまして、ゴミ拾いをするにしても、やっぱり大会というか、ゲーム感覚でやるのも人が集まりやすいのかなという気もしまして、中学生の皆さんの意見も含めまして、そういう形にさせていただきました。



○リーダー ありがとうございます。

ほかにもう一つぐらい質問を受けられるんですが、お願いいたします。

○来場者 なかなか立派な発表、ご苦労さまです。

先ほど、サポーターのほうからもありましたように、ゴミ拾いについてですが、なかなか当たり前のことが当たり前にできないという視点から、ゴミを拾う、競争しようという発想はすごく良いなと思いました。中学生ならではの新しい考え方だとか、競争という面で確かに少しくエスチョンマークのつく部分もありますが、現に今おっしゃったように、多摩川清掃が毎年行われていますが、皆さんの中で、多摩川清掃、行っていることを知っていたという方はいらっしゃいますか。

これだけの方が知っていますので、あとは参加するかどうかだと思います。となると、

中学生、今現段階でも、一中、二中、この中にもいろんな中学校、四中学、狭いならでは、すみません、質問じゃないんですけど、ぜひ今後も頑張ってもらいたいという気持ちで、生徒会というメンバーもあると思います。学校の中心となって動けるメンバーはこの中に多くいると思いますので、いかに市が盛り上げようとしているお祭りだとか多摩川清掃だとかいうものに協力していこうという呼びかけの方法というものも中学生が考えていけると、参加していく人数が増えていくと、それが盛り上がるかな。

私も、去年、一昨年と参加したんですが、ゴミを拾うところは大切だということよりも、一緒に拾うことが単純に楽しかったです。自分できれいにしたところは、ディズニーランドと一緒に、きれいなところは汚くしづらいかなと思いますので、中学生、今後の狛江市を担っていくと思いますので、今できることをぜひ頑張っていっててください。

以上です。

○リーダー ありがとうございました。

せっくなので、もう一つ質問をしていただこうと思うんですが、先ほど手を挙げていただいた……

○来場者 四中戦、スポーツ振興審議会の会議でいつも出てきます。そういうのがあるというので、ぜひ我々も協力したい。それはなぜかといいますと、例えば隣の世田谷区を考えてみましょう。あれだけ広いと、中学でチャンピオンを争うなんていうことは、まず二、三十、中学があるとできないんですよ。そこから比べると、4つでわかりやすい、それで父兄も、要するに自分の子がどこで何をやっているかが非常に見やすいんで、そういうものを応援しようじゃないかというような考え方がスポーツ振興審議会で、結構いい年のおじさん、おばさんたちが出すわけです。ですから、あなた方の考え方を全面的に我々は支援します。

やり方に関しては、そこにNHKの方がいたり、それから世界のスポーツを見てきたりというスタッフがおりますので、相談しながらやりましょう。

それと、狛江は、日本で3番目に小さい市、東京で2番目に人口密度が多い市、東京で一番、古墳の多い市という非常にわかりやすいものがあるんで、そんなものを使いつつ、皆で盛り上がっちゃう。要するに、先ほど代表に選ばれるともてると、大いにたたえてあげたいんですね。我々、そういうものをよく見てきていますから、ぜひ頑張って一緒にやりましょう。スポーツ振興審議会は絶対に応援します。

○リーダー 心強いお言葉、本当にありがとうございます。

では、2チームの発表が終わりましたので、一度ここで10分間の休憩を入れたいと思います。では、一度、休憩とさせていただきます。

○リーダー では、続いて3班目の発表を始めたいと思います。

次は、シャイニングスターの発表になります。では、シャイニングスターの皆さん、よろしくお願いします。

○シャイニングスター まず、自己紹介から始めます。

私、サポーターを務めさせていただきます佐々木と申します。よろしくお願いします。

(拍手)

○シャイニングスター 狛江第一中学校2年の川崎です。よろしくお願いします。(拍手)

○シャイニングスター 狛江第四中学校2年の高田です。よろしくお願いします。(拍手)

○シャイニングスター 狛江第三中学校1年の石原です。よろしくお願いします。(拍手)

○シャイニングスター 狛江第二中学校2年、西山です。よろしくお願いします。(拍手)

○シャイニングスター サポーターの内田と申します。よろしくお願いします。(拍手)

○シャイニングスター サポーターの高田です。

よろしくお願いします。(拍手)

○シャイニングスター まず、簡単な紹介から、すみません、私のほうからさせていただきます。

このシャイニングスターの発表は、今、流行りのB級グルメをやって、狛江で新たに流行らせつつ、かつ狛江の市の財政難を救おうと、丸い柔軟な頭を持った中学生たちが一生懸命考えたものです。狛江市に変革のうずを巻き起こす狛江市新星シャイニングスターの発表をどうぞお聞きください。



○シャイニングスター 現在の狛江市には多額の借金があって、財政難になっています。なので、新しい行政サービスもなかなか始められない現状になっています。これらの課題を解決するには、早く借金を返して、財政を豊かにする必要があります。もちろん、狛江市でも節電や人件費削減などにより節約をしているのですが、割といっぱいいっぱいらしいです。



なので、私たちは、狛江の財政難を救うために、B級グルメ通りを提案します。まず、B級グルメとは、ぜいたくではなく、安価で日常的に食される庶民的な飲食物のことです。

それで、私たちが考えているB級グルメ通りとは、市民を含む団体から公募し、その団体から創作料理を集めて、出店を出して大きな通りにします。それを売って、市民にだけではなくて、通りに来た人たちにも投票してもらって、優秀な団体には狛江市の新たな名物として、市がサポートしながら売り出していく企画です。

○シャイニングスター B級グルメ通りは次のように行っていきます。

まず、市民が入っている団体から公募で創作料理を集めます。次に、その団体一つを、

屋台一つとして出店代を取り、約35から40店もの店を出そうと考えております。そして、団体に、通りに来てもらう人たちに投票してもらいます。その投票によって選ばれた優秀な団体に賞を送ります。その団体の料理を第1回のB級グルメ通りでは難しいかもしれませんが、市がサポートして全国的に売り出せるようにします。

○シャイニングスター このように行くと、次のような問題点が出てきます。



1つ目は場所です。40以上のお店を出そうとすると、相当な場所を必要とします。そして、B級グルメ通りと言っているので、大きくて幅のある大きな通りを必要とします。交通規制を安全にできるのならば狛江通りで行えば良いと思いますが、もしできない場合は、中学校の校庭や市民グラウンドを借りて行えば良いと思います。

2つ目はいつ行かうかです。この企画は、人が多く集まるので、暑い日だともっと暑くなってしまうかもしれません。それに、食品を扱うので、衛生的に安全である秋ごろに行い、1年に一回程度行ったら良いと考えました。

また、参加対象は、狛江市民を含め、団体や市がお店を出店し、市外の人たちにB級グルメ通りに来てもらおうと考えています。

○シャイニングスター 先ほども述べたように、B級グルメ通りを企画し運営すると、次のような効果が得られると私たちは考えました。

まず、1つ目の効果は、この企画が大成功すると、利益が多いと考えられます。それは、市が団体に店出代を払ってもらうようにしたり、利益の何%か納めるように制定すると、市はこの企画に利益を見込むことができます。

2つ目は、1回目のこの企画が成功した場合、企業も目をつけて参加する可能性が大きいです。

3つ目は、B級グルメ通りを見に来る人が市外の人なので、狛江を多くの人に知ってもらえるようになります。この3つの効果により、市は、多額の利益を見込むことができ、企業を誘致しやすくなります。

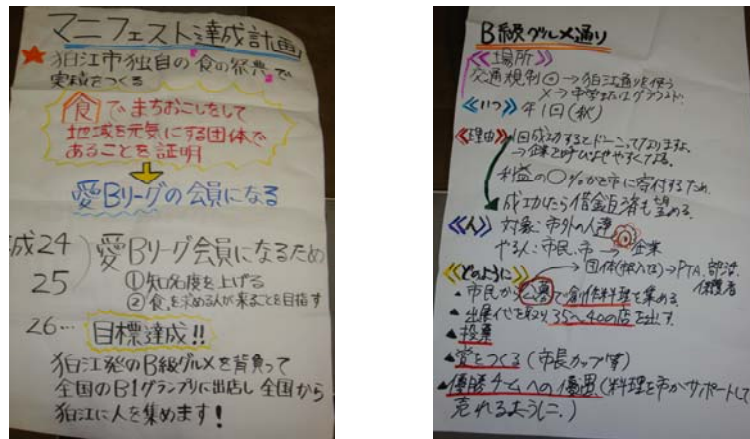
と同時に、狛江市の知名度はぐっと上がり、早期借金返済も臨めるようになるのです。その結果、私たちが提案するB級グルメ通りが実現することで、狛江市は市の財政を大きく向上させることができるようになります。

○シャイニングスター 私たちが考えた出店の誘致先は、まず中学、高等学校のPTAや市役所の各課から1つずつ、中学、高等学校の部活動やおやじの会から、あと狛江市にある飲食店やサッカー、野球チームやサークル、あと市民からの公募などを考えています。

○シャイニングスター 次に、マニフェスト達成計画について説明します。

まず、B級グルメ通りを狛江市独自の食の祭典として、実績をつくります。この実績とは、B級グルメという食で街おこしをし、地域を活性化させることです。狛江市は、街を

元気にする団体であることを実績により証明し、愛Bリーグの正会員になります。愛Bリーグとは、B-1グランプリに出場するために必要な資格のことです。この会員になることが第一目標です。



[シャイニングスターのマニフェスト]

平成23年度からB級グルメ通りを企画し開催した場合、平成24年から平成25年の間にB級グルメ通りをを行っている粕江市は、街を元気にする団体だということを愛Bリーグにアピールします。そうしながら企業を誘致し、メディアを呼び込み、粕江市を都内や関東に広く知れ渡るようにします。この間にどれだけ粕江市の知名度を上げるかが目標達成のネックとなります。

○シャイニングスター その後、平成26年度ごろ愛Bリーグ正会員になり、第一目標が達成した場合、粕江市のB級グルメ通りで優勝した団体の創作料理を粕江発のB級グルメとしてB-1グランプリに出店します。そして、全国に粕江を広めます。

こうして、全国に粕江市を広め、知名度をアップすることができます。と同時に、粕江市に人が集まるようになり、粕江市の財源を安定化させることができます。そして、新しい行政サービスに乗り出すことができるようになります。粕江市をこのようにすることがマニフェストの達成となります。

○シャイニングスター この企画は、長い時間をかけなければ先が見えなく、確実にこうなるとは言い切れません。お金も多くかかると思います。ですが、市は、市民のために、未来の粕江市のために、思い切って投資すべきだと思います。

長い苦しみよりも短い苦しみで済むほうがはるかに楽です。このB級グルメ通りのような利益を見込むことができる企画を粕江市は打ち出して、市民の負担や不満を取り除き、



早く新しい充実した行政サービスを行えるようにしてください。中学生も社会の一員として知恵を絞って市政に参画していきたいと思っています。

○シャイニングスター これでシャイニングスターの発表を終わります。礼。（拍手）

○リーダー シャイニングスター、ありがとうございました。



ちょっと聞きなれない言葉で、B-1グランプリというのは一体何のことでしょう。もしかしたら何人かわからない方が、僕と一緒に何人かいらっしゃるかもしれないので、簡単に説明してもらえますか。

○シャイニングスター B-1グランプリとは、全国のおいしいB級グルメを集めて、1位を争う大会のことらしいです。

○リーダー ありがとうございます。

では、こういったことを聞いた上で、また質問を受けたいと思います。何かご質問のある方は挙手をお願いいたします。

では、お願いいたします。

○来場者 予算のお話でしたので、ちょっと単純な質問なんですけれど、この出店誘致先に考えているのはほとんどボランティア団体ですよね。そうなった場合、そのボランティア団体がお店を出してつくるものというのは、どこから予算を、その団体がお金を出して、料理をつくるんでしょうか。

○シャイニングスター はい、そういうことです。

○来場者 では、そのボランティア団体さんがお金を出して、料理をつくってくれますよね。優勝したところの料理を市がサポートしてつくるということなんですが、そうなった場合は、市が全部出すんでしょうか。

○シャイニングスター その団体がちゃんと全国に広められるように、足りない部分を市がカバーしていくということです。

○来場者 つくるものも材料も、一応足りない部分は市が出すけれども、その団体が全部出すということですか、材料費とか。

○シャイニングスター そうということです。

○来場者 はい、わかりました。ありがとうございました。

○リーダー ありがとうございました。

ほかに質問はございますか。はい、お願いいたします。

○来場者 今、狛江で40周年の実行委員会のほうでこま井というのをつくっているのをご存知ですか。これは、狛江市の野菜を使った狛江の井ぶりということで、今、売り出そうとしているんですけれども、B級グルメに出したいなと思っていますけれども、実際に原材料とか、そういったものを考えると非常に厳しい、売りに出す値段とかも考えると非常に苦しい状態です。厳しいです。そんなに簡単に財政が豊かになるような状況は望めない

ような金額なんですけれども、それでも粕江市の野菜を使った粕江の丼ぶりというのをメインにこちらのほうで考えたりしているんですけれども、B級グルメに出す商品とか何かは、色々な学校からそういったボランティアで出していただいて、いろんな商品が出てくると思いますが、もしそちらのほうでグランプリをとったその商品を販売するとしたら、どういうところで販売するつもりでいるのかな、だれがその責任を持って継続していくのかなと思ったんですけれども、粕江丼ぶりのほうも、一応、こま丼のほうも色々考えて、今、進めているところなんですけれども、どうなんでしょうか。

○リーダー どうでしょう、サポーターからも話していただいて大丈夫ですが。

○シャイニングスター では、すみません。サポーターから、そうですね、またこま丼というのは知っていたんですけれども、そんなにいっぱいいっぱいだったとはちょっとわからなかったんで、



またそれも、例えば売り出すとして、利益が出なくても、副次的な効果として知名度が上がったりとか、ほかのものを、その一品だけじゃなくて、二、三品売り出していけば、薄利多売というわけじゃないですけど、利益は出ると思います。

その売り出していく段階での責任のほうは、また重い責任になってくると思うので、市に協力していただかないと、こちらは何ともできないのではないかなと私は感じております。

○シャイニングスター まず、出店に関わります費用の件、ご質問が出ましたけれども、まず出店をしていただきまして、まずそのお店に利益を上げていただくというのが第一目標です。利益を上げていただくことによって、出店費用、また材料の仕入れ値、その他すべてカバーしていただいた上で、利益を上げていただければ良いなというふうに思っております。また、それがなければ、こういったマニフェストは達成できないというふうに思っております。

次に、来場者から出た質問につきまして、こま丼は、当初、あまりにお値段が張るということで、今回500円でしたでしょうか、新しい金額設定で粕江の野菜を使ってということもありますが、それもB級グルメの候補の一品になろうかと思いますが、まずはこういう子どもたちが考えましたB級グルメ、出店をやってみて、そこでより選ばれました食品、食材、そういったものをぜひ全国区に持っていきたいというのが中学生の考えですので、こま丼を含めまして、またそれに上回るような新しいお料理、粕江に来なければ食べられない、粕江に来るとこれが食べられるというもので、人を呼びたいという子どもたちの願いですので、まず一歩ずつ、まず一つのことがクリアされたら次のことをというふうに考えて進めてまいりたいと思います。

○リーダー ありがとうございます。

では、申し訳ありませんが、時間のほうも押しておりますので、シャイニングスターの

発表はここまでということでさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

では、次がいよいよ最後のグループの発表になります。最後のグループは強行犯グループから発表があります。

では、強行犯グループの皆さん、よろしくお願いします。

○強行犯係 これから強行犯係の発表を始めます。

最初に、自己紹介をします。礼。

○強行犯係 狛江四中2年の中村です。よろしくお願いします。（拍手）

○強行犯係 狛江二中2年の川地です。よろしくお願いします。（拍手）

○強行犯係 狛江一中2年の阿部です。よろしくお願いします。（拍手）

○強行犯係 サポーターの小林です。よろしくお願いします。（拍手）

○強行犯係 サポーターの藤田です。よろしくお願いします。（拍手）

○強行犯係 この青少年会議のOBでサポーターの高田です。よろしくお願いします。（拍手）

○強行犯係 まず最初に、サポーターから紹介だけ軽くさせていただきますと、このグループも、ほかの3つのグループと同じように、やはり狛江の良さを活かして、より住みやすい環境をつくっていかうということの思いを胸に活動してまいりましたが、中でも自分たちだけではなく、小さな子どもだとかお年寄りにとっても良い施策を考えようという点で進めてまいりました。



それから、彼らは、市内に住んでいる人だけではなくて、狛江市の外に住んでいる人たちにとっても狛江がより良いイメージを持ってもらえるように、そういうことに気をつけながら発表を考えてまいりました。

彼らの発表内容としては、狛江の歴史的文化を大事にしようという点と、環境を大切にしながら、より良い住みやすい環境をつくっていかうという視点から、発表をつくりました。

それでは、お聞きください。

○強行犯係 私たちは、狛江をより良い街にするために、狛江の歴史で知名度アップと住みやすい狛江づくりの2つを提案します。

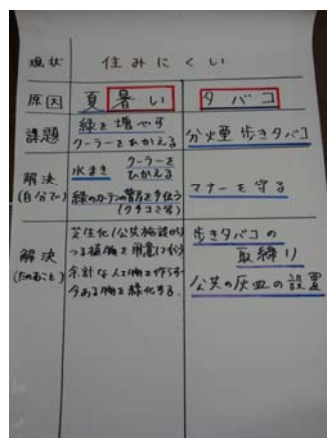
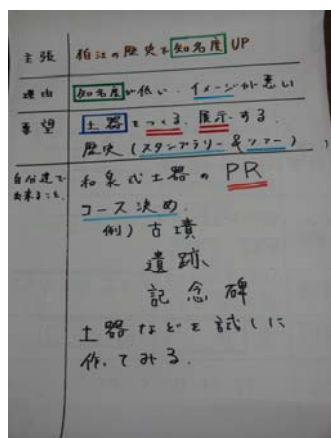
最初に、狛江の歴史で知名度アップについてです。

キャッチフレーズは「歴史の興味を育てます」です。現状として、狛江の歴史はまだまだ内外双方に知られていません。そこで、知名度を上げ、過去の事件などの悪いイメージをなくすために、次のようなことを考えています。

狛江市には、和泉式土器や古墳、記念碑などの歴史的なものがたくさんあります。そこで、市に提案することは次の2つです。

1つ目は、土器をつくる会の開催です。現状としては、狛江の和泉式土器はほとんど知

られていません。和泉式土器とは、古墳時代につくられた南関東独特の形をした土器のことです。一小前に記念碑があるだけで、狛江市民ですらその存在を知らないこともあります。



〔強行犯係のマニフェスト〕

では、どのようにしてPRすれば良いのでしょうか。そこで、私たちは、和泉式土器を実際につくってもらうことで、狛江の土器をPRしようと考えました。具体的には、ポスター、ネットなどで広告をし、市内の陶芸教室などを借りて行うのが良いと思います。それについて必要なものは、粘土、焼き窯、指導者です。それと同時に、出土したときの展示もお願いします。その際に、展示スペース、本物の土器、土器の専門家が必要だと思います。

○強行犯係 2つ目は、歴史スタンプラリーとツアーの開催です。先ほど述べた和泉式土器以外にも狛江には、古墳、万葉歌碑、伊豆美神社などの歴史的な場所があるにもかかわらず、これらの知名度を上げる取り組みが行われていません。

そこで、歴史的な場所を回るスタンプラリーや、ツアーを行おうと考えました。それによって、外から来た人に狛江の様々な歴史に関係のある場所を知ってもらうことができ、狛江の知名度も上がるでしょう。それには、狛江を熟知した市民の方などが必要となります。

また、私たちは、それらの場所に出かけていき、ツアーのコースを決めようと思います。また、これらの歴史的な場所は、狛江の知名度を上げるだけでなく、教育に結びつけることもできると考えています。それにより、市内の方や市の外の方にも狛江の



歴史の興味を育てることができると考えました。

ツアーのサンプルコースを提案します。まず、スタートの和泉多摩川駅です。次に、亀塚古墳、万葉歌碑、伊豆美神社、兜塚古墳、むいから民家園、泉龍寺、そしてゴールの狛江駅というコースめぐりです。

○強行犯係 次に、住みやすい狛江づくりについてです。キャッチフレーズは「狛江の夏を涼しく

します」です。このキャッチフレーズにしたのは、狛江の住みにくさの原因の一つにアスファルトや建物などが放出する熱による夏の暑さが挙げられるからです。この課題の解決策として、市にお願いすることを4つ考えました。

公共施設の緑化、緑のカーテン用のツル植物の用意、余計な人工物を増やし過ぎない条例の制定、今あるスペースを使った緑化の推進です。

公共施設の緑化については、市役所の屋上緑化や公園の芝生化、街路樹を増やすことなどの手段が考えられます。また、余計な人工物をつくらないとする条例の制定により、必要最低限の建物以外は建てず、それにより今あるスペースを最大限に使った緑化の推進が可能になると考えました。

住みにくさの原因の2つ目は、たばこのマナーの悪さだと思います。マナーの悪さを解決するための課題は、分煙、歩きたばこの抑制です。

市にお願いする解決策として、歩きたばこの取り締まり、公共の喫煙所の設置の2つがあると考えました。歩きたばこの取り締まりについては、実際に行い、効果を上げている自治体もあり、狛江市もいち早く導入すべきだと思います。

公共の喫煙所の設置については、公園などに設置してあっても奥まった位置にあることも多く、あまり利用されていないので、歩道沿いに設置するなどの策をとっていただければ、たばこのポイ捨てや受動喫煙を防ぐことができるのではないのでしょうか。

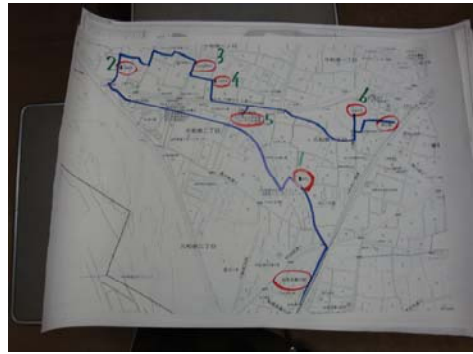
狛江の知名度を上げていくため、住みやすい狛江づくりのために、これらのご検討をよろしくお願いします。

○強行犯係 以上で、強行犯係の発表を終わります。（拍手）

○リーダー ありがとうございました。

では、先ほどまでと同じような流れで質疑応答に入りたいと思います。ご質問のある方、挙手をお願いします。

○市長 市へのお願いですが、いっぱいあるので、それに答えていくとまた大変なことになるし難しいので、一点、暑さ対策でクーラーを控える。今、市のほうも今まで学校には、三中以外、クーラーが入っていないんですね。あれも小田急線の立体対策で入れたんで



すけれども、去年の暑さで、これはクーラーを入れなきゃいけないのかなということで、皆で議論をしながら2年間で入れようかと考えて、総額では億の単位を超えるお金を2年間で使います。

そういう中で、クーラーを控えるというのが生徒の皆さんから出たので、環境を守るためには去年のようなものでも我慢できますか。クーラーを使えば本当に地球温暖化にはマイナスになるのはわかって悩んでいるんですけども、皆さんの感想はどうかと思って。

○強行犯係 クーラーがどうしてもないとだめな日というのも確かにあります。クーラーがなくて勉強に集中できないとか、そういう必要最低限のクーラーだけは、やっぱり減らして熱中症とかになっちゃうのもだめなので使って、ただ必要がない日はなるべく我慢できる範囲で、クーラーを控えるということです。



○リーダー よろしいですか。

ありがとうございました。

ほかにはございますか。よろしいですか、お願いします。

○来場者 狛江の歴史で知名度をアップというのがあったんですけども、これは、対象はだれ向けのツアーを、スタンプラリー&ツアーを企画しているんですか。

○強行犯係 これは、幅広い市内の方とか、ほかの世田谷区だったり調布とか、もう全国の人とか、子どもからお年寄りの方までとか、すべての人を対象です。

○来場者 そうですか。実際に、でもこういうツアーがあるということはご存知でしたか。実際にやっているのがありますよね。

それと、もう何年も前になるんですけども、青少年委員が社会教育課にあったところに、小学生、中学生向けに、やっぱりこういったスタンプラリー、ツアーというのを企画したんです。参加者ゼロでした。

確かに、PRの仕方が悪かったのかもしれないんですけども、せっかくこういったものを企画しても、全く参加者がゼロということもあるし、逆にもう既に既存であるというのもあるので、その辺のこともどうなのかなと思って、ちょっと意見を言わせていただきましたかったんですけども。

○強行犯係 確かに、僕たちも、これをつくるときに、あるというのは知っていたんですけど、やっぱりツアーがあっても、行こうと思わないんですよ。だから、行くために何か目玉をつくって、それで一回行ったら何かリピーターとかになったりとか、だれか友だちとか知り合いを誘って、参加してもらえるようにということを考えられるかと思います。

○来場者 その目玉というのは何ですか。

○強行犯係 それは、ちょっとまだこの時点では考えていないので、もしも実現できるようになったらおいおい考えていきたいです。

○リーダー ありがとうございます。

じゃ、残りお一人だけお願いします。

○来場者 本当に今回、サポーターの皆さんが、当時のメンバーもいらして、まずその成長ぶりと背がすごく高くなったとびっくりしているのと、中学生の皆さんが、また本当に立派な発言をしているのと、改めて、本当に狛江が好きなんだなというのを感じました。



これは、今、来場者のほうからも質問がありましたけども、大人が幾つものいろんな行事をつくって皆さんに参加していただくということでも参加者はゼロでしたというお話は、やっぱり中学生が行く気にならなかったということですね。これは、やっぱり大人が考えなくちゃいけないことだし、大人だけで解決できる問題ではないので、ぜひ、この中学生会議が、これから本当に中学生自身が考えたら、自分たちがお年寄りまでちゃんとご案内できるような魅力のあるプログラムをつくっていただきたいなと、それは大人が協力しないと多分できないと思います。

先ほど、来場者からお話がありましたけど、まず盛り上げるということが大事なかと、費用がかかるとかかからないとか、中学生のアイデアを大人がどう活用できるか、そこら辺が青少年会議の意義ではないかなと思っています。

どうもありがとうございました。（拍手）

○リーダー ありがとうございました。

最後、お一人だけご質問をお願いいたします。よろしいですか。

では、ちょうど時間にもなりましたので、お願いいたします。

○来場者 私、万葉歌碑の歌碑を守る会の一員なんですが、今、本当、北海道から沖縄からもいらしています。それで、かなりの団体、バスツアーでもいらしてたりしますので、他の地域の方のほうに関心がおありなんですね。だから、狛江自身でもっともっと、本当に狛江の市民が狛江に住みながら知りませんでしたということをおっしゃる方がとても多いのね。だから、狛江の市民にもっと知っていただくようなアイデアは必要だなということでは、皆さんのご意見に私も感じてはおりますけれども、現在、本当に私たちが団体をつくってちょうど10年経ちましたけれども、本当に全国からいらしているのでは感動します。そういう現状ですから、その辺をご存知の上で、また色々考えていただけると良いと思います。

ただ、私たちが、東京都の文化財の日、あそこで、碑の前でお待ちしていてご案内しますよという感じで、今おっしゃっためぐりの何力所かありましたね、それに旗を持ってやったことがあるんですけど、意外と来ないんです。だから、その辺はもうちょっと考えなきゃいけないなというところですよ。

でも、本当に私たち、ボランティアで皆やっていますけど、あそこの草取りをやったり、枝おろしをやったり、市民の方でも一生懸命やっている方はいますので、よろしくお願いします。

○リーダー ありがとうございます。

では、これで強行犯係の発表を終わりにしたいと思います。ありがとうございます。

(拍手)

では、これで4グループすべて発表が終了いたしましたので、投票作業に入ってくださいと思います。

皆さんのお手元に投票用紙があると思いますので、そちらに自分が共感いたしましたグループ1つ丸をつけていただきまして、前に投票箱、こちらは本物の投票箱を用意していただきましたので、こちらに丸をつけた方から入れていただくようお願いいたします。もし投票用紙がない方がいらっしゃいましたら、お手を挙げていただければお持ちいたしますので、筆記用具がない方もお手を挙げていただけましたらお持ちいたしますので、よろしくお願いいたします。

では、よろしくお願いいたします。

投票はお済みでしょうか。投票用紙のない方、筆記用具がない方いらっしゃいましたらお手を挙げていただけますでしょうか。

よろしいですか、今書かれている方は、あと数人ですかね。

なお、今日出席された方の数は数えておりませんが、1人1票でよろしくお願いいたします。

よろしいでしょうか。では、これで投票は締め切らせていただきますので、開票作業のほうをよろしくお願いいたします。

開票作業が終わるまで、いましばらく時間がかかりますので、一応ここで今日すべて発表は終わったんですけども、色々皆さんに感想を伺ってみたいかなと思います。まずは、矢野市長からお願いできますでしょうか。

○市長 今日は本当にありがとうございました。

一昨年頑張っていたいて、本当に良い集まり、良い取り組みになったなと感じたんですけども、今回それがさらに広がったと思います。前回は粕江の4つの中学校の横の広がりが一つになったのが良かったなと思ったんですけども、今回は、OBの方や成人式実行委員会の方たちも入ってきて、若い人たちに縦のつながりが出てきた、これで横と縦が折り合っていくと、若い人たちがやっぱり粕江の街づくりの担い手として力を蓄えつつあるという、このことがすごく実感できました。

それから、前回のいろんな取り組みを土台にしながら考えてくださっているのも、まだまだ大人の目から見ると、ああ、足りない、これはどうなんだというのがいっぱいあると思うんですけども、しかしゼロから一昨年、これから2度目でここまで来た、そういう前進面もぜひ見ていただいて、さっき来場者がおっしゃったように、足りない部分は私たち大人が手助けをして、私たちの足りないものを若い人たちに連携していただいたと、そういう姿勢で、ぜひこれからも続けて、これもあと何回か行くと、本当に若者が街づくりの



一つの勢力になってくれるなとすごく楽しみにしています。

本当に今日はありがとうございました。（拍手）

○リーダー 貴重なお言葉、ありがとうございました。

ほかの方にもちょっと伺ってみたいと思います。市議会議長の道下さん、お願いできますでしょうか。

○狛江市議会議長 大変すばらしい内容で、実は幾つか提案があった内容で、B級グルメなんかも、市議会で提案が実はありました。

それから、芝生化の問題、それからポイ捨てのマナー、特にたばこのポイ捨ては、狛江市の市議会で、今、常任委員会の一つである建設環境常任委員会というところが、この2年間、たばこの問題を取り上げて、行政のほうに政策提案をいたしました。国分寺に視察に行ったり、和泉多摩川、狛江、喜多見と3駅歩いて、駅周辺のそうした問題、特にそういう中で、地域限定をしないと、なかなか取り締まるといっても非常に経費がかかるという問題がありましたので、地域限定で禁煙化ということ、それから喫煙場所をどうするかということも、その中で非常に議論になりました。



今日の提案では、幾つか場所で捨てやすいところに灰皿を設けるというような提案がありましたけれど、それは即受動喫煙のほうにもリンクするので、灰皿自体を設置するかということも、非常に実は市議会の中でも大きな問題になって、灰皿自体をオープンな形で設置するのはなかなか厳しいんじゃないか、特に具体的に今の北口の喫煙場所についても、議会でもあそこを何とかしたらどうかという具体的な提案も出ております。

そういう意味では、今日も幾つか政策提案がありましたけれども、本当に私たち、現実の議会で議論されて、また実際に行政のほうに提案しますけれども、さっき市長も色々話がありましたけれども、予算等の関連でクーラーも、実は市長がつけようかつけまいかと、今日はつけなくて良いということで変えていただければ、相当、市長も安心したんじゃないかと思うんですが、なかなか予算の関係で一遍につけられないということもあって、そういう今現状なので、非常にまた市議会としても、今日は大いに参考というよりも勉強させていただいたことを心から感謝申し上げます。大変ありがとうございました。（拍手）

○リーダー ありがとうございました。

最後に、同じく来賓で本日ご在席いただいております教育長さんからも何かありましたらお願いできますでしょうか。

○教育長 どうも今日は、中学生の皆さん、本当に良いお話、アイデアいっぱいいただきまして、ありがとうございました。

本当に狛江のことをよく見て、自分の暮らしている街のことをよく観察して、具体的な提案をしていただいているなというふうに思いました。

提案の中には、行政、教育委員会としても幾つかダブるようなところがございます、皆さんのアイデア、本当に取り入れて事業を進めていきたいな、柔軟な発想のアイデアがあったというふうに思っております。

また、これからもこの会議が続くと思いますので、もっともっといろいろな提案をしていただいて、私たち行政のほうにもいろんなサジェスチョンをいただければありがたい、こんなふうに思っております。

今日は本当にありがとうございました。（拍手）
○リーダー ありがとうございました。

では、一般の方にもご講評などをお願いしたいと思いますが、どなたかいらっしゃいますでしょうか。

では、ないようですので、開票結果がもうとっくに届いていたんですけれども、では開票のほうをお願いしたいと思います。

では、結果の発表をさせていただきます。

まず、4チームありますが、3位、2位、1位という順番で発表させていただきたいと思います。

得票、まず第3位、チーム桃太郎です。（拍手）

続いて、第2位、シャイニングスター。（拍手）

そして、今回の青少年会議、「私たちは狛江市の大統領」、第1位は強行犯係となりました。おめでとうございます。（拍手）

では、賞状がありますので、そちらの授与を行いたいと思います。

強行犯係の皆さん、前へ、賞状は市長のほうから渡していただきたいと思いますので、市長、よろしく願いいたします。

○市長 賞状、最優秀賞、強行犯係殿、あなた方は、平成22年度狛江市青少年会議において、投票の結果、最優秀の成績をおさめられました。

よって、ここにその栄誉をたたえ、これを賞します。平成23年3月19日、狛江市青少年問題協議会会長、矢野裕。（拍手）

○リーダー ありがとうございました。

それでは、最後に長田先生のほうからご講評をお願いしたいと思います。長田先生、よろしく願いいたします。

○長田副委員長 長時間、皆様方に中学生の発表を聞いていただきまして、誠にありがとうございます。



私は、青少年問題協議会の副会長をしております長田と申します。今日は私の出番は絶対ないだろうということで、大変気楽な格好で聞きに来ましたらば、最後に講評、まとめをしてくださいというので、ちょっと焦りましたけれども、もうどうにもならないのでこの格好の悪さの失礼をここでお詫び申し上げます。

まずは、この中学生会議のスタートが8月でしたから、半年以上かけて中学生の皆さん方が、またサポーターの方々が支えながら今日まで会議を継続したということ、この息の長い取り組みに大変私は感動している次第でございます。おそらくその半年以上の中で、サポーターの方々と中学生、あるいは4つの中学校の生徒の皆さん同士の交流が非常に深まって、これがまた非常に今後のことを考えますと粕江市にとって大きな力になるのではないかと、そういうふうに確信をしております。

そういった面で、今日の中学生会議の発表は、大変意義の深いものがあったというふうに考えております。中学生と言え、私は中学校に勤めておりましたので、中学生のことはよくわかるのですが、自分のことで精いっぱい年齢です。その中学生の1年生、2年生たちが、3年生になれば多少ゆとりは出てきますけれども、1年生の中学生の皆さんが、今回色々話題になりました粕江市のことを大変心配しております。知名度を上げたいとか、あるいは地域の人々の交流のこととか、あるいは粕江市の借金のことまで出てきました。こういったことまで考えられること自体が、その実現がどうのということではなくて、こういう広い視野で街を見られること自体が、これは大変立派なことだと私は思っているわけでございます。

そういう意味で、前回の中学生会議と比較をしますと、やはりサポーターの方々の良いサポートがあったんだと思いますが、より内容が具体的になってきたというところで、高く私としては、今回の中学生会議、一段と発展したということを確認しております。

各グループにつきましては、今、表彰がありましたとおりの評価だろうというふうに思います。

せっかく4つのチームが発表をしたわけですが、それについて、1位、2位、3位というところが出るのは、ちょっと私としてはかわいそうな気もしたわけですが、結果とすれば表彰のとおりだと思います。

初めに、ブルービーンズですが、自然を守る、私が驚いたのは、自然を増やすというのは当たり前なだけで、増やす前に自然を守ろう。この発想を中学生がしたというところ、これがすごい。また、公園を人々の交流の場にする、そのためには名前のない公園に名前をつけると、これもすごかったですね。そういう意味で、非常に良い発表だったと思います。

次に、日本一の桃太郎というところですが、枝豆を取り上げた、枝豆祭り、なかなかすばらしい発想ですね。これも、どこかで時間がかかりますけれども、実現できるんじゃない



いか、あるいはごみ拾い、ポイント制、これについては、意見もありましたけれども、中学生が考えるところであれば、より多くの人を集めるのはこんな方法も一つではないかなというふうに思っております。

また、この中で四中学の交流ということで、スポーツ振興審議会の方々から非常に力強いお言葉がございました。4つの中学生の交流という意味では、スポーツ振興審議会の強力な応援が得られるということですので、ぜひ実現に向けた動きをつくっていただければというふうに思っております。

次に、シャイニングスターですけれども、発表の仕方が大変良かったですね。あるいは、粕江の財政に触れたこと、それからB級グルメ通りをつくる、その内容が非常に具体的に良かったと思います。ぜひ、これも議会のほうで話題にもなったということですので、一歩でも二歩でも実現に近づいていかれたらと思います。

そして、最後の強行犯のグループ、知名度を上げるということ、この知名度を上げるということは、ほかのグループも扱ってございましたけれども、私が感心したのは、和泉式土器。この和泉式土器をつくる催しを開催して人々に参加してもらおうと、こう考えたところ、これはすばらしい、よく中学生が考えられたなというふうに思っております。

また、歴史スタンプラリー、ツアーの開催、こういったことを中学生が考える、このこと自体がすばらしいし、また回るコースを考えた、和泉多摩川の駅から粕江の駅までぐるっと回ってくるコースを考えた、これもすばらしかった。

そして、私が最も感心したのは、余計な人工物を増やさない条例を市でもって制定してもらいたい。これはすごいですね。余計な人工物をつくらない、増やさない、そのことが粕江市を良くしていく。

そう考えますと、今日の発表というのは、半年以上かけただけの内容があったというふうに思っております。ぜひ、この中学生の皆さんの考えが実現するしないは別として、皆さんの心の中に深く刻まれることを私としては願っております。

大変長時間お聞きいただきまして、誠にありがとうございました。

以上で、最後のまとめといたします。（拍手）

○井上課長 長田先生、どうもありがとうございました。

また、ファシリテーターをやっていただきました谷田部さん、大場さん、どうもご苦労様でした。ありがとうございました。（拍手）

皆様、長時間にわたりましてお聞きいただきまして、ありがとうございました。

中学生の意見ではございますが、粕江の良さをよく知っていきまして、私自身改めて知らされた思いがあります。

今後とも、地域の方々のお力添えをいただきながら、青少年を見守っていただきまして、そして応援していただきたいと思います。

それでは、閉会の挨拶を児童青少年部長の平林よりご挨拶いたします。

○児童青少年部長 本日は、大変大勢の皆様にお集まりをいただきまして、誠にありがとうございました。

2011年、統一地方選挙にちなみまして、今回の発表会はマニフェスト並びに投票という形で模擬選挙の形で発表をさせていただきました。

マニフェストというのは、目指すべき姿に向かって一歩近づくための方策でございます。各グループで、いろんな個性並びにアプローチの仕方、いろんな発表があったかと思えますけれども、緑豊かな住み良い粕江、また元気な粕江を目指すという子どもたちの気持ちは、皆さんに伝わったかと思っております。

これまでご支援、またご指導をいただきましたサポーターの皆様、またご協力をいただきました保護者の皆様、学校関係の皆様に改めてお礼を申し上げます。

また、本日、皆様には厳しいご質問等もございましたけれども、進行にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

これをもちまして、青少年会議の発表会を閉めさせていただきます。

本当にありがとうございました。（拍手）



青少年会議に参加してのアンケート

○得たこと、感じたこと

【中学生編】

- ・私は、この会議を通じて、自分の意見をハッキリと言うことができるようになったと思います。もっと工夫できたなと思うのは、発表の仕方です。ゆっくりハキハキと発表するのに加えて、発表を見ている人を引き付けるのもできたら良かったと思います。
- ・自分以外の同年代の人の意見を聞くことができました。また、大学生の意見も聞けてとても良い経験になりました。
- ・意見を出し合った後には、他の班の人に発表しあいました。そこでは同じ問題点でも違う解決策を聞いて、こんな意見もあるのかと知ることができました。また中学生では発表する機会が少ないので、その経験もできました。
- ・一番最後の集まりでは、地域の人やご父兄がいる中で発表できるという素晴らしい取り組みがありました。そこでは質疑応答の時間に、地域の方々の意見を聞けました。

一番記憶に残っていることが一つあります。

それは、私たちの班の発表の質疑応答の時に手を挙げてくれた一人のおじいさんの意見です。確か多摩川清掃を私たちでやったらどうか、狛江市がきれいな街と有名になるように、サイクリングロードなどに植物を植えたらどうか、という案に対してでした。その方は、そんなことを言うだけで実際にやらないのかと、口だけで実行に移さないのなら今の政治と同じではないか、とおっしゃっていました。

そこで気づきました。この話し合いはなんだったのだろう、と……。

自分はなんのためにこれに参加したのか？この街をより良くしたい。市民が住みやすい街にしたい。そう思ったから参加しました。

それなのに、話し合うだけで終わりだなんてもったいないです。

前回出席したOBの先輩に聞きました。

ここで話し合ったこと、何一つ実現しなかったと。だから私は工夫した方が
良い点、反省点として話し合ったこと、一つでも良いから実現した方が良い。

しなければならない。ということを挙げたいと思います。

とても楽しい会議で、新しい考えをもつことができました。

本当にありがとうございました。

- ・考え方が少し甘かった。
- ・もう少し質問に対する対策をとってれば、もっと良い発表ができたと思った。

- 大人の非情を少し感じてしまった。
- この青少年会議で自分が大切だと思うことは、どのようにして相手に自分の気持ちや、伝えたいことを伝えるか。また、どのようにコミュニケーションを取るかをよく考えることだと思います。今後、社会に出てもこういったコミュニケーションは大切だと思います。青少年会議はそういった面で、とても良い練習になります。
自分は人との会話があまり得意ではなく、その悩みをどうにかしようと思い青少年会議に参加しました。
おかげで自分の気持ちを素直に相手へ伝えることができるようになりました。大袈裟かもしれませんが「素直に相手に伝える。」そうすることができる勇気をもらいました。ほんとうに感謝しています。
心残りなのは、もう少し会議に出たかったということです。
- 高校に行っても青少年会議のお手伝いなどのボランティア活動を多く経験することができたら良いと思っています。
- もう少し、くわしく調べれば良かった。
- もう少し、工夫を……。
- 大人気ない大人もいる。
- 初めてこんなに粕江市について深く考えた。知らないこともたくさんあったので、良い経験だと思う。
- 今まで約半年やってきたことの集大成らしく一番内容がしっかりしていた。
- 発表への質問をある程度予想してはいたが、想定外の質問があったのももう少し想定範囲を広げた方が良かったと思った。
- 班としてはサポーターの方を含め、班で一丸となり粕江のことを考えられたと思います。
- 私は、青少年会議は、とても良いものだと感じました。
最初は、場の空気のにまれて話しづらいと思っていましたが、段々その空気に慣れてきて、気軽に話したりできるようになりました。
本番では緊張してしまい上手く話すことはできなかったのですが、最後までできて良かったです。この会議は思い出に残ると思いました。

【リーダー・サポーター編】

- 今回の青少年会議を通して、今の中学生が粕江市のことを真剣に考えていることに驚きを感じました。住んでいる街のことを真剣に考えている中学生は、粕江市にとってとても貴重な財産だと思います。会議で出た意見は大人から見れば甘いと思われるものもあるかと思いますが、是非、創意工夫をして実

現していってもらえたらと思います。

- 中学生の参加数が定員に満たないのは残念です。もう少し学校の意識を変えていただく努力が必要ではないかと思います。定数に満たなかったことも原因ですが対する大学生の数が多いかな？と思います。
- 今の中学生が現実的な物事の考え方をすることに感心しました。今後どのような形で受け止めた大人の側が応えていくかが課題になりますね。
- 報告会を通じて得たことは、子どもたちが自分で考え、まとめた結果を市民の人たちにプレゼンするという貴重な経験をすることができたことや、狛江市を改めて学習し、問題を発見し、解決するという課題解決能力を養うことができた点です。

また反省点は、学校とのつながりがいまいち薄いことや、プレゼンまでのセクションが少ないと感じたこと、報告会の後に反省する場を設け、その結果を踏まえて新たにに取り組むことができる場をつくることができれば良いなと思われま。

- 今回の青少年会議に参加させて頂きまして本当にありがとうございます。私は初参加で、当初どのように参加していけば良いのか悩んでおりましたが、市役所の方や他のサポーターの方からのアドバイス等を頂きまして、私の中でのベクトルが定まり、大変有意義な時間とそして貴重な経験をさせて頂いたと思っています。狛江に対する思いというのは、世代が違えど同じであるということ、そして、中学生ならではの視点からの意見は気付かされる点が大いにありました。

その中で工夫した方が良い点の一つあります。それは、サポーターだけでなく中学生にも明確な方向性を理解させることが大切なのではないかと思います。サポーターと中学生が同じ思いでやらなければ良いものをつくれないと思うので、方向性を明示し、そしてその方向に行くには今これをやっていくのだというようにしていく方がもっともっと良くなるのではないかと考えます。

- 中学生が何を考え、何をしたいのかということを会議を重ねるにつれて、自分の言葉で話してくれたのでとても具体的な話し合いができました。全員が『もっと狛江を良くしたい』という思いをもって会議に参加してくれたのがとても嬉しかったです。
- 参加生徒の募集は当初の段階より各学校から選定する方法が良い。
- 何度かに一度は、過去に提案された中から、行政が関われる感触を得た事業を実施できるような年があっても良いと思う。
- “まだ中学生”ではなく“もう中学生”で大人の仲間入り。つまり、社会の一員としてしっかりと考えを持っていたことは、また、確認できたことは良い

企画でした。

- この報告会がどのような目的で集められ、行われるのか、その定義づけが曖昧で最終的にブシしているように感じました。

私は、狛江市をより良くするために中学生の生の声を聞き、若い目線での意見を市政に反映させるものと考えていました。

ですが、大統領という立場で、マニフェスト形式での発表をし、グループごとに順位をつけるのは、その目的と外れるのではないかと感じます。

各々の意見に優劣をつけるのではなく、市政に反映するには現実的にどのような改善が必要なのか、それを全体で考える時間があっても良かったのではないかと思います。

この会が市政に反映させることだけではなく、中学生に政治家を疑似体験させ、教育の一面も兼ねているとなると話は違いますが、その目的の曖昧さが、中学生にも動揺を与えていた気がします。

- 自分自身としては、年齢が一回り近く違う年下と話し合う機会など、まず経験できないので、貴重な体験をさせて頂いたと思っています。

子ども扱いするのではなく、1人の人として話し合うと自然と打ち解けあい、良い意見が聞けるのだと勉強になりました。ありがとうございました。

○次回の青少年会議に参加する中学生へ一言！！

【中学生編】

- 発表は緊張するけれど、自分の考えることを狛江市長や地域の方に聞いてもらえるのは、なかなかないことなので自分が思うことをどどんぶつけてください！
- 自分の意見がみんなと違うかもと恐れずに発表すると良いと思います。そして他の人の意見を聞くことが、いずれ自分のためになると思います。狛江市のために頑張ってください。
そして、他の意見を聞くこと、発表することを楽しんでください。
- 何事にも挑戦すること。
- 発表とかするとけっこう緊張してしまうかもしれないけど、そこは冷静にかつ堂々と発表すると後々すっきりすると思います。
質問されたとき、わからなかったらわからないとはっきり言うことが大切。
最後に中学生に一言…『少年たちよ。最高の思い出をつくれるよう頑張れ！』
- 柔軟な発想で頑張ってください。
- 他の学校の人たちとの交流もあり、大学生との交流もあり、とても楽しいです。その中で、ぜひ自分たちで、たくさんアイデアを出して狛江市について

もっと考えてみてください。

- 発表の本番は「想定外」そのものなので少しでも「想定外」を減らせるよう、準備しておくことが大切です！
- 後を継ぐ皆さん、とにかく頑張ってください。

【リーダー・サポーター編】

- 自分たちの意見や、粕江市で叶えたい夢を実現する良い機会だと思います！是非、友だちも誘って参加してみてください。
- 先ずは自分たちが参加している会議を周囲の中学生たちに広めていただきたい。他の意見を集めることも重要です！関心を持っていただきたい。
- 今回に限らず、今後も様々な機会を自らが求めて地域の活動に参加してほしいです。
- 様々な人と話し、様々なことを考えることができる貴重な場です。是非とも参加してみましょう！
- 自分の住んでいる所ってどんな所なのだろう。もっとこうしたら良い所になるのに。そんな疑問や思いを他の中学生の友だちと話し合える所がこの青少年会議です。今自分のいる中学という枠を超えて、他の中学生と共に一つのものをつくり上げる経験はなかなかできませんよ。この貴重な経験をできることを誇りに思ってください。必ずこの経験は活きると思います。他の中学生とそしてサポーターと共に粕江市について真剣に考えて、そして粕江を素晴らしい街にすることができたらと思います。
- 中学生の意見が粕江を変えます！この機会にぜひ自分たちの想いを伝えてください。困ったことがあってもサポーターが必ず手助けします！皆さんの活躍を期待しています！
- 他校の同年代と意見交換のできる良い機会です。楽しんで参加して欲しいです。
- 今、わからなくても、参加している間に見えてくるものがきっとあります。一歩踏み出す勇気を忘れずに参加しよう。
- ぜひこの機会に一度自分たちの街について真剣に考えてください！

青少年会議開催日及び主な内容

日 時	場 所	主 な 議 題
<第1回> 平成22年8月28日(土) 午後1時～3時20分	市 役 所 特 別 会 議 室	○チーム作り ○キャンプネーム、グループ名決定 ○自己紹介 ○青少年会議の概要説明 ○ワークショップ『どんな大人になりたいか』 ブレーンストーミングとKJ法
<第2回> 平成22年10月2日(土) 午後2時～4時10分	市 役 所 特 別 会 議 室	○初めての参加者の自己紹介 ○アイスブレイク～トランプゲーム～ ○ワークショップ『どんな街に住んでみたいか』 ブレーンストーミングとKJ法
<第3回> 平成22年11月21日(日) 午後2時～4時30分	市 役 所 特 別 会 議 室	○アイスブレイク～筋の通った競争～ ○ワークショップ『狛江の良いところ、悪いところ』 ブレーンストーミングとKJ法
<第4回> 平成22年12月12日(日) 午後2時30分～5時10分	市 役 所 特 別 会 議 室	○アイスブレイク～集団ジャンケン～ ○ワークショップ『狛江の良さを今後も活かし、悪いところを改善するために自分たちでできること』ブレーンストーミングとKJ法 ○テスト『前回の青少年会議の先輩たちの主張を実現するには』等
<第5回> 平成23年1月23日(日) 午後2時～4時30分	市 役 所 特 別 会 議 室	○ワークショップ『私たちが狛江市の大統領になったら』と仮定し、マニフェストを作成
<第6回> 平成23年2月19日(土) 午後1時～5時	市 役 所 特 別 会 議 室	○アイスブレイク～フルーツバスケット～ ○ワークショップ 他グループのマニフェストに対しての質問、マニフェストの文章化、清書
<リハーサル> 平成23年3月13日(日) 午後1時30分～5時	狛江市民ホール 展 示 多 目 的 室	○グループ発表練習 ○報告会の最終説明
<報告会> 平成23年3月19日(土) 午後2時～4時	狛江市民ホール 展 示 多 目 的 室	○青少年会議の概要説明 ○グループ発表『私たちは狛江市の大統領』マニフェスト ○投票、表彰

○会議以外の活動、その他

- ・報告会へ向けて各グループの打合せを下記のとおり実施

【ブルービーンズ】【強行犯係】【桃太郎】

平成23年3月13日(日) 午前10時～午後0時30分 市役所301会議室

- ・朝日新聞取材：平成23年3月13日(日) 正午

青少年会議参加中学生一覧

中学 / 学年	氏 名	グループ
一中 1年	井上 亮太郎	ブルービーンズ
一中 1年	加藤 桃子	桃太郎
一中 2年	阿部 匠	強行犯係
一中 2年	川崎 拓巳	シャイニングスター
二中 2年	加内 絢介	桃太郎
二中 2年	川地 克朗	強行犯係
二中 2年	清水 樺穂	ブルービーンズ
二中 2年	西山 史将	シャイニングスター
三中 2年	福水 諒	桃太郎
三中 1年	石賀 万葵	ブルービーンズ
三中 1年	石原 あゆみ	シャイニングスター
四中 2年	高田 由貴	シャイニングスター
四中 2年	中村 一創	強行犯係

青少年会議協力者一覧

役 割 等	氏 名	グループ
リーダー	谷田部 大地	
サブリーダー	大場 悠	
サポーター	佐々木 駿	シャイニングスター
サポーター	高田 礼子	シャイニングスター
サポーター	内田 絵梨	シャイニングスター
サポーター	根本 龍彦	ブルービーンズ
サポーター	小笠原 華子	ブルービーンズ
平成20年度青少年会議OB	杉本 綾亨	ブルービーンズ
サポーター	小林 淳史	強行犯係
サポーター	藤田 尚子	強行犯係
平成20年度青少年会議OB	高田 博法	強行犯係
サポーター	湯浅 直紀	桃太郎
サポーター	内海 貴美	桃太郎
平成20年度青少年会議OB	石賀 咲葵	桃太郎

報告会アンケート集計結果（アンケート回収 37 件）

1. 本日の会議を何で知りましたか。（重複回答あり）

広報こまえ（1） チラシ・ポスター（4） 友人・知人（11）
その他（19）（青少年問題協議会小委員会、参加者の保護者、地域関係者、
案内状） 無記入（4）

2. 本日の内容はいかがでしたでしょうか。（重複回答あり）

非常に良かった（10） 良かった（21） ふつう（2）
あまり良くなかった（1） 良くなかった（0）
その他（1）（おもしろかった） 無記入（3）

3. 本日の会議の感想をお願いします。

- ・中学生の検討時間が少なかったためか、思いつきの案が十分な考察もなく発表に至っているとの感が強い。中学生らしい夢のある案がなかったのが残念。多摩川清掃にしても、まず自分たちで実施することを決定すべきではないか。
- ・全体的に突込みが浅いので、質問に適格な答えができない場面が多かった。
- ・中学生からの視点でたしかに考え方の甘い点があったが、この様なことを考えていくことに意義があると思う。また、自分たちでできることから実行していくことも必要です。（無理なく安全な方法で）
- ・中学生なりの発想を人に伝える難しさを感じた。
- ・要望です。とても良く考えられた会議ですので、もっと大会場で多くの中学生、高校生も参加する形にしたいと思います。
- ・数回にわたって会議をした結果でしょうが詰めが甘いのは仕方ないのでしょうか。理想としていることはうれしいことですが、アイデアを実現し継続していくことが必要です。
- ・一生懸命考えて発表されていました。サポーターの指導は大変だったと思います。
- ・中学生の意見はとても新鮮でした。
- ・中学生の案だけでなく、その案に対して中学生がどういう関わりができるのか（するのか）具体的な話が聞きたかった。
- ・具体的にどうするか、どうしたいかがもう少しほしかった。自分たちはどう関わるのか。（すべて他人まかせではいけないと思う）
- ・中学生の思いを大切に、私たち大人、特に行政が頑張ってもらいたい。
- ・青少年も地域の問題点をよく理解している。狛江市を良くしたい気持ちが伝わってきた。
- ・中学生の生の声が聞こえた。
- ・中学生による地域力に頼もしさがあった。

- ・提案内容が面白かった。枝豆の活用、粕江の歴史で知名度UP。B級グルメなど。
- ・中学生が一生懸命粕江について考え、若い発想はすばらしい。
- ・中学生がこういう会議に参加すること自体がすばらしいことだと思う。一生懸命発表する姿がかわいかった。
- ・まず企画として難しいものはある。しかし、市政や環境に関心を寄せる機会になることが素晴らしいと思います。次世代を担う子どもの意欲を更にかきたてていけるように学校と連携してほしい。
- ・活発な意見が多い中、すぐ返事ができる中学生は大変勉強されたということがよくわかりました。おつかれさまでした。
- ・中学生の意見、提案をもっと具体性の高いものにするために、現状の把握や聞き取り作業などの市民との直接の接触をたくさんすると良かったのでは。机の上で議論していたのでは、と思えてしまいました。
- ・大人が、積極的に受入れる姿勢があって、良い方向が見える。
- ・中学生なりによく考えていると思います。
- ・中学生らしくよく考えている。頭が先立っているのは仕方がない。もっと大きな理想像をもってほしいかな。
- ・8月から事務局の方々、サポーターの方々、大変お世話になりました。異年齢の交流を深めることができ、大人の厳しい質問にとまどったり、また応援していただける心強いご意見をいただいたり、本当に貴重な経験をさせていただきました。
- ・中学生らしい自由な発想は良いと思う。
- ・いろんなアイデアがあって、とても興味深かったです。
- ・中学生らしい色々な発表が聞けました。どれも良かったですね。
- ・中学生に「粕江のことを考える」場を与えるという着地は良いと思います。横のつながりもでき、OBも残り、何かを始める時に未来の力強い味方に育ってくれるのではないかと思います。
- ・内容についての理解が発表者、Audience（観客）共に不十分であるという印象を受けました。
- ・中学生が考えられる範囲で、興味を持った内容を話し合っている様子が伝わりました。
- ・子どもたちが、自分の言葉で発表している姿がとても良かったです。
- ・大人たちからの厳しい意見で、これからの маниフェスト が実現するための方法や続ける手段など、さらに考えなければいけない、ということがわかることが大事だと思います。
- ・想像以上に具体的で良かったです。続けてほしいです。
- ・予算、システム、人員等ありきで考えず、柔軟な発想で「こうなったら良いよね」「こうだと面白いよね」など、これからも夢を持って議論してください。その中から不可能を可能にするアイデアが出てくると思います。粕江市民全員で良い街にしていきましょう！参加した中学生ありがとう！関係者の皆さんおつかれさまでした！
- ・質問内容に一部、子どもたちへの応援心が感じられず悲しかった。
- ・発表の仕方がとてもうまく感心しました。

4. 工夫した方が良いと思う点等がありましたらお願いします。

- ・サポーター、青少年会議の実行委員の方がもう少し中学生を現実的な目線で指導できるだけの知識を持っていただきたいです。中学生ではなく一人の人間として尊重して意見をとらえたいと思うならば。
- ・既に中学生として実行している件も併せて発表すべきでしょう。現在全国的に狛江市は住みにくい街に属しています。どのような街にしたいのか将来的願望を示して欲しかった。街づくりの理念を出すべきでしょう。
- ・クーラーの問題一つにしても市政に深い掘下げが必要であると思われる。
- ・もう少し温かい目で質問してあげてほしかった。発表者が終わってから質問者のことを愚痴っていることが気になった。
- ・大人からの質問が的外れなものが多かった。フォローされていた点は良かった。
- ・ダメ、考え方が幼い、という批判をするより、応援する大人が多くならねばならないでしょうね。
- ・大人と子どもたちの協力でもっと良い方へ進めると思います。
- ・質問される内容のシミュレーションも必要なのでは？（時間がなかったとは思いますが…）
- ・自然を守りたいブルーベーンズは隣の世田谷トラスト等を見学したり、活動の内容などを勉強すると良いと思う。
- ・小冊子の内容と各グループ発表内容と情報量に差異があった。
- ・中学校の先生の出席。
- ・プレゼンの視聴覚物が見にくい！
- ・一番後ろの席で拝見しました。手元に本日の資料が届きましたが、ホワイトボードに貼られている内容の方が詳しく書かれているようでしたが、字が小さくて全然読めません。ほんの少しの気遣いですがよろしくお願いします。
- ・下調べや調査、関係機関との話し合いが必要だと感じました。そうすることによって、なぜ今の状況になっているのか、原因や結果、そこから新たな方策も生まれてくるのかと思います。
- ・データの裏付けをしっかりと取って提案に結びつけるともっと良くなると思います。説得力を持たせること。
- ・データの裏付けがあるともっと説得できると思います。(例) イベントで枝豆祭りをする際に量が集められるのか、加工はできるか、植栽も樹木が根を張った時に堤防の構造に影響はないか、など。
- ・時間的制約もあるかと思いますが、各グループが実際にもっと街に出て、自分の体験などを入れるともっと良かったと思います。
- ・もう少しリサーチがあったら良かったかと思います。
- ・1つの提案に関して、もう少し実現できるべく具体案を考えて提議とした方が良いと思う。
- ・時間がない中での会議と思います。たくさんのアイデアからグループでひとつにしぼり込み「実現するには」をもう少し練ってこれると良いと思います。
- ・どこまで具体的に考えるのか、提案のみなのか、その前提を中学生に前もって把握してもらう必要があると思います。

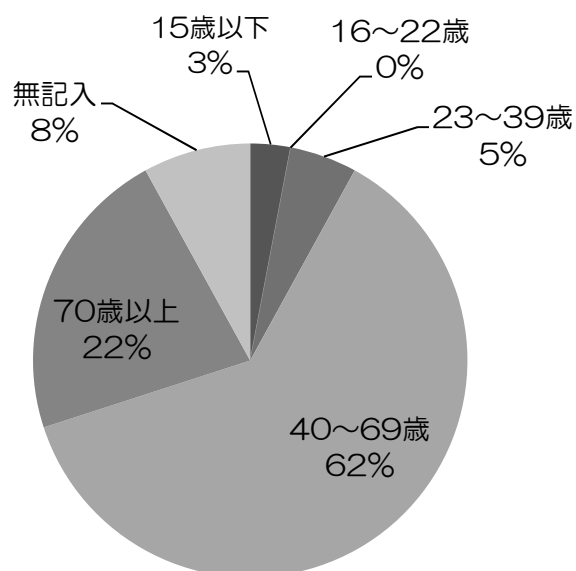
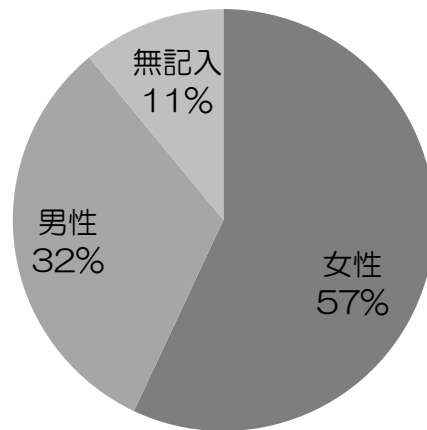
- ・中学生の考えをもう少し温かく聞く機会をとらえても良いのではないかと思います。実現にはまだまだ話し合いが必要だが、中学生のアイデアを大切にしようという考えで参加した方が良いと思った。
- ・8月から会議をもって、つめていく段階で、具体的解決を出すよう指導したらどうでしょう。
- ・実際にビジネスにつなげたいと思われる企業もあるかと思います。参加呼びかけ対象者に「市が取り組みをサポートするかもしれない」と一言つけて告知したら、実際の企業誘致につながると確信いたしました。
- ・投票結果は1位のみで良いかも。
- ・スライドあるいはパワーポイントを使う。

5. その他ご意見・ご要望などがありましたらお願いします。

- ・当然、運営や財源等の話しは出てくるはずですが、何でも夢を話せば…では中身のある会議にもならないと思います。中学生を1人の大人の意見として捉えるならば、ぜひサポーター実行委員の方の知識も増やしてサポートできる力をつけてください。
- ・受験で大変な中学生に、どこまで求めてよいのか判断する材料がありません。青少年問題協議会からの要望ではなく、中学生の自立的な青少年会議に発展することを願っています。
- ・中学生と高齢者との協働ワークを検討するのも面白いかも！
- ・質疑応答のシミュレーションをやったら良いと思われる。
- ・各種既存の団体と協力して進めて行けたら良いと思います。さらにこの会議が続くことを願っています。
- ・かなりの時間をかけ、内容も深いところまで指導してくださっていて、本当にありがとうございました。狛江市について考える良い機会でした。
- ・色々な問題に関心をもって、市民として行動をしていくことはうれしい限りです。この気持ちを忘れないで継続してください。
- ・各中学校より参加しているのに学校側の出席がないようです。もっと学校側に関心をもってほしい。
- ・狛江市議会の議会場を使うと良いと思います。
- ・中学生の意見をうまく活かして、大人がどうつながるかです。
- ・厳しいことを言いすぎてすみませんでした。悪気があって言ったのではないですよ～。ごめんね！
- ・子どもたちの成長等が見られてうれしかった。
- ・四中戦を是非実現させてほしい。
- ・強行犯係のツアーは実現しやすいのではないかな。
- ・今後も続けてもらいたい。
- ・施設職員や学校内では見えていない視点が勉強になった。
- ・サポーターの方が若い人が多くびっくりしました。頼もしい感じがします。
- ・せっかく出た意見や市への要望、提案は、市がどこまでとりあげてくれるのか？

- ・ 第一回の結果はどうなっているのか？
- ・ 青少年の主張の場。聞く人たちをもっと集めたいものです。
- ・ 学校関係や生徒自身が参観したくなるような呼びかけ！思っている以上に良い会議です。協力します。各校の生徒会をうまく活用してください。
- ・ 本日発表された内容が発表だけで終わらず、そのことについて継続して取り組んでいてほしいです。中学生はこれからの粕江の支えです！活躍してほしいです。「青少年委員の会議」でタイアップしたら、すごく力になるのではないのでしょうか。
- ・ このような「会議」の活動は大好きなので、毎回喜んで出席しておりました。お兄さんお姉さんたちと一緒にできたのはとても良かったと思います。会議の発展を願っています。
- ・ 「強行犯係」の意味を聞きたかった。
- ・ 行動力、実行力が問われる声が聴衆から出ています。市の広報の利用をフルに活用しよう。
- ・ 今回できたネットワークをぜひ継続させていただいて、何か1つでも実現できると良いですね。（四中学合同体育祭など）
- ・ 多摩川清掃など現在行なわれている事業もあるが、提案している生徒が実際参加しているのかどうか？PTAも参加する多摩川清掃に中学生があまり参加していないのが現状です。
- ・ B級グルメは市民まつりでやってはどうでしょう。
- ・ サイクリングコースの春夏秋冬の花は市民に呼びかけてサークルなどがつくれそう。
- ・ 展覧会の合同とスタンプラリーはやってほしいですね。
- ・ 記念碑や遺跡をもっと知ろうと思いました。
- ・ 中学生の柔軟で豊かな発想をもっと効果的にまとめる方法が別にあったように思います。中学生のアイデアを、一般の大人にわかりやすいように伝える方法を大いに工夫すべきではないかと思います。
- ・ 四中戦の中で話があった部活の四中対抗戦は（野球、サッカー、バスケなど）粕江高校でやっていただいています。スポーツ交流などをやるのは賛成です。
- ・ 各学校の生徒が約半年以上議論してきた発表なのに、中学校の先生が見えていないことが残念でした。
- ・ 青少年会議参加者、サポーター等が継続的に活動していける仕組み、場をつくっていただきたい。
- ・ ありがとうございました。全ての学生、スタッフの皆様に感謝申し上げます。
- ・ サポーターの人々、ごくろうさま。

6. 回答していただいた方の性別・年齢



登録番号（刊行物番号）

H23－13

平成 22 年度青少年会議報告書

平成 23 年 10 月発行

発 行 狛江市

編 集 狛江市児童青少年部児童青少年課

住 所 狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号

電 話 03（3430）1111

頒布価格 240 円

印 刷 庁内印刷